

みやしろ健康福祉プラン高齢者編策定
に伴うアンケート調査 調査報告書

令和5年3月
宮代町 健康介護課

目 次

I 調査の概要	1
1 調査の目的	3
2 調査の対象	3
3 調査の方法	3
4 調査の実施時期	3
5 配布・回収の結果	4
6 報告書の表記及び注意点について	4
II 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	5
1 基本属性・生活状況について	7
(1) 調査票の記入者	7
(2) 年齢	7
(3) 性別	8
(4) 中学校区	8
(5) 家族構成	9
(6) 介護・介助の必要性	9
(6) -①介護・介助が必要になった主な原因	10
(6) -②主な介護・介助者	11
(7) 介護・介助をしているか	11
(8) 現在の暮らしの経済的状況	12
(9) 住居の形態	12
(10) 新型コロナウイルス感染症の影響	13
2 からだを動かすことについて	15
(1) 階段を昇ること	15
(2) 起立	15
(3) 継続的な歩行	16
(4) 転倒した経験	16
(5) 転倒に対する不安	17
(6) 週1回以上の外出	17
(7) 外出頻度の減少	18
(8) 外出を控えているか	18
(8) -①外出を控えている理由	19
(9) 外出する際の移動手段	20
3 食べることについて	21
(1) 身長・体重	21
(2) 固いものが食べにくくなったか	22
(3) お茶や汁物等でむせることがあるか	22
(4) 口の渇き	23
(5) 歯磨きの習慣	23
(6) 歯の数と入れ歯の利用状況	24
(6) -①噛み合わせ	24
(6) -②入れ歯の手入れ	25
(7) 体重の減少	25
(8) 誰かと食事をする機会	26
4 毎日の生活について	27
(1) 物忘れ	27
(2) 電話をかけているか	27
(3) 日にちがわからないことがあるか	28

(4) 1人での外出	28
(5) 食品・日用品の買物	29
(6) 食事の用意	29
(7) 請求書の支払い	30
(8) 預貯金の出し入れ	30
(9) 年金などの書類が書けるか	31
(10) 新聞を読んでいるか	31
(11) 本や雑誌を読んでいるか	32
(12) 健康についての記事や番組への関心	32
(13) 友人宅への訪問	33
(14) 家族や友人の相談にのっているか	33
(15) 病人の見舞いができるか	34
(16) 若い人への話しかけ	34
(17) 趣味の有無	35
(18) 生きがいの有無	35
5 地域での活動について	36
(1) 会・グループへの参加状況	36
(2) 参加者としての地域活動への参加	41
(3) 企画・運営者としての地域活動への参加	41
6 あなたとまわりの人の「たすけあい」について	42
(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人	42
(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人	42
(3) 看病や世話をしてくれる人	43
(4) 看病や世話をしてあげる人	43
(5) 相談相手	44
(6) 友人・知人と会う頻度	44
(7) 1か月間に会った友人・知人	45
(8) よく会う友人・知人との関係	45
(9) 友人・知人とのコミュニケーション手段	46
7 健康について	48
(1) 主観的健康感	48
(2) 主観的幸福感	50
(3) 最近1か月間の気分の状態	51
(4) 最近1か月間の物事に対する心の状態	51
(5) 飲酒の状況	52
(6) 喫煙の状況	52
(7) 治療中の病気	53
(8) 新型コロナウイルス感染症の拡大による心身の不調の有無	54
(8) -①新型コロナウイルス感染症の拡大による心身の不調	54
8 認知症や成年後見制度について	55
(1) 自分自身や家族の認知症の症状の有無	55
(2) 認知症に関する相談窓口の認知度	55
(3) 成年後見制度の認知度	56
(4) 成年後見制度の利用意向	56
(4) -①成年後見制度を利用したくない理由	57
9 福祉サービスや福祉施策について	58
(1) 町の介護保険サービスの充実度	58
(2) 介護保険サービスや介護保険制度の認知度	58
(3) 今後必要と感じる支援・サービス	59
(4) 医療や介護が必要となった場合に暮らしたい場所	61
(5) アドバンス・ケア・プランニングの認知度	61
(6) 利用しやすい情報入手手段	62

(7) 集いの場や取組みの認知度	63
(8) 基本施策の評価	64
(9) 基本施策の重要度	66
10 リスク分析	68
(1) 運動器機能の低下	68
(2) 転倒リスク	70
(3) 閉じこもり傾向	72
(4) 低栄養	74
(5) 口腔機能の低下	76
(6) 認知機能の低下	78
(7) うつ傾向	80
(8) IADL（手段的日常生活動作）の低下	82
(9) 知的能動性の低下	84
(10) 社会的役割の低下	86
III 在宅介護実態調査	89
1 基本属性について	91
(1) 年齢	91
(2) 性別	91
(3) 要介護度	92
(4) 居住地区	92
(5) 調査票の回答者	93
2 調査対象者本人について	94
(1) 世帯類型	94
(2) 家族・親族からの介護の状況	95
(3) 主な介護者	96
(4) 主な介護者の性別	96
(5) 主な介護者の年齢	97
(6) 主な介護者が行っている介護	98
(7) 介護を理由に退職・転職をした家族や親族	99
(8) 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況	100
(9) 今後必要と感じる支援・サービス	101
(10) 施設等への入所・入居の検討状況	102
(11) 現在抱えている傷病	103
(12) 訪問診療の利用状況	104
(13) 介護保険サービスの利用状況	104
(14) 介護保険サービスを利用していない理由	105
3 主な介護者について	106
(1) 主な介護者の勤務形態	106
(2) 介護者の働き方の調整	107
(3) 仕事と介護の両立のための支援	108
(4) 主な介護者の仕事と介護の両立	109
(5) 主な介護者が不安に感じる介護	110
IV 資料編	111
1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 調査票	113
2 要支援認定者・事業対象者調査 調査票	116
3 在宅介護実態調査 調査票	120

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、みやしろ健康福祉プラン～高齢者編～（宮代町高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画）〔計画期間：令和6～8年度〕を策定するため、要介護者を含む高齢者の生活状況やサービスニーズ等を把握することを目的とした事前調査であり、「要介護状態になるリスクの発生状況や地域の抱える課題の特定」、「必要とされるサービスの量と提供体制の確保」、「広く高齢者が安心、安全に生活していくことができる地域づくり」等を進めるための基礎資料とするために実施したものです。

2 調査の対象

調査対象は以下のとおりです。

調査票名	対象者	対象者数
①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	・65歳以上の高齢者 ※事業対象者、要介護（支援）認定者を除く	1,000人
②在宅介護実態調査	・65歳以上の要介護認定を受けた方	400人
③要支援認定者・事業対象者調査	・65歳以上の事業対象者、要支援認定を受けた方	400人

3 調査の方法

郵送による配付・回収

4 調査の実施時期

令和5年1月30日（月）～2月15日（水）

5 配布・回収の結果

調査対象は以下のとおりです。

調査票名	対象者数	有効回収数	回収率
①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	1,000人	756人	75.6%
②在宅介護実態調査	400人	215人	53.8%
③要支援認定者・事業対象者調査	400人	301人	75.3%

6 報告書の表記及び注意点について

1. 回答は、各質問の回答該当者数を基数とした百分率（％）で示しています。小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%にならない場合があります。
2. 複数回答を許している回答項目は、その項目に対して有効な回答をした者の数を基数として比率算出を行っているため、回答比率の合計は100.0%を超えることがあります。
3. 説明文及びグラフで、選択肢の語句を一部簡略化して表しています。
4. グラフでは、その設問に対して回答することのできる対象者数を「n」と表記し、その数を表しています。
5. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果は「一般高齢者」として集計・表記しています。
6. 在宅介護実態調査の結果は「要介護1・2」と「要介護3～5」に区分して集計・表記しています。
7. 要支援認定者・事業対象者調査の結果は「要支援・事業対象者」として集計・表記しており、調査項目は「Ⅱ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」及び「Ⅲ 在宅介護実態調査」を基本としているため章立ては行わず、それぞれ共通する項目で結果を併記しています。
8. 前回（令和元年度実施）の調査結果と比較している項目では、今年度の調査結果を「R4」、前回の調査結果を「R1」と表記しています。比較にあたっては、前回の調査結果からの変化が顕著に現れている項目を中心に分析しています。

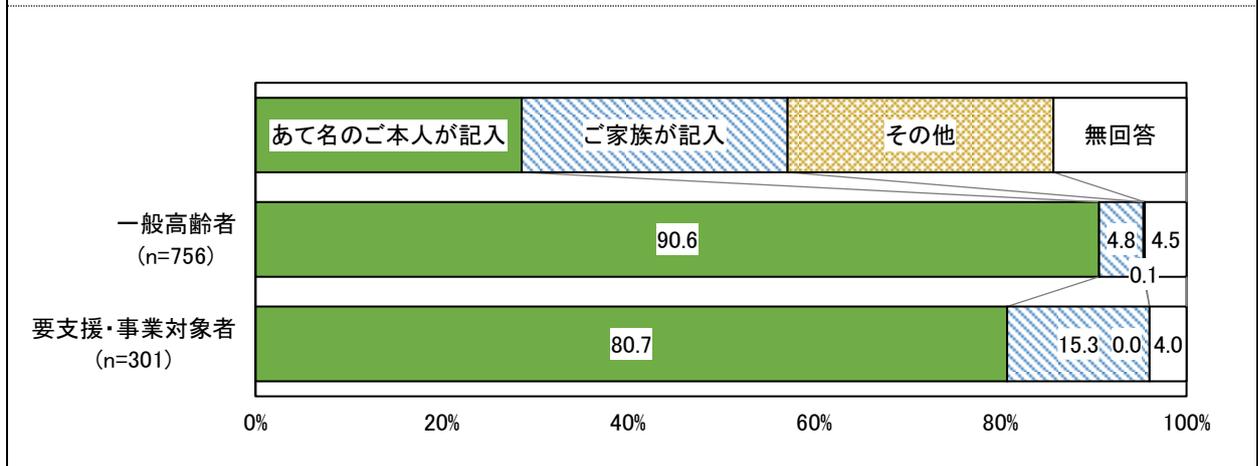
Ⅱ 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

1 基本属性・生活状況について

(1) 調査票の記入者

調査票を記入されたのはどなたですか（1つに○）

【ニーズ調査：問番号なし／要支援調査：問番号なし】

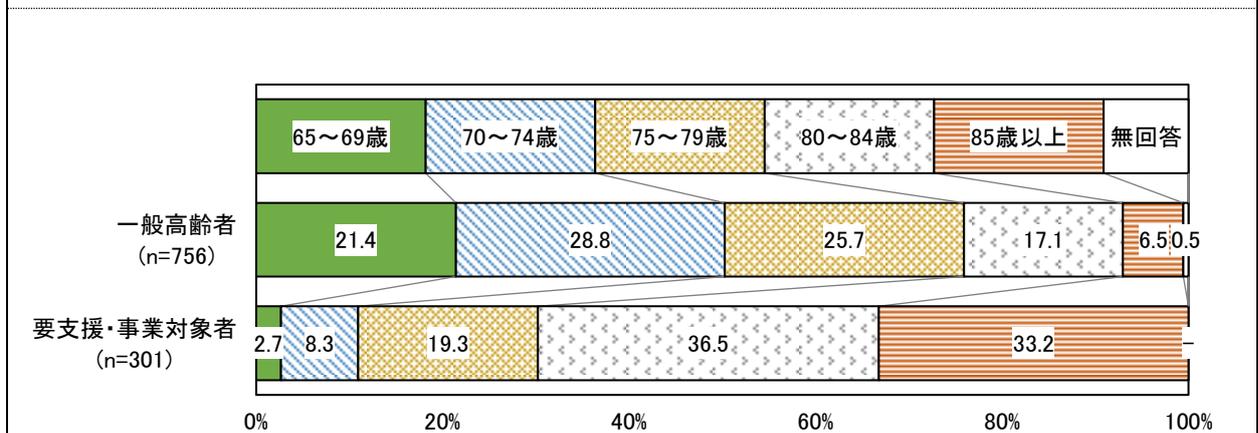


調査票の記入者について、ともに「あて名のご本人が記入」が最も多く、一般高齢者では90.6%、要支援・事業対象者では80.7%を占めています。

(2) 年齢

あなたの年齢をお教えてください（1つに○）

【ニーズ調査：問1（1）／要支援調査：（回答者番号）】



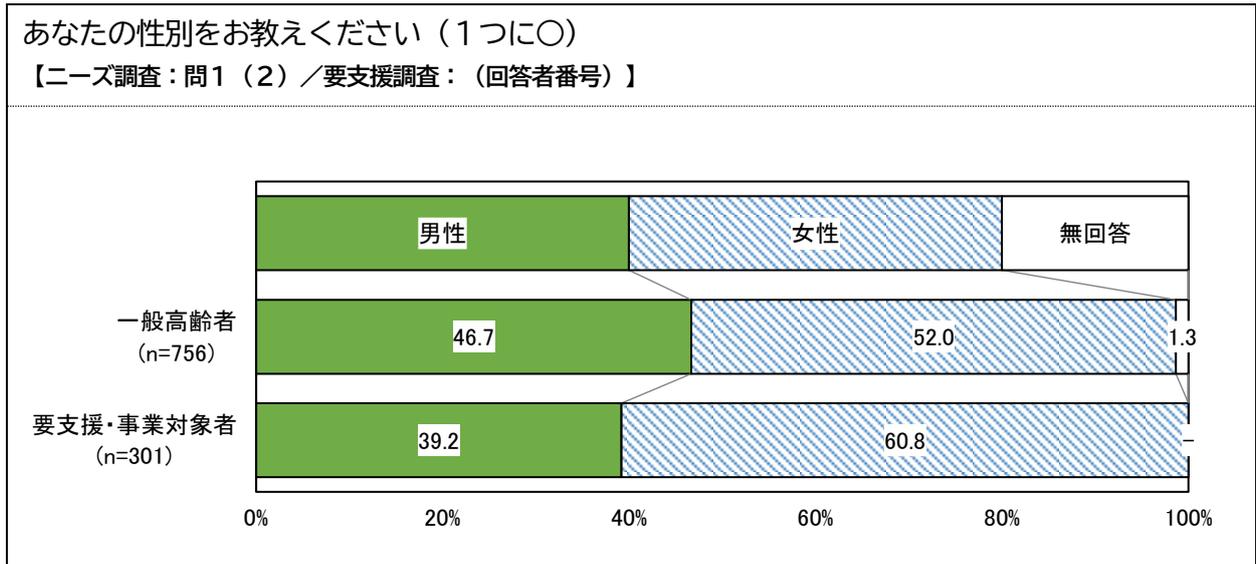
※回答者番号により集計している項目は、無回答が存在しないため「-」と表記しています（以降同じ）

年齢について、一般高齢者では「70～74歳」が28.8%で最も多く、次いで「75～79歳」が25.7%となっています。

要支援・事業対象者では「80～84歳」が36.5%で最も多く、次いで「85歳以上」が33.2%となっています。

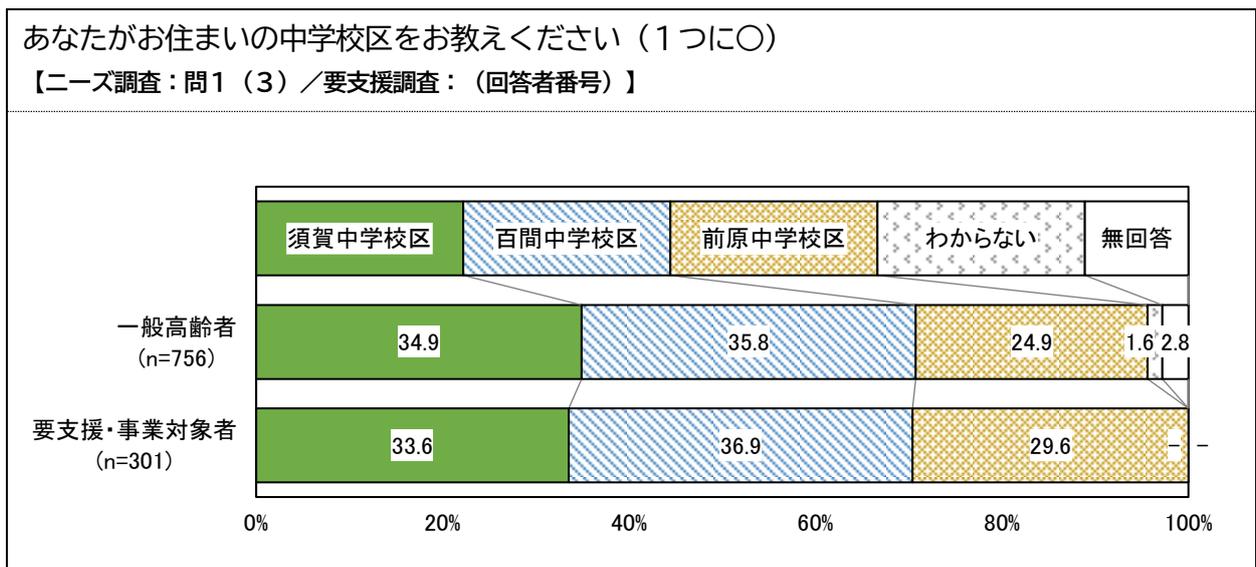
一般高齢者では70歳代、要支援・事業対象者では80歳以上の回答が多くなっています。

(3) 性別



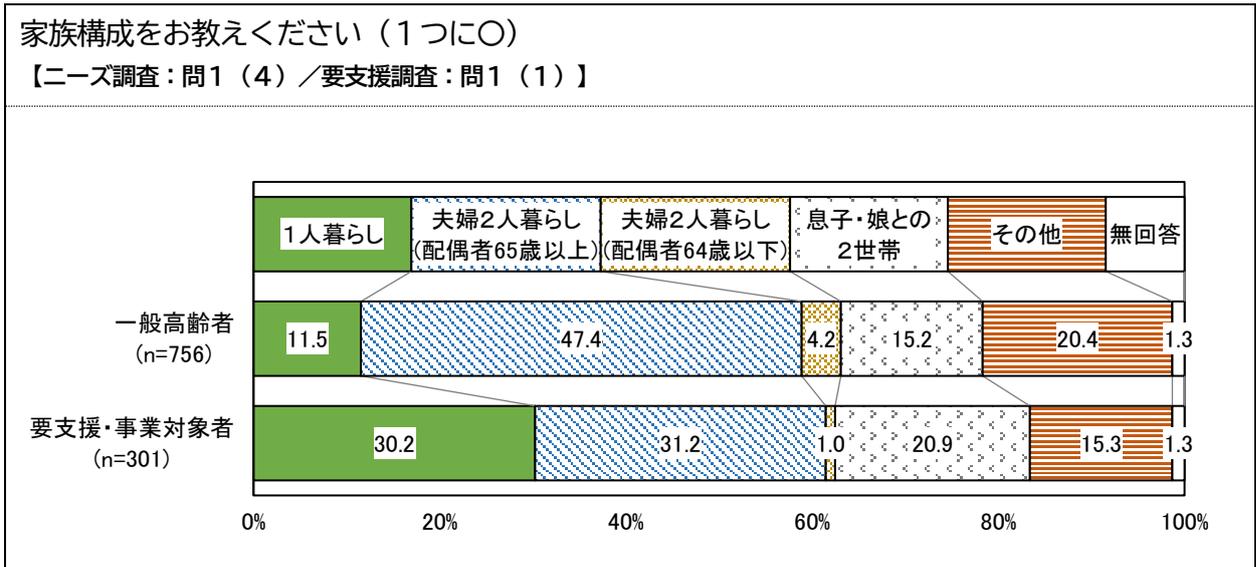
性別について、一般高齢者では「女性」が52.0%、「男性」が46.7%となっています。
要支援・事業対象者では「女性」が60.8%、「男性」が39.2%となっています。

(4) 中学校区



中学校区について、ともに「百間中学校区」が最も多く、「須賀中学校区」、「前原中学校区」と続いています。

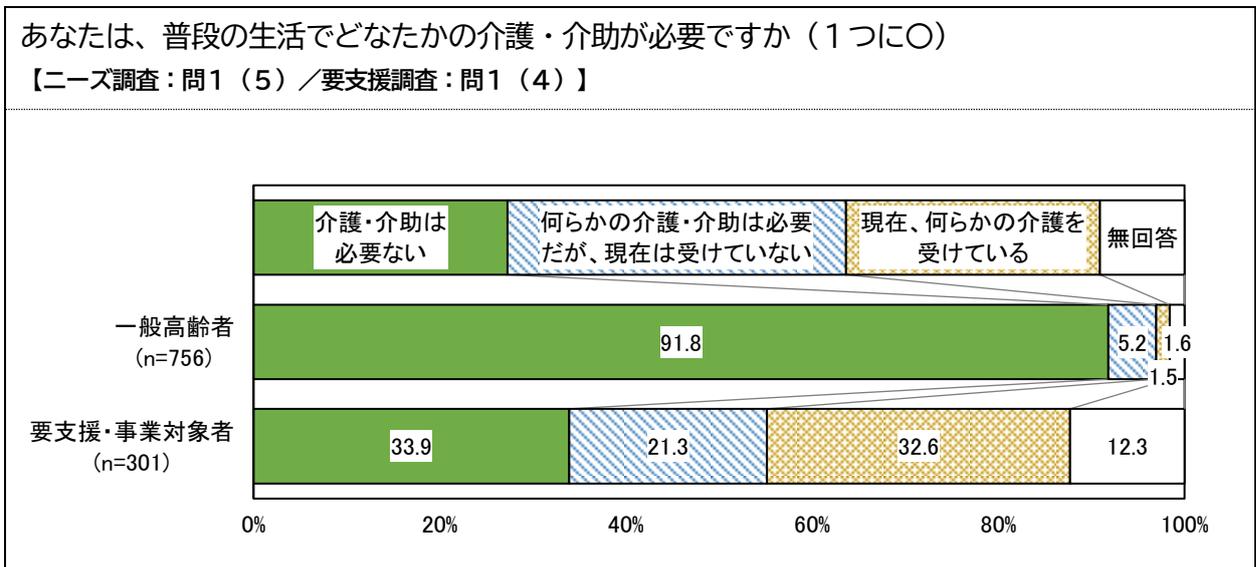
(5) 家族構成



家族構成について、一般高齢者では「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が47.4%で最も多く、次いで「息子・娘との2世帯」が15.2%となっています。

要支援・事業対象者では「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が31.2%で最も多く、次いで「1人暮らし」が30.2%で、「1人暮らし」が一般高齢者より多くなっています。

(6) 介護・介助の必要性



普段の生活における介護・介助の必要性について、一般高齢者では「介護・介助は必要ない」が91.8%を占めています。

要支援・事業対象者では、「介護・介助は必要ない」が33.9%で最も多く、次いで「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」が32.6%となっています。「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」と合わせると、53.9%が介護・介助が必要な状況にあります。

(6) -①介護・介助が必要になった主な原因

【(6)で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」または「現在、何らかの介護を受けている」を選んだ介護・介助を必要とする方】
 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか（いくつでも）

【ニーズ調査：問1(5)-①/要支援調査：問1(4)-①】

	高齢による衰弱	骨折・転倒	心臓病	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	視覚・聴覚障害	関節の病気(リウマチ等)	脊椎損傷	認知症(アルツハイマー病等)
一般高齢者(n=50)	22.0	10.0	6.0	4.0	16.0	8.0	8.0	4.0
要支援・事業対象者(n=162)	33.3	19.1	13.6	10.5	9.3	8.6	8.6	7.4

	糖尿病	呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等)	がん(悪性新生物)	パーキンソン病	腎疾患(透析)	その他	不明	無回答
一般高齢者(n=50)	14.0	10.0	14.0	6.0	0.0	12.0	2.0	12.0
要支援・事業対象者(n=162)	6.8	4.9	3.7	3.7	2.5	11.1	0.6	11.7

介護・介助が必要になった原因について、ともに「高齢による衰弱」が最も多く、一般高齢者では22.0%、要支援・事業対象者では33.3%となっています。

以下、一般高齢者では「視覚・聴覚障害」が16.0%、「糖尿病」と「がん（悪性新生物）」が14.0%などとなっています。

一方、要支援・事業対象者では「骨折・転倒」が19.1%、「心臓病」が13.6%、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が10.5%などとなっており、一般高齢者との違いがみられます。

(6) -②主な介護・介助者

【(6)で「現在、何らかの介護を受けている」を選んだ方】
 主にどなたから介護、介助を受けていますか (いくつでも)
 【ニーズ調査：問1(5)-②/要支援調査：問(4)-②】

単位:%

	娘	介護サービスのヘルパー	息子	配偶者(夫・妻)	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	その他	無回答
一般高齢者(n=11)	0.0	18.2	36.4	81.8	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0
要支援・事業対象者(n=98)	33.7	27.6	23.5	21.4	16.3	4.1	1.0	8.2	6.1

主な介護者・介助者について、一般高齢者では「配偶者(夫・妻)」が81.8%を占めています。要支援・事業対象者では「娘」が33.7%で最も多く、以下「介護サービスのヘルパー」が27.6%、「息子」が23.5%、「配偶者(夫・妻)」が21.4%などとなっています。

(7) 介護・介助をしているか

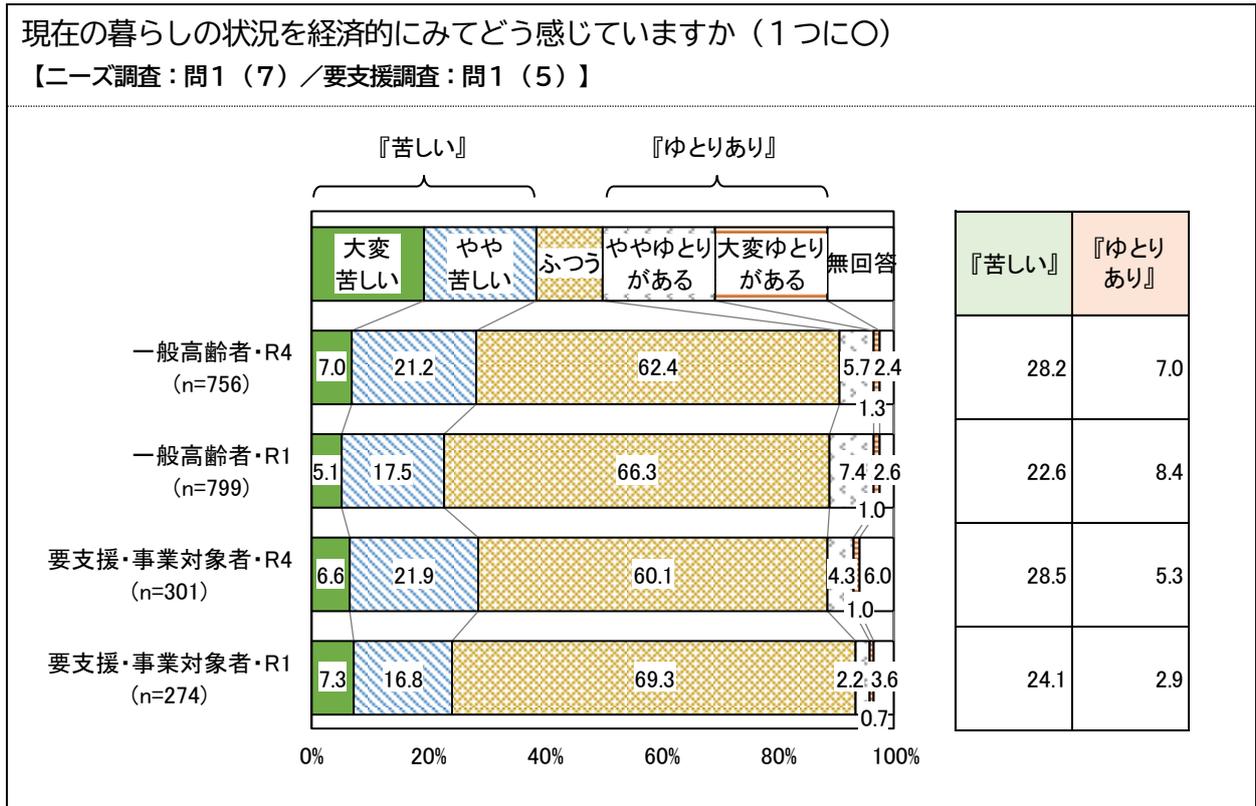
あなたは、どなたかの介護・介助をしていますか (いくつでも)
 【ニーズ調査：問1(6)/要支援調査：問(3)】

単位:%

	配偶者	親	子	兄弟姉妹	その他	していない	無回答
一般高齢者(n=756)	6.1	5.3	0.7	0.1	0.4	77.9	9.9
要支援・事業対象者(n=301)	11.0	1.3	2.7	1.0	1.7	72.4	11.0

調査対象者が介護・介助をしているかについて、ともに「していない」が最も多く、一般高齢者では77.9%、要支援・事業対象者では72.4%を占めています。また、ともに「配偶者」が次いで多く、一般高齢者では6.1%、要支援・事業対象者では11.0%となっています。

(8) 現在の暮らしの経済的状況

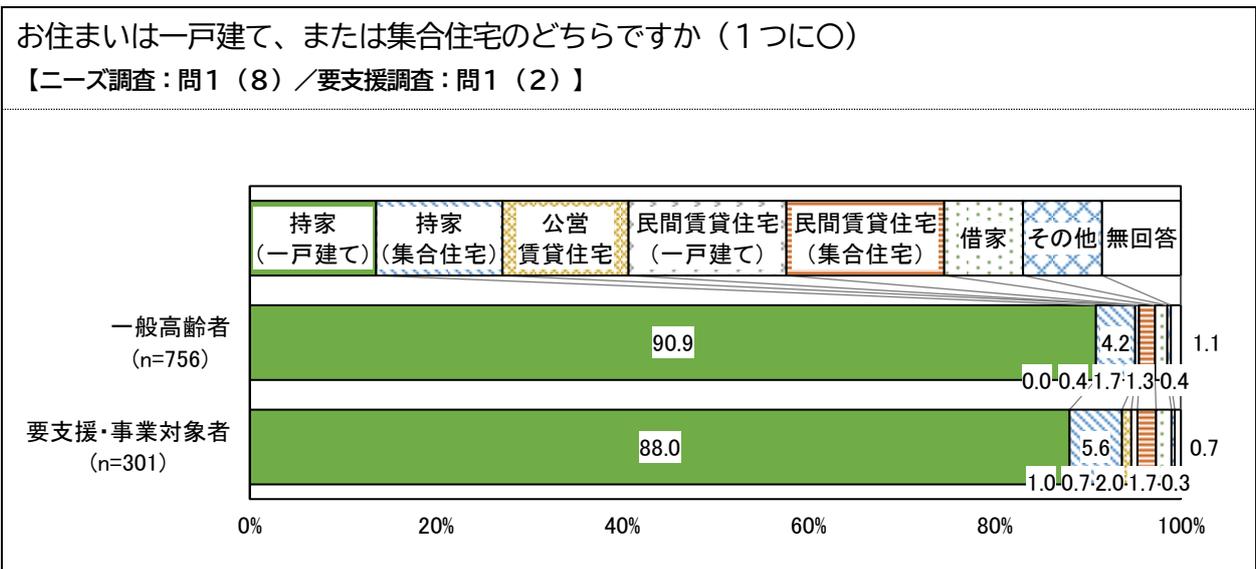


現在の暮らしの経済的状況について、ともに「ふつう」が最も多く、一般高齢者では62.4%、要支援・事業対象者では60.1%を占めています。

『苦しい』と『ゆとりあり』を比較すると、『苦しい』との回答が、一般高齢者では28.2%、要支援・事業対象者では28.5%で、ともに『ゆとりあり』より多くなっています。

また、前回の調査と比較すると、ともに『苦しい』が増加しており、一般高齢者では5.6ポイント増、要支援・事業対象者では4.4ポイント増となっています。

(9) 住居の形態

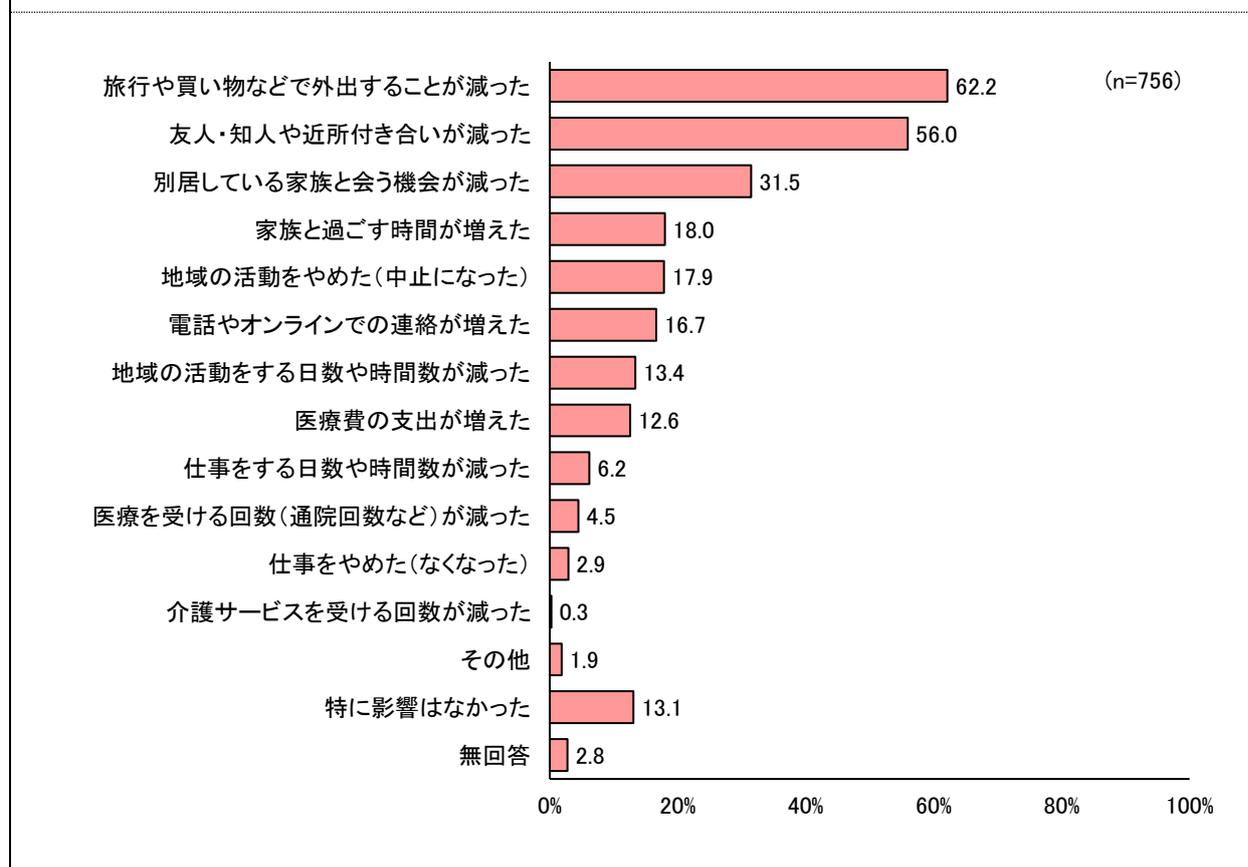


住居の形態について、ともに「持家（一戸建て）」が最も多く、一般高齢者では90.9%、要支援・事業対象者では88.0%を占めています。

(10) 新型コロナウイルス感染症の影響

新型コロナウイルス感染症の拡大により、あなたの生活にはどのような影響がありましたか
(いくつでも)

【ニーズ調査：問1（9）】



新型コロナウイルス感染症の影響について、一般高齢者では「旅行や買い物などで外出することが減った」が62.2%で最も多くなっています。以下「友人・知人や近所付き合いが減った」が56.0%、「別居している家族と会う機会が減った」が31.5%、「家族と過ごす時間が増えた」が18.0%などとなっています。

●新型コロナウイルス感染症の影響×年齢・中学校区（一般高齢者）

単位:%

	旅行や買い物などで外出することが減った	友人・知人や近所付き合いが減った	別居している家族と会う機会が減った	家族と過ごす時間が増えた	地域の活動をやめた（中止になった）	電話やオンラインでの連絡が増えた	地域の活動をする日数や時間数が減った	医療費の支出が増えた
全体(n=756)	62.2	56.0	31.5	18.0	17.9	16.7	13.4	12.6
65～69歳(n=162)	68.5	58.0	30.9	20.4	17.3	20.4	13.0	10.5
70～74歳(n=218)	59.6	56.9	32.6	17.4	17.4	13.8	9.2	11.0
75～79歳(n=194)	62.9	57.7	32.5	21.6	16.5	20.1	16.5	12.9
80～84歳(n=129)	62.0	52.7	31.8	14.0	24.0	10.9	15.5	14.7
85歳以上(n=49)	55.1	51.0	26.5	10.2	10.2	20.4	16.3	20.4
須賀中学校区(n=264)	64.0	60.2	34.1	21.6	24.2	17.0	14.4	13.3
百間中学校区(n=271)	61.3	51.7	31.4	15.1	12.5	21.0	10.7	12.5
前原中学校区(n=188)	64.9	60.6	31.4	19.7	17.6	11.7	17.6	12.2

	仕事をやる日数や時間数が減った	医療を受ける回数（通院回数など）が減った	仕事をやめた（なくなった）	介護サービスを受ける回数が減った	その他	特に影響はなかった	無回答
全体(n=756)	6.2	4.5	2.9	0.3	1.9	13.1	2.8
65～69歳(n=162)	11.1	8.0	4.3	0.0	0.6	10.5	0.6
70～74歳(n=218)	6.0	4.1	3.2	0.0	1.4	15.1	1.8
75～79歳(n=194)	6.2	3.6	3.1	0.5	2.6	13.4	3.1
80～84歳(n=129)	3.1	1.6	1.6	0.0	3.1	11.6	3.9
85歳以上(n=49)	0.0	6.1	0.0	2.0	2.0	16.3	4.1
須賀中学校区(n=264)	6.4	4.2	2.3	0.0	1.1	12.1	2.3
百間中学校区(n=271)	7.0	5.2	3.7	0.4	2.2	12.9	1.8
前原中学校区(n=188)	5.9	3.7	2.7	0.0	1.6	13.8	1.1

新型コロナウイルス感染症の影響について、属性を問わず「旅行や買い物などで外出することが減った」と「友人・知人や近所付き合いが減った」が過半数を占めています。

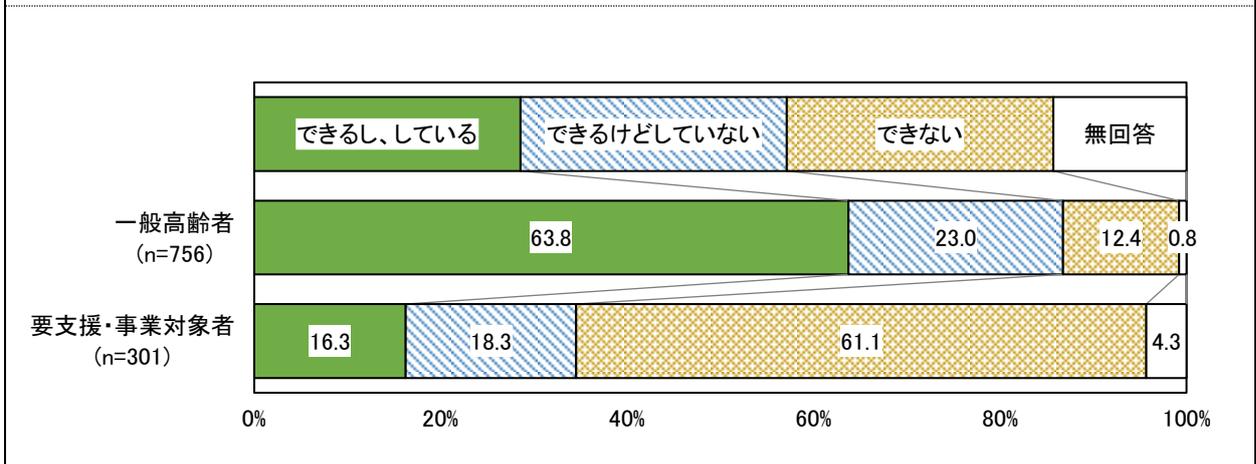
須賀中学校区では「地域の活動をやめた（中止になった）」が24.2%で中学校区別では最も多くなっています。

2 からだを動かすことについて

(1) 階段を昇ること

階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか（1つに○）

【ニーズ調査：問2（1）／要支援調査：問2（1）】

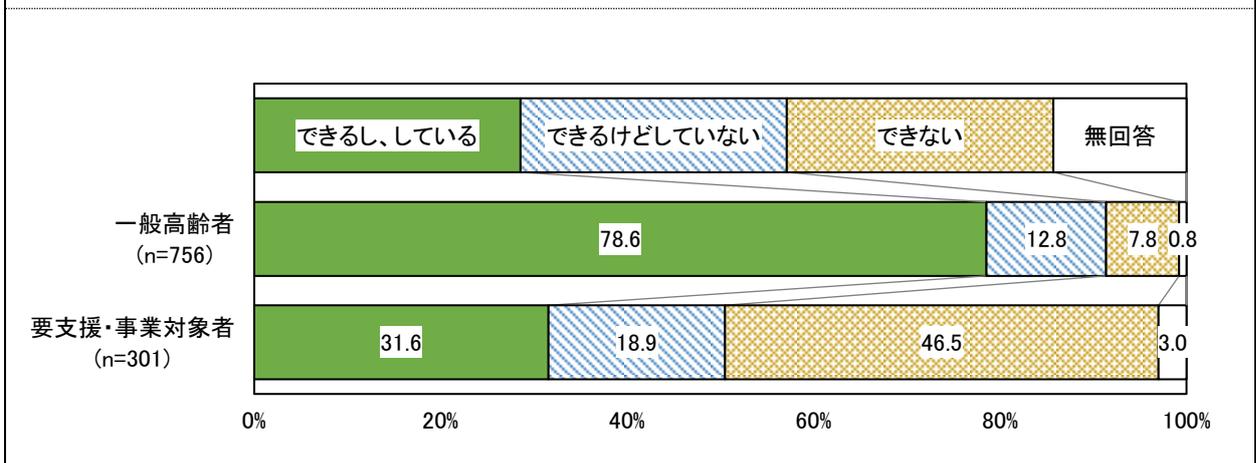


階段を昇ることについて、運動器機能低下のチェック該当となる「できない」の割合は、一般高齢者では12.4%、要支援・事業対象者では61.1%となっています。

(2) 起立

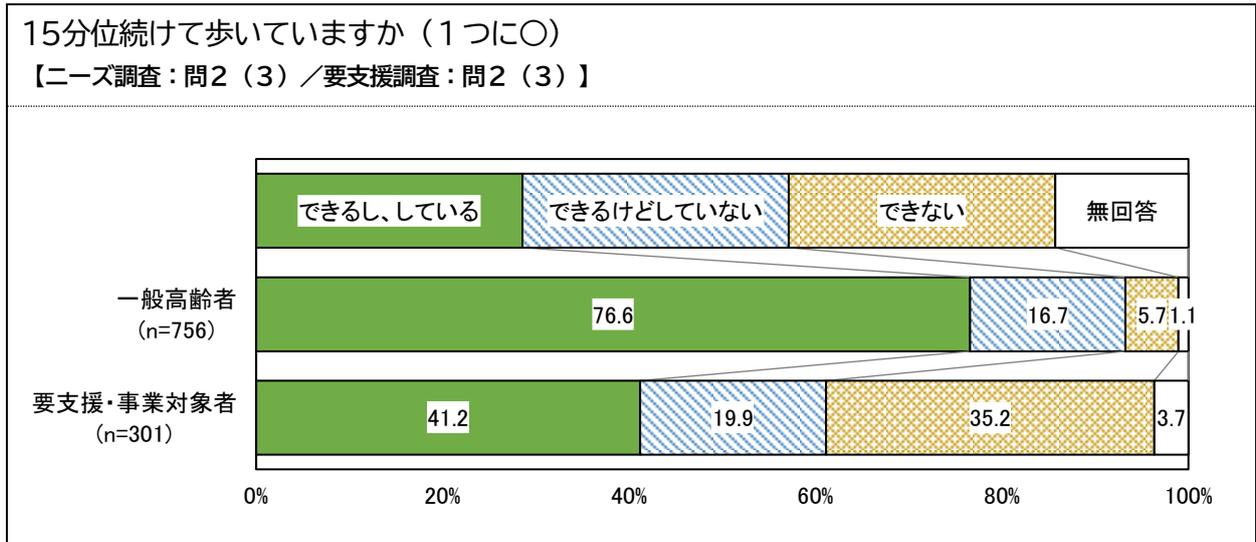
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか（1つに○）

【ニーズ調査：問2（2）／要支援調査：問2（2）】



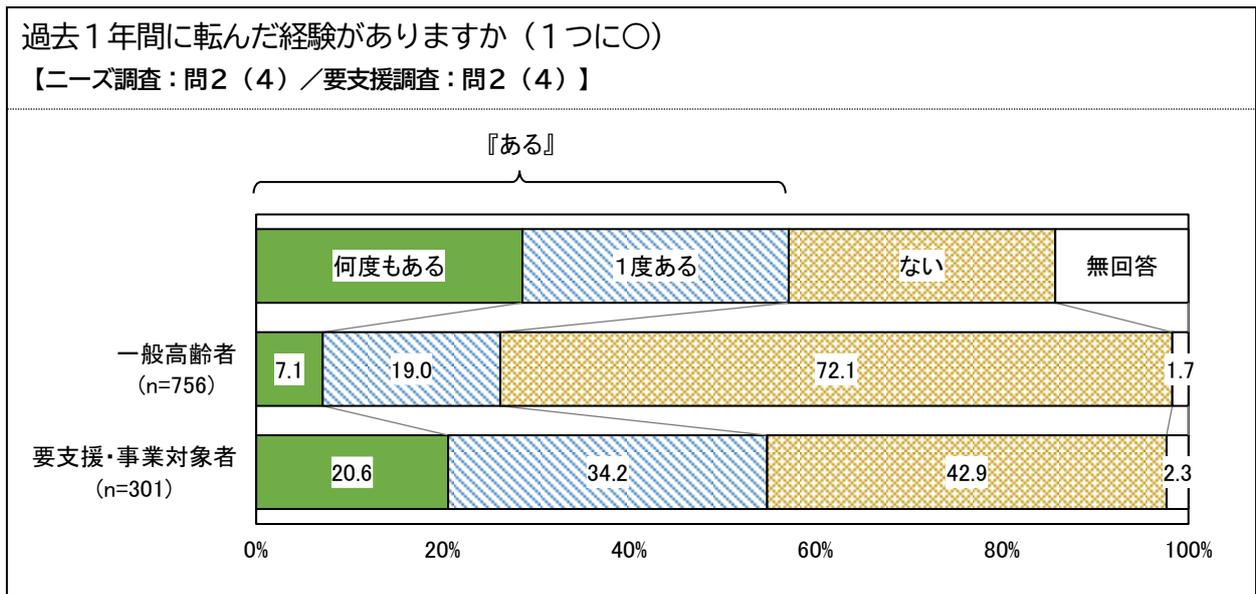
起立について、運動器機能低下のチェック該当となる「できない」の割合は、一般高齢者では7.8%、要支援・事業対象者では46.5%となっています。

(3) 継続的な歩行



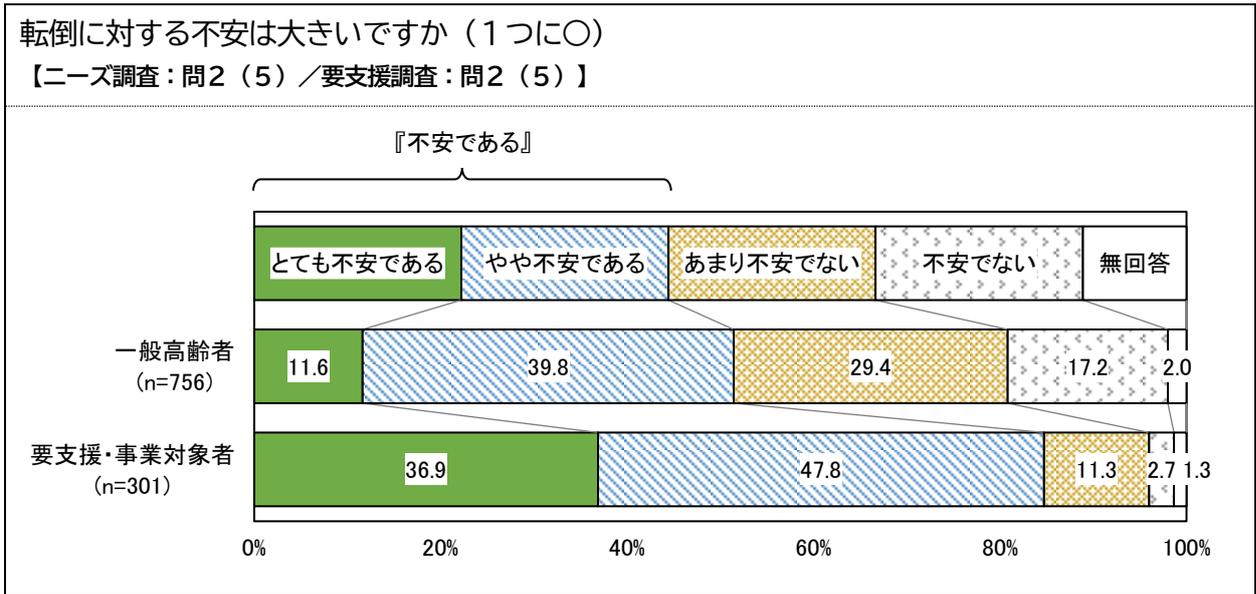
継続的な歩行について、運動器機能低下のチェック該当となる「できない」の割合は、一般高齢者では5.7%、要支援・事業対象者では35.2%となっています。

(4) 転倒した経験



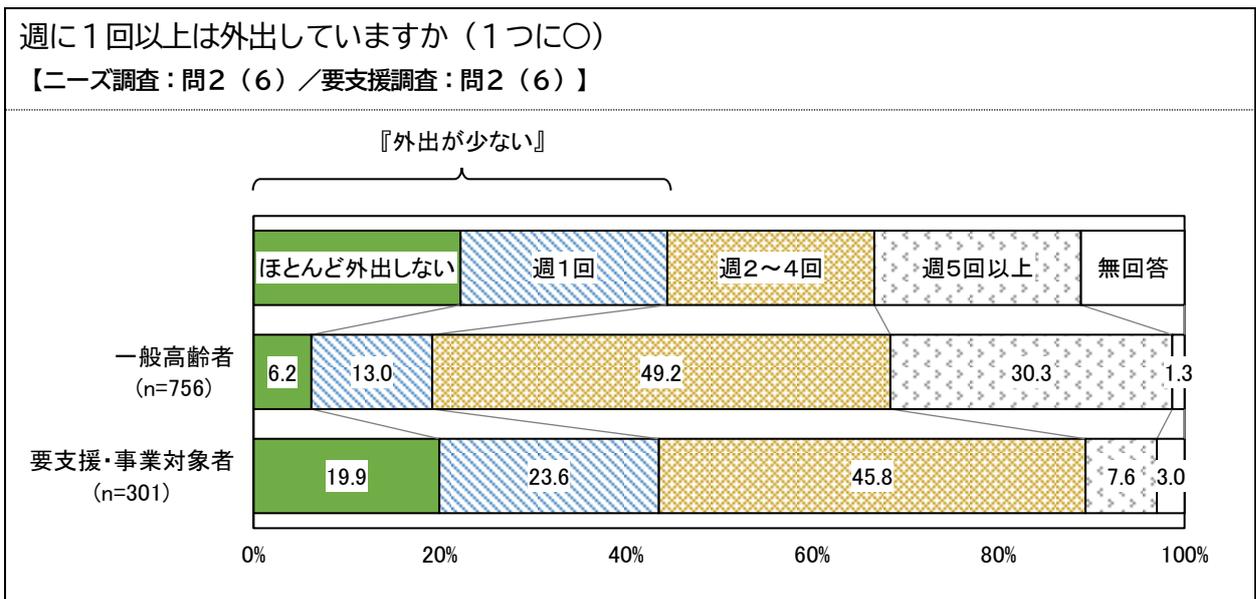
転倒した経験について、運動器機能低下及び転倒リスクのチェック該当となる『ある』の割合は、一般高齢者では26.1%、要支援・事業対象者では54.8%となっています。

(5) 転倒に対する不安



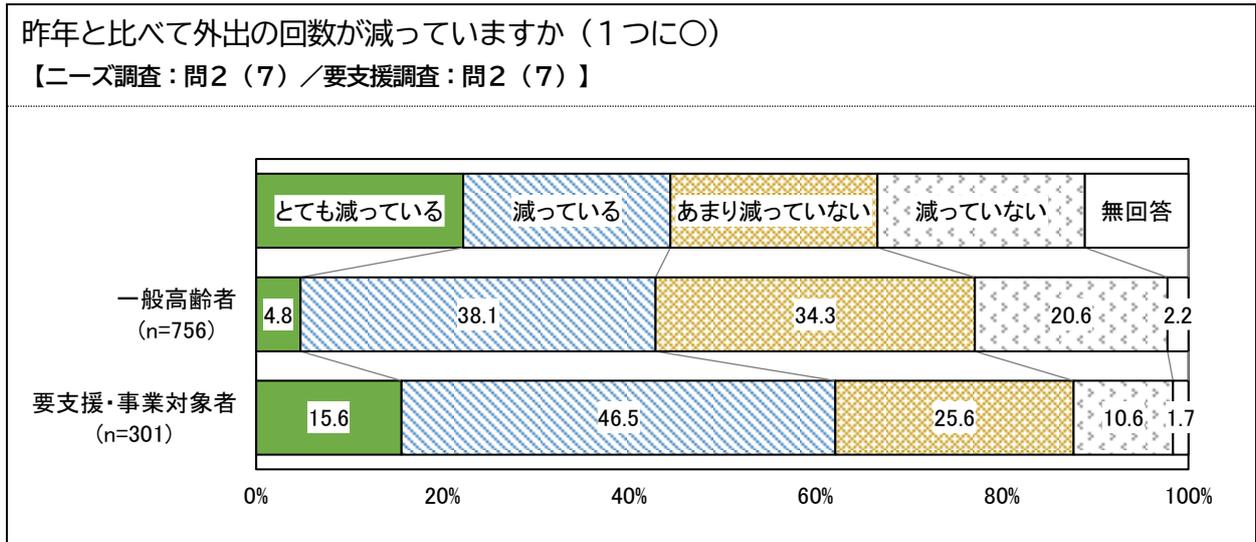
転倒に対する不安について、運動器機能低下及び転倒リスクのチェック該当となる『不安である』の割合は、一般高齢者では51.4%、要支援・事業対象者では84.7%となっています。

(6) 週1回以上の外出



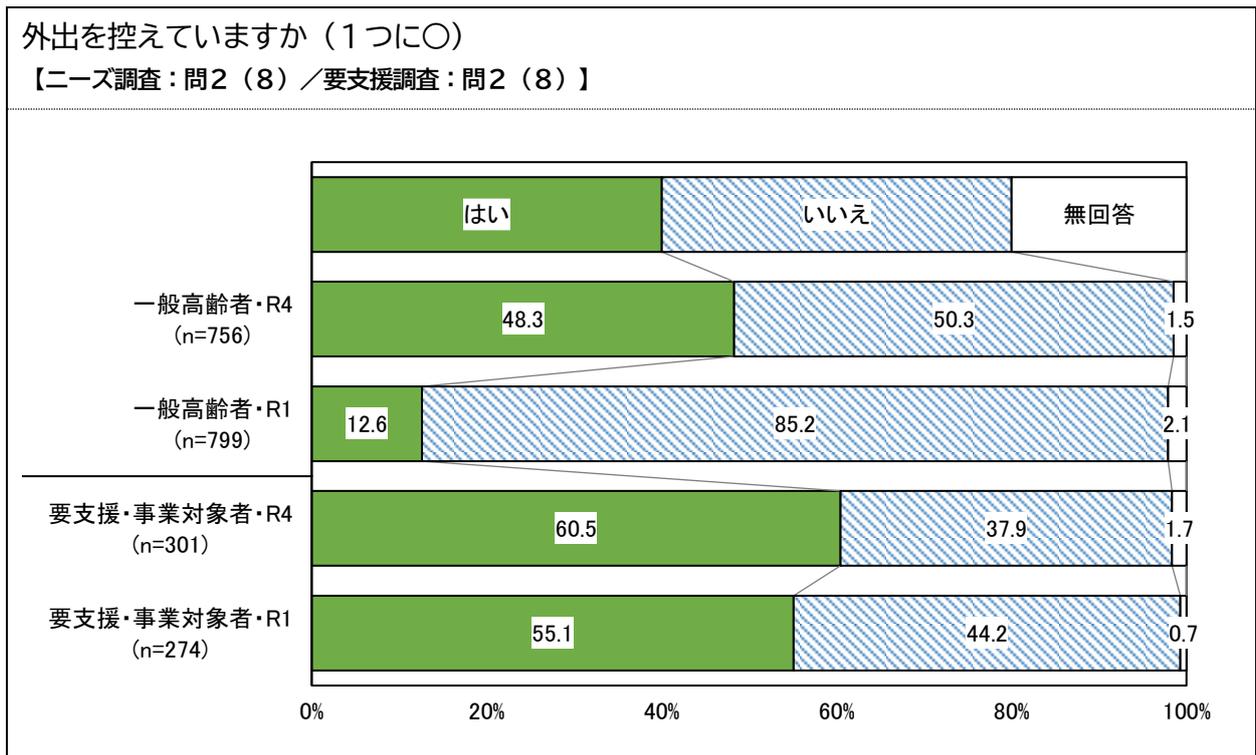
週1回以上の外出について、閉じこもり傾向のチェック該当となる『外出が少ない』の割合は、一般高齢者では19.2%、要支援・事業対象者では43.5%となっています。

(7) 外出頻度の減少



外出頻度の減少について、ともに「減っている」が最も多く、一般高齢者では38.1%、要支援・事業対象者では46.5%となっています。

(8) 外出を控えているか



外出を控えているかについて、一般高齢者では「いいえ」が50.3%となっているのに対し、要支援・事業対象者では「はい」が60.5%となっています。

前回の調査と比較すると、ともに「はい」が増加しており、一般高齢者では35.7ポイント増、要支援・事業対象者では5.4ポイント増となっています。

(8) -①外出を控えている理由

【(8)で「はい」を選んだ外出を控えている方】

外出を控えている理由は、次のどれですか（いくつでも）

【ニーズ調査：問2(8)-①/要支援調査：問2(8)-①】

	単位:%						
	感染症対策	足腰などの痛み	外での楽しみがない	経済的に出られない	トイレの心配 (失禁など)	病気	
一般高齢者(n=365)	75.6	20.5	11.0	9.0	8.8	7.9	
要支援・事業対象者(n=182)	37.4	61.5	14.3	4.9	14.8	8.2	

	交通手段がない	耳の障がい (聞こえの問題など)	目の障がい	障がい (脳卒中の後遺症など)	その他	無回答
一般高齢者(n=365)	6.8	3.0	1.4	0.3	6.8	1.1
要支援・事業対象者(n=182)	20.9	11.0	10.4	2.2	7.7	2.7

外出を控えている理由について、一般高齢者では「感染症対策」が75.6%を占めています。「(8)外出を控えているか」の結果を踏まえると、前回の調査以降、「感染症対策」で多くの人が外出を控えていることがわかります。

要支援・事業対象者では「足腰などの痛み」が61.5%で最も多く、以下「感染症対策」が37.4%、「交通手段がない」が20.9%、「トイレの心配(失禁など)」が14.8%などとなっています。

(9) 外出する際の移動手段

外出する際の移動手段は何ですか（いくつでも）

【ニーズ調査：問2（9）／要支援調査：問2（9）】

	単位:%							
	自動車 (自分で運転)	徒歩	自転車	電車	自動車 (人に乗せてもらう)	路線バス	タクシー	
一般高齢者(n=756)	58.7	58.3	41.4	36.5	23.3	9.4	7.9	
要支援・事業対象者(n=301)	13.6	42.9	18.6	23.6	49.8	14.0	35.5	
	バイク	病院や施設のバス	歩行器・シルバーカー	車いす	電動車いす (カート)	その他	無回答	
一般高齢者(n=756)	2.1	0.8	0.7	0.3	0.0	1.7	0.9	
要支援・事業対象者(n=301)	0.7	7.6	12.3	1.7	2.3	0.3	2.3	

外出する際の移動手段については、一般高齢者では「自動車（自分で運転）」が58.7%で最も多く、以下「徒歩」が58.3%、「自転車」が41.4%、「電車」が36.5%などとなっています。一方、要支援・事業対象者では「自動車（人に乗せてもらう）」が49.8%で最も多く、以下「徒歩」が42.9%、「タクシー」が35.5%、「電車」が23.6%などとなっています。

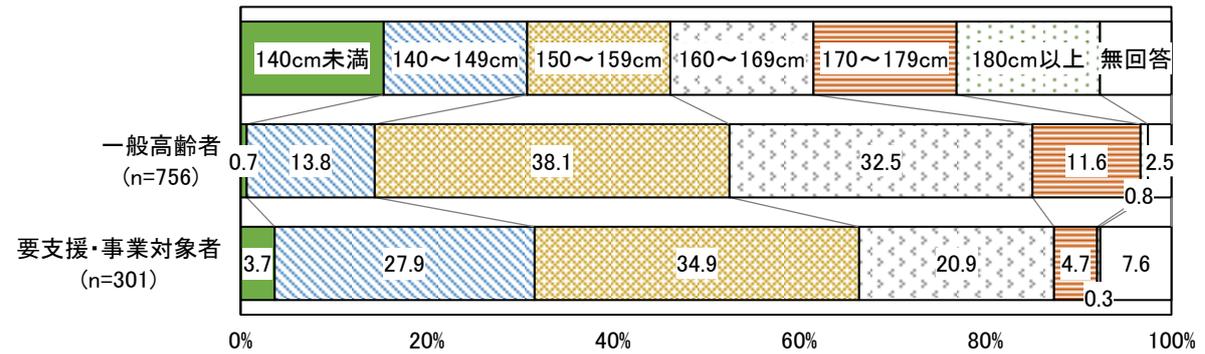
3 食べることについて

(1) 身長・体重

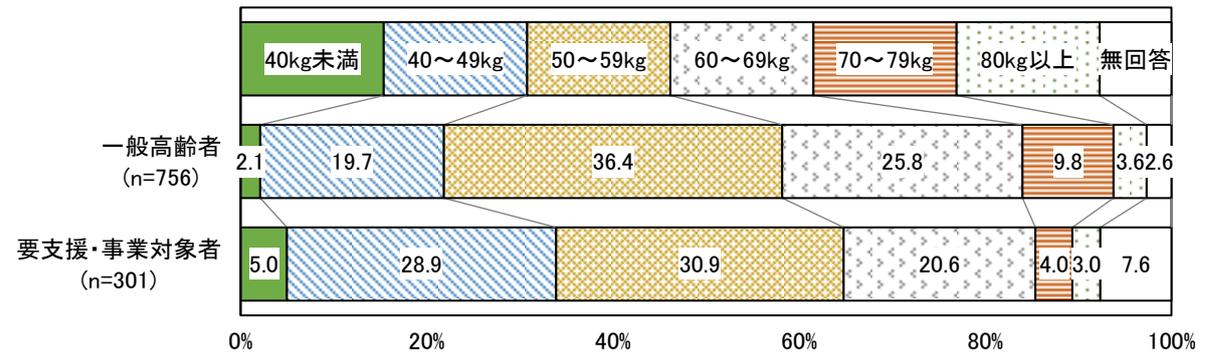
身長・体重をお答えください（それぞれ数字を記入）

【ニーズ調査：問3（1）／要支援調査：問3（1）】

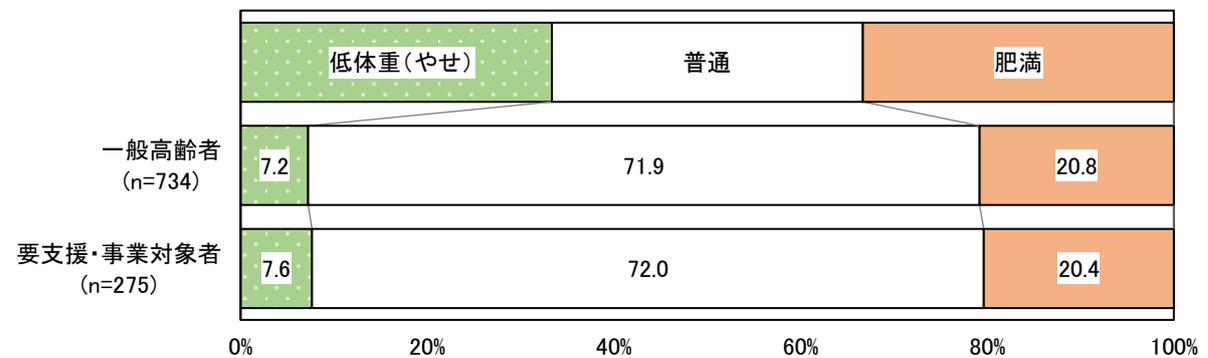
○身長



○体重

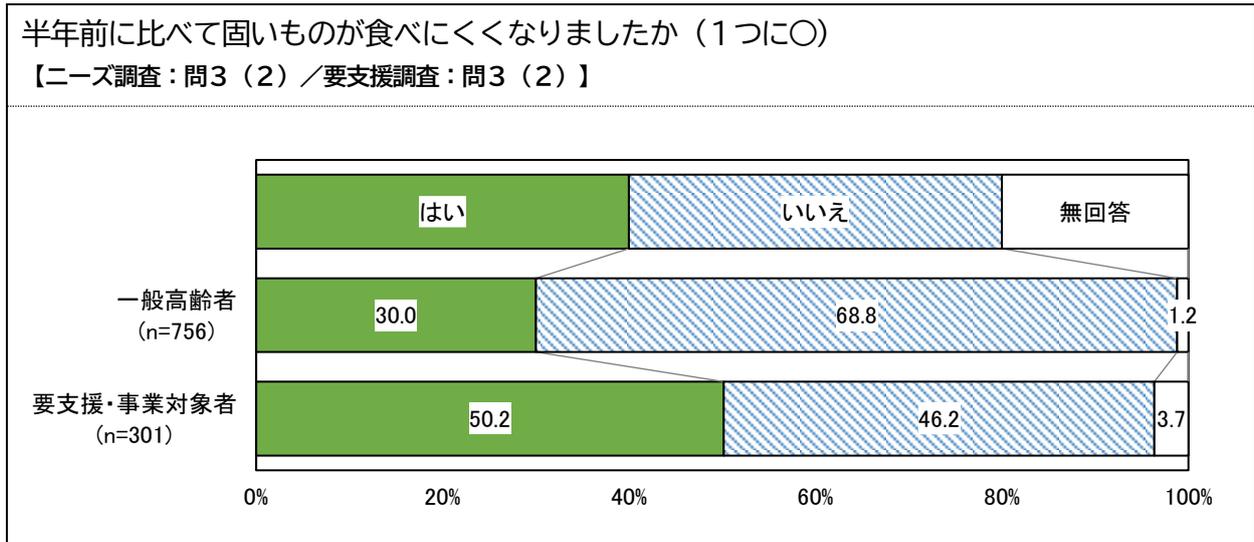


OBMI (Body Mass Index) = 体重(kg) ÷ {身長(m) × 身長(m)} : 肥満度を表す指標として国際的に用いられている体格指数



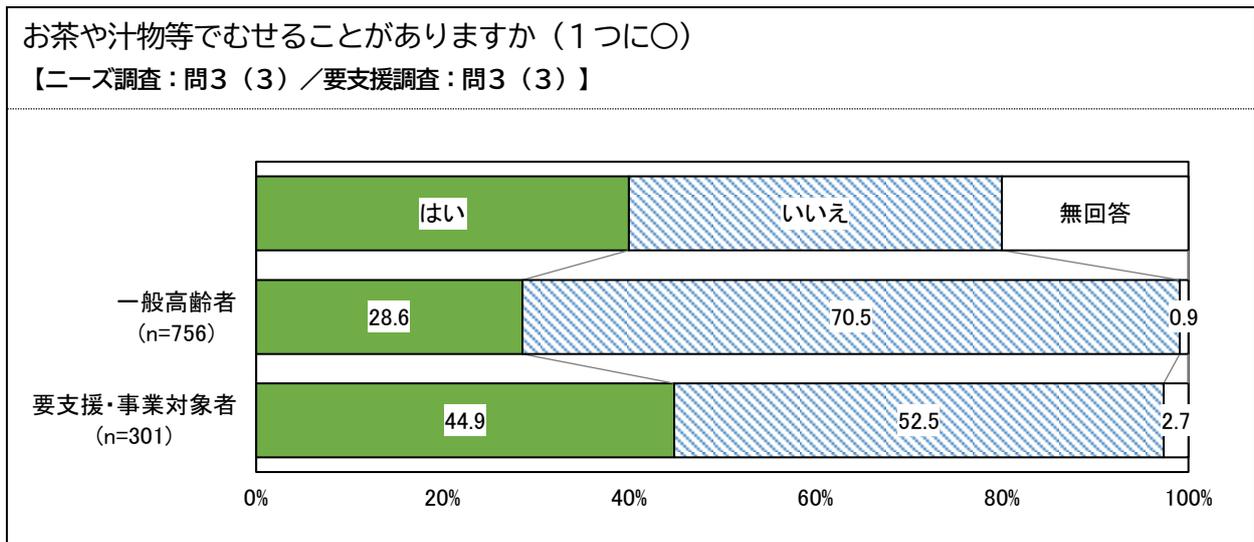
BMIについて、ともに「普通」が最も多く、一般高齢者では71.9%、要支援・事業対象者では72.0%を占めています。「低体重(やせ)」と「肥満」は、ともに7%台、20%台となっており、一般高齢者と要支援・事業対象者による差はみられません。

(2) 固いものが食べにくくなったか



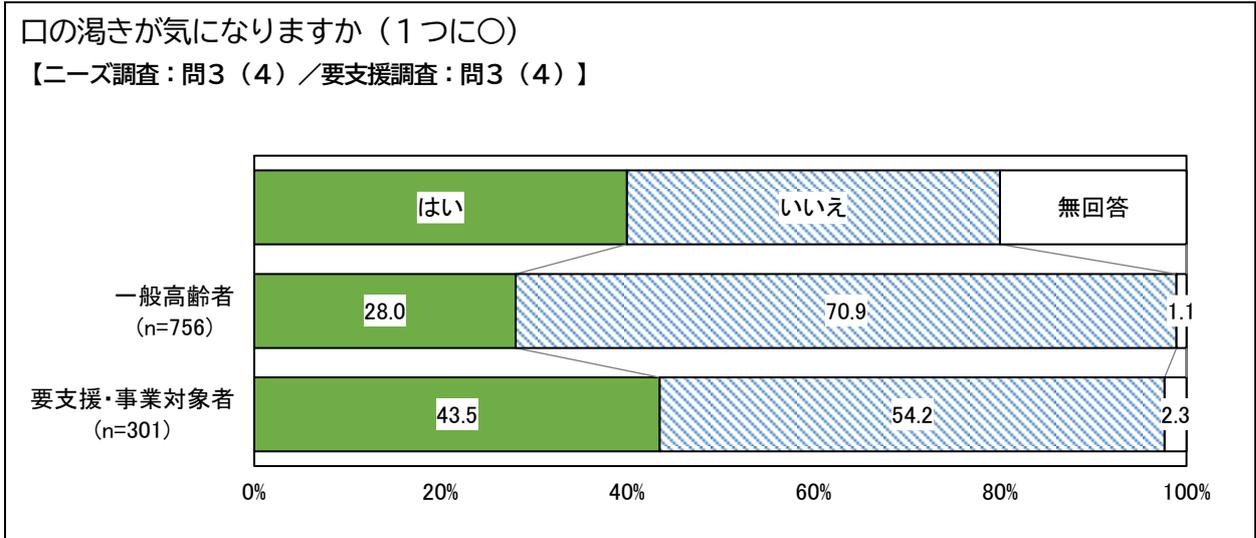
固いものが食べにくくなったかについて、口腔機能の低下リスクのチェック該当となる「はい」の割合（咀嚼機能の低下が疑われる人）は、一般高齢者では30.0%、要支援・事業対象者では50.2%となっています。

(3) お茶や汁物等でむせることがあるか



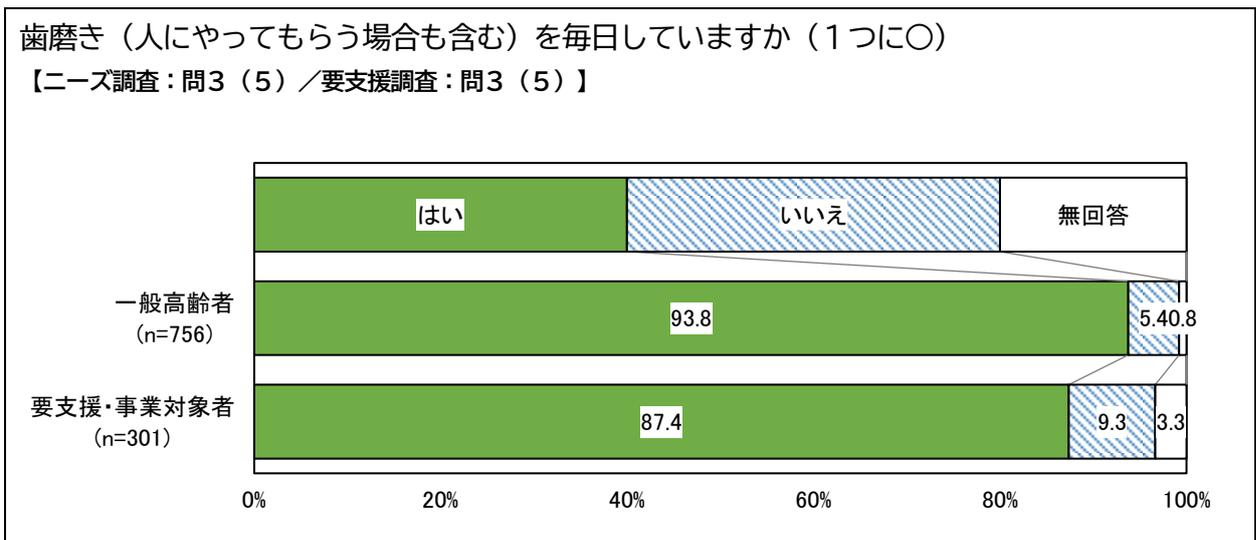
お茶や汁物等でむせることがあるかについて、口腔機能低下のチェック該当となる「はい」の割合（嚥下機能の低下が疑われる人）は、一般高齢者では28.6%、要支援・事業対象者では44.9%となっています。

(4) 口の渇き



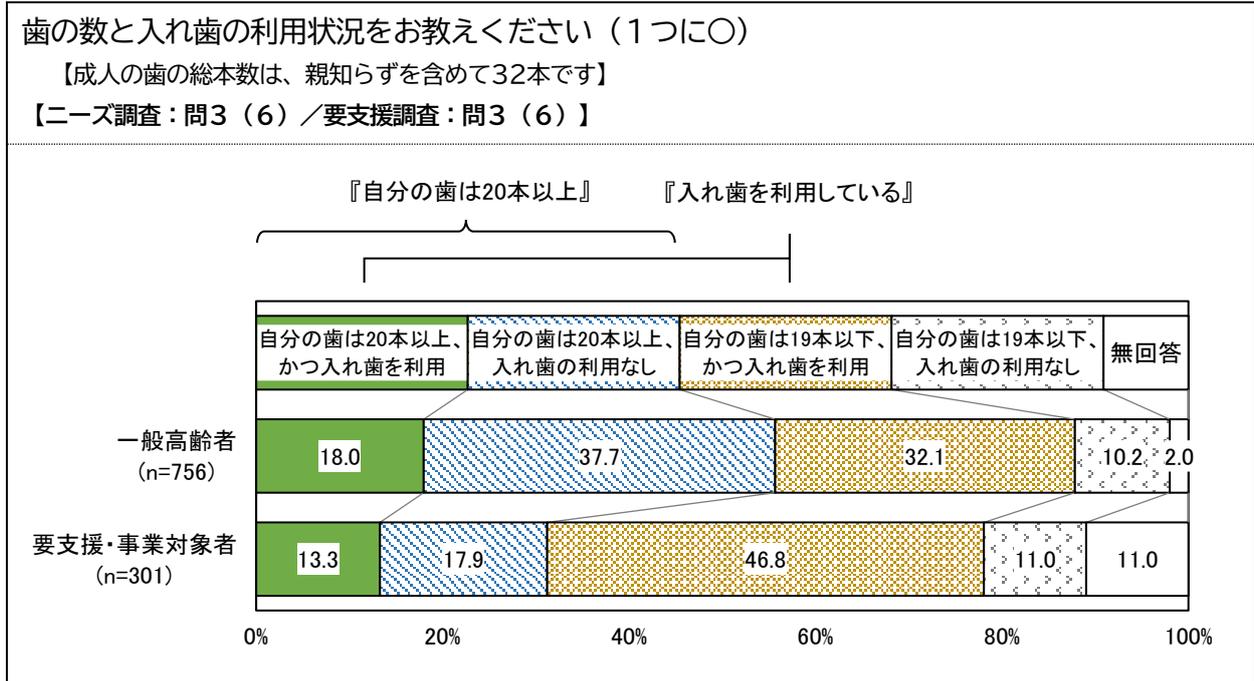
口の渇きが気になるかについて、口腔機能低下のチェック該当となる「はい」の割合（肺炎発症リスクのある人）は、一般高齢者では28.0%、要支援・事業対象者では43.5%となっています。

(5) 歯磨きの習慣



歯磨きを毎日しているかについて、ともに「はい」が「いいえ」より多く、一般高齢者では93.8%、要支援・事業対象者では87.4%を占めています。

(6) 歯の数と入れ歯の利用状況

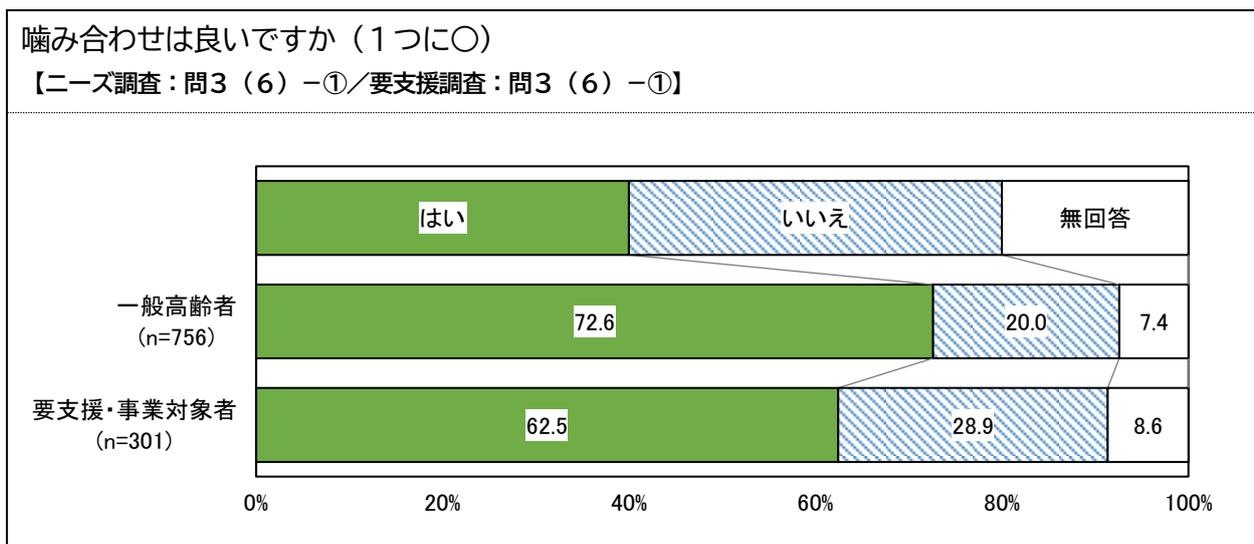


歯の数と入れ歯の利用状況について、一般高齢者では「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が37.7%で最も多く、次いで「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が32.1%となっています。

要支援・事業対象者では「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が46.8%で最も多く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が17.9%となっています。

なお、『自分の歯は20本以上』の割合は、一般高齢者では55.7%、要支援・事業対象者では31.2%となっています。また、『入れ歯を利用している』の割合は、一般高齢者では50.1%、要支援・事業対象者では60.1%となっており、ともに過半数を占めています。

(6) - ① 噛み合わせ



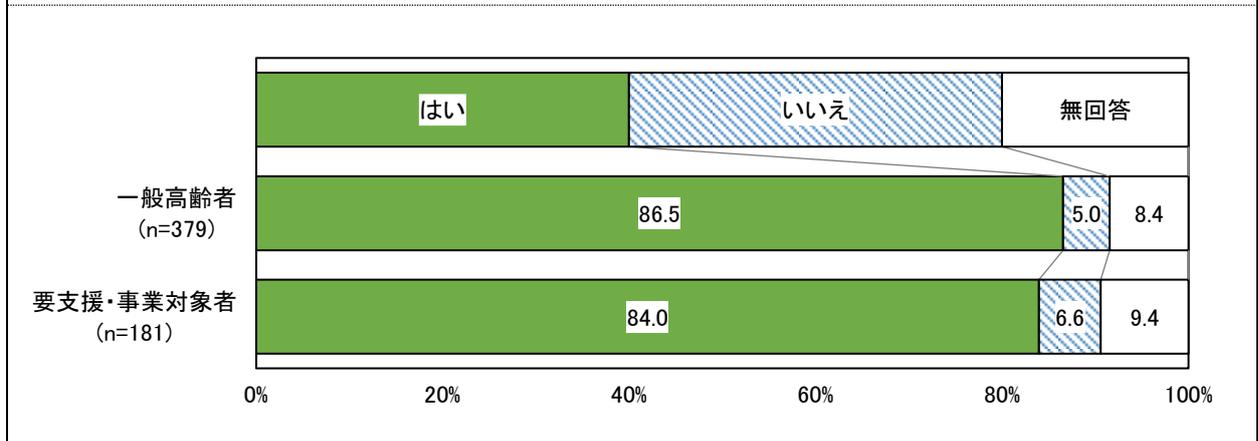
噛み合わせは良いかについて、ともに「はい」が「いいえ」より多く、一般高齢者では72.6%、要支援・事業対象者では62.5%を占めています。

(6) -②入れ歯の手入れ

【(6)で「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」または「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」を選んだ入れ歯を利用している方】

毎日入れ歯の手入れをしていますか(1つに○)

【ニーズ調査：問3(6)-②/要支援調査：問3(6)-②】

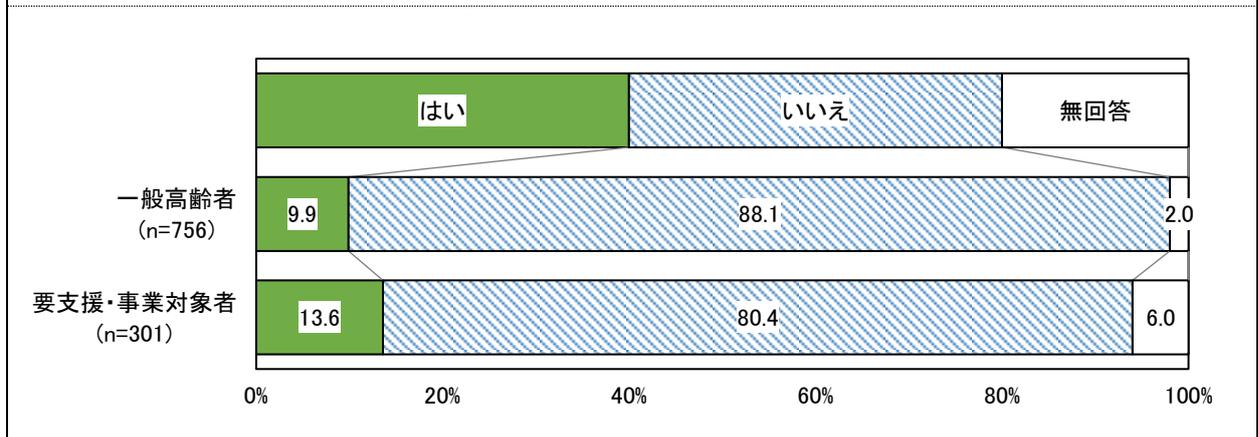


『入れ歯を利用している』と回答した人の毎日入れ歯の手入れをしているかについて、ともに「はい」が「いいえ」より多く、一般高齢者では86.5%、要支援・事業対象者では84.0%を占めています。

(7) 体重の減少

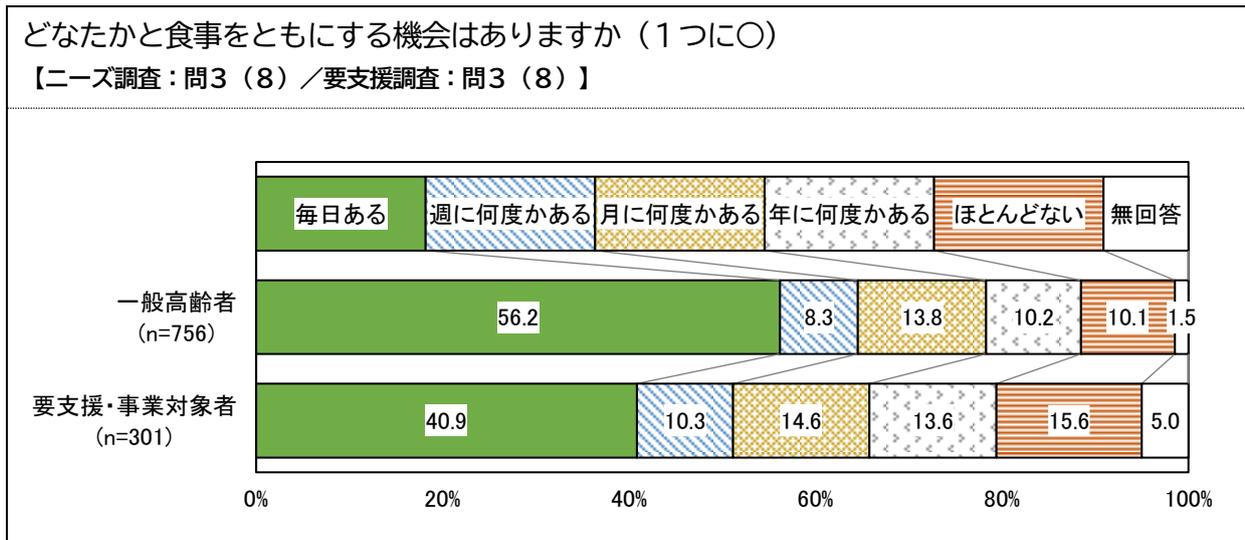
6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか(1つに○)

【ニーズ調査：問3(7)/要支援調査：問3(7)】



6か月間の体重の減少があったかについて、低栄養傾向のチェック該当となる「はい」の割合は、一般高齢者では9.9%、要支援・事業対象者では13.6%となっています。

(8) 誰かと食事をする機会



誰かと食事をする機会について、ともに「毎日ある」が最も多く、一般高齢者では56.2%、要支援・事業対象者では40.9%となっています。

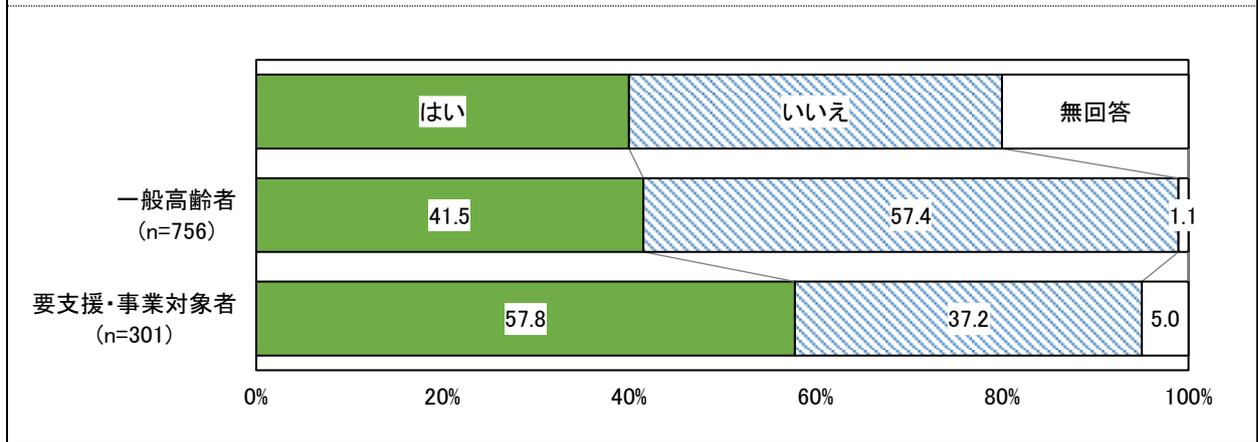
一方、「ほとんどない」は、一般高齢者では10.1%、要支援・事業対象者では15.6%となっています。

4 毎日の生活について

(1) 物忘れ

物忘れが多いと感じますか（1つに○）

【ニーズ調査：問4（1）／要支援調査：問4（1）】

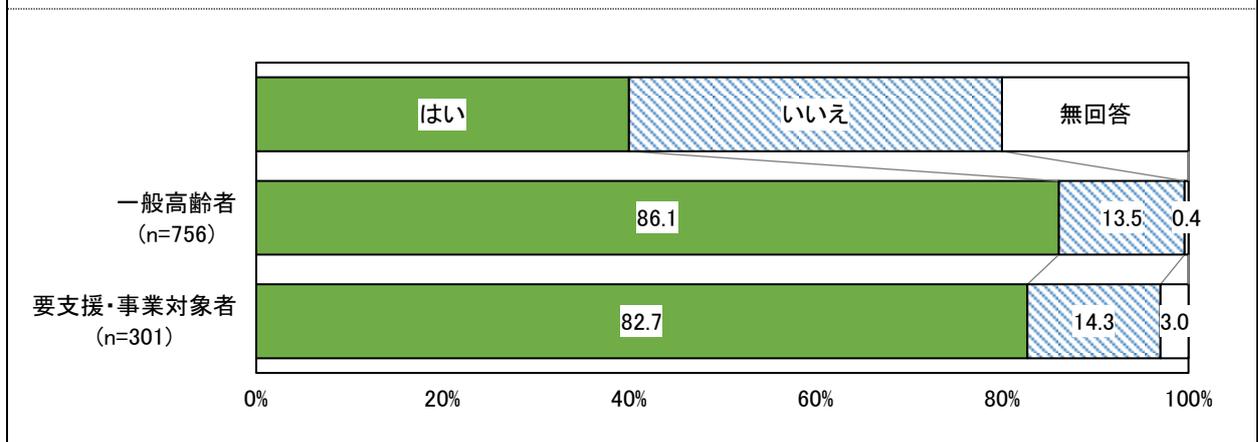


物忘れが多いと感じるかについて、認知機能低下のチェック該当となる「はい」の割合は、一般高齢者では41.5%、要支援・事業対象者では57.8%となっています。

(2) 電話をかけているか

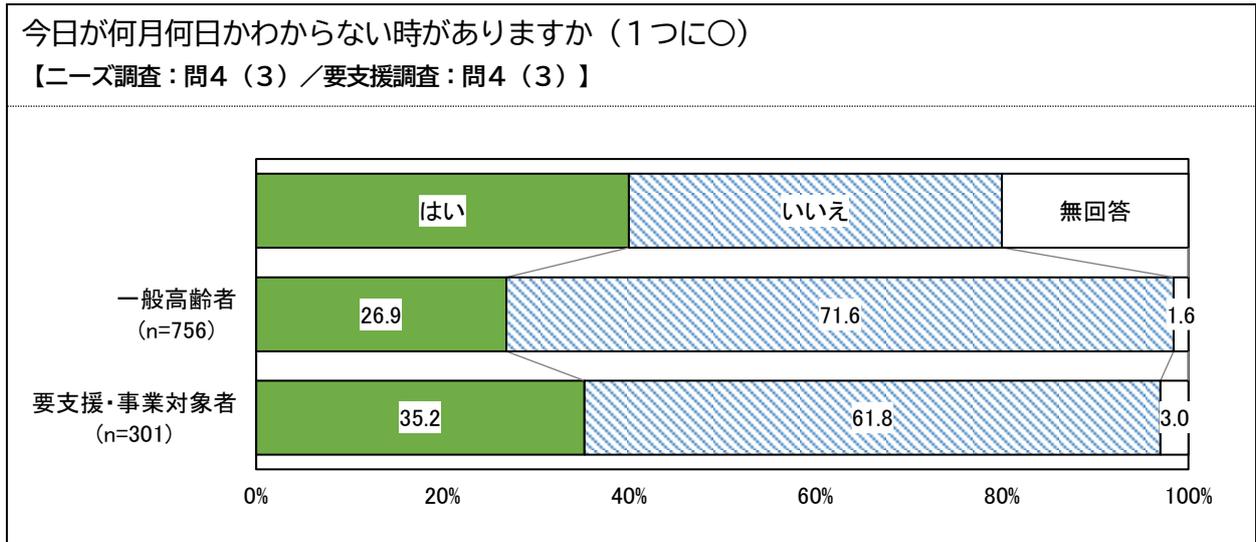
自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか（1つに○）

【ニーズ調査：問4（2）／要支援調査：問4（2）】



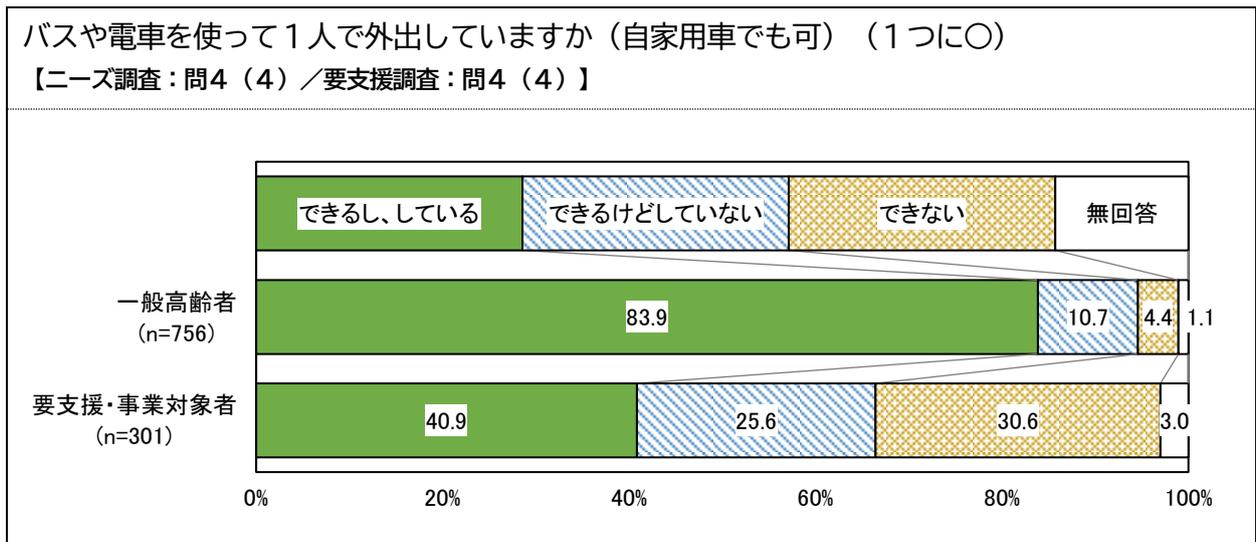
電話をかけているかについて、認知機能低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は、一般高齢者では13.5%、要支援・事業対象者では14.3%となっています。

(3) 日にちがわからないことがあるか



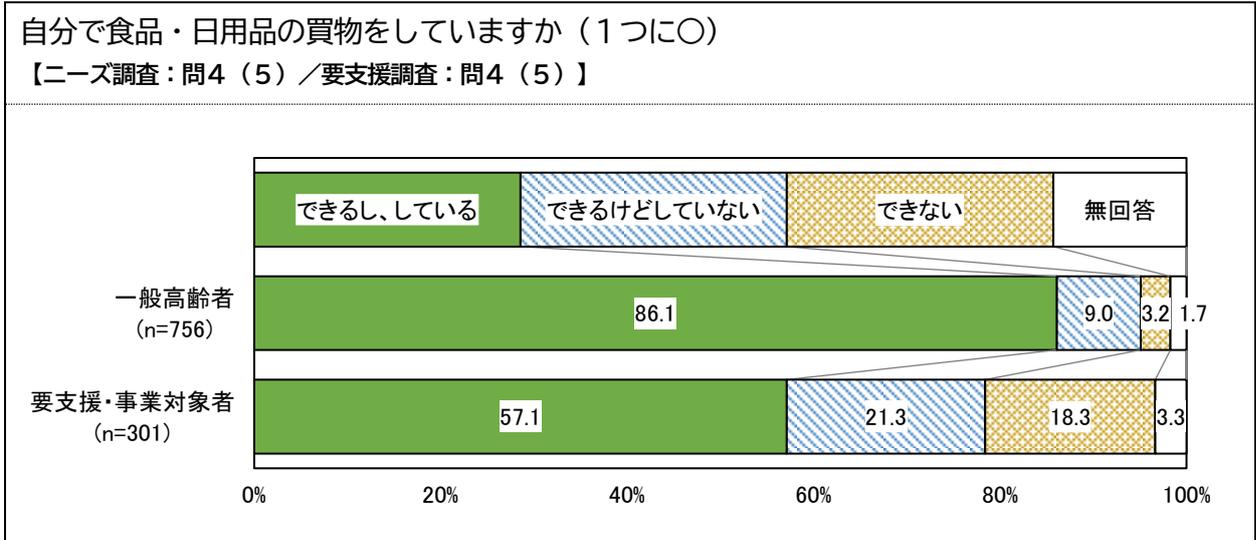
日にちがわからないことがあるかについて、認知機能低下のチェック該当となる「はい」の割合は、一般高齢者では26.9%、要支援・事業対象者では35.2%となっています。

(4) 1人での外出



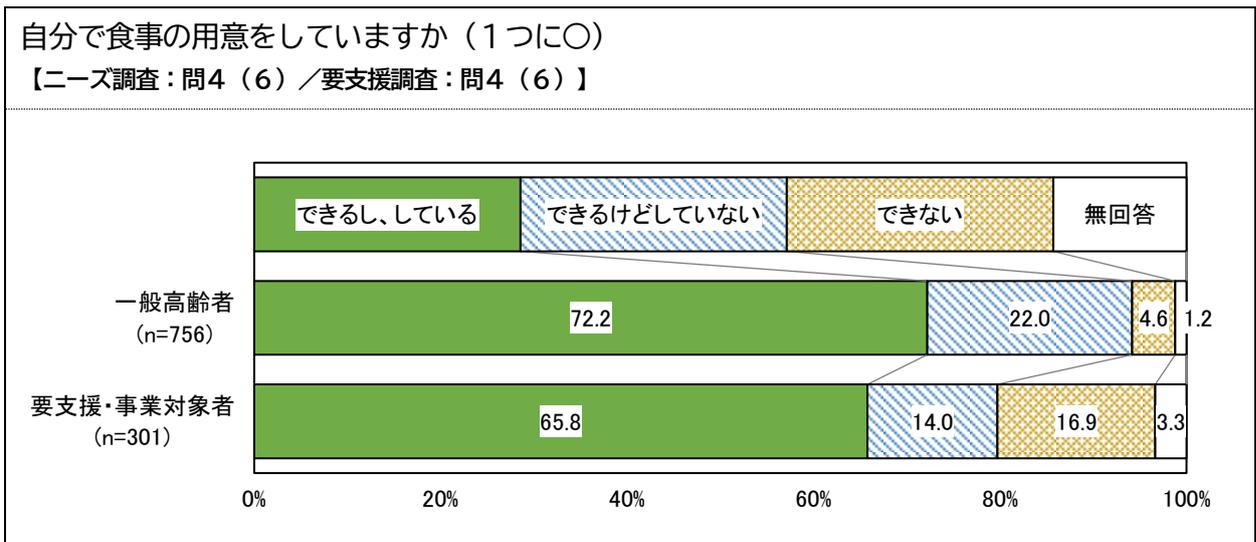
1人での外出について、IADL（手段的日常生活動作）低下のチェック該当となる「できない」の割合は、一般高齢者では4.4%、要支援・事業対象者では30.6%となっています。

(5) 食品・日用品の買物



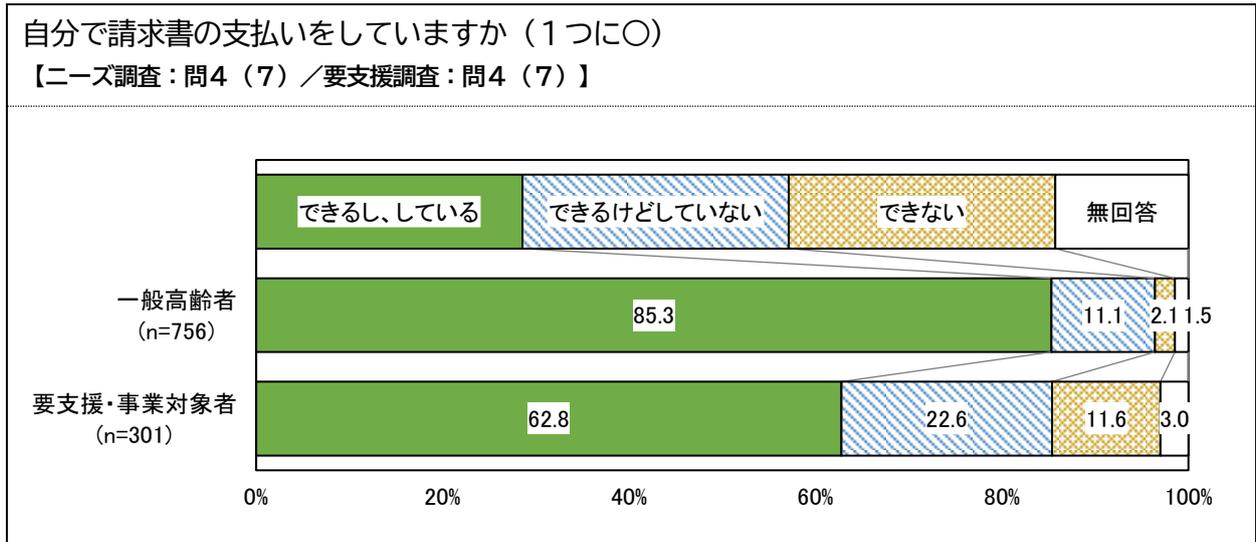
食品・日用品の買物について、IADL（手段的日常生活動作）低下のチェック該当となる「できない」の割合は、一般高齢者では3.2%、要支援・事業対象者では18.3%となっています。

(6) 食事の用意



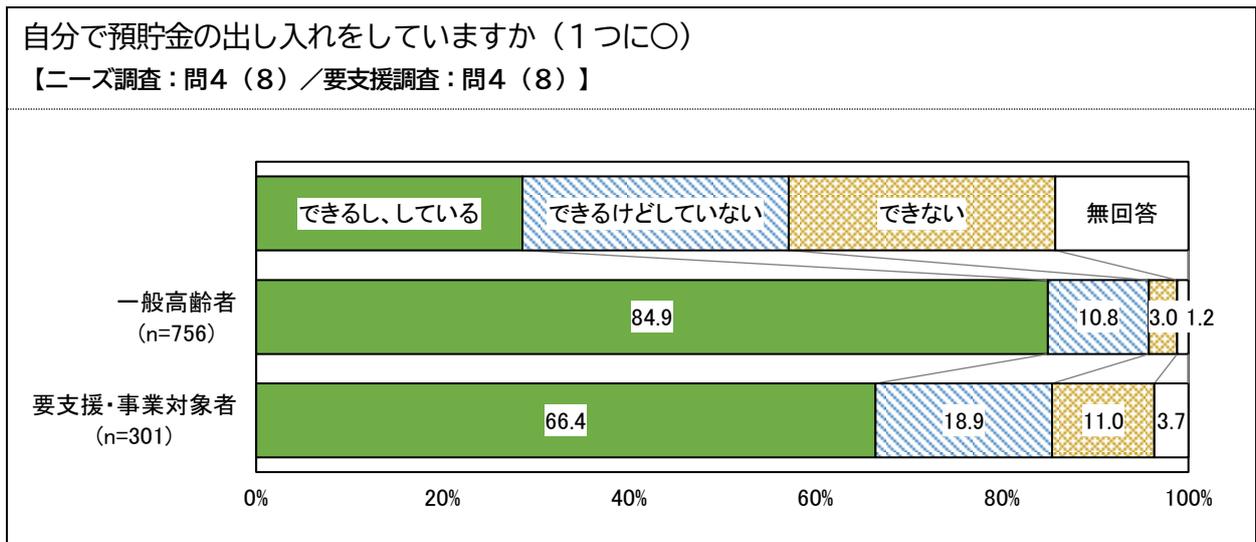
食事の用意について、IADL（手段的日常生活動作）低下のチェック該当となる「できない」の割合は、一般高齢者では4.6%、要支援・事業対象者では16.9%となっています。

(7) 請求書の支払い



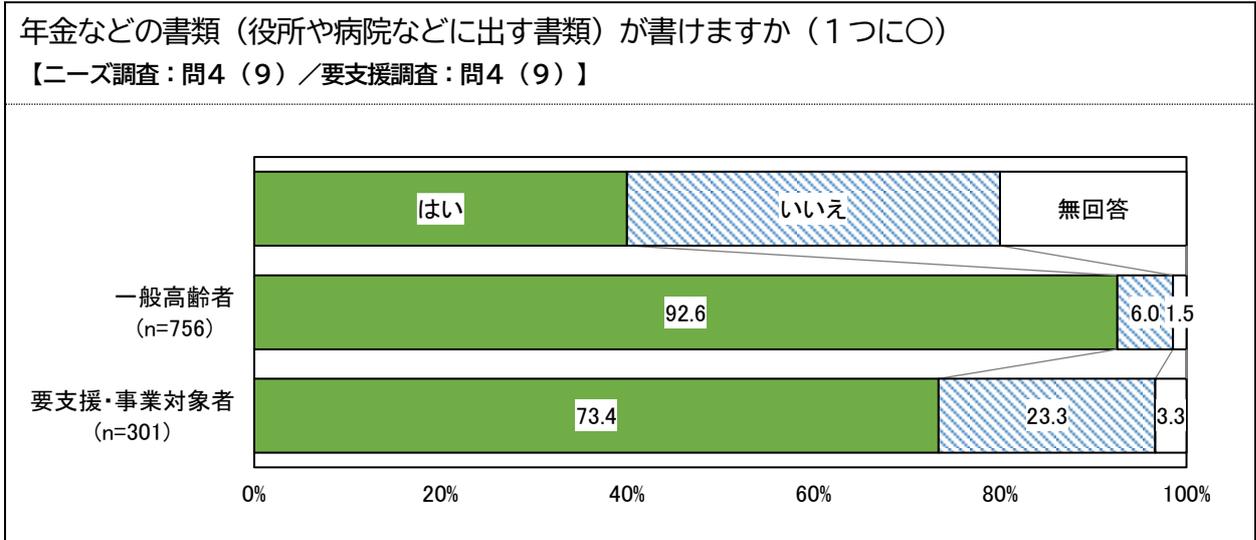
請求書の支払いについて、IADL（手段的日常生活動作）低下のチェック該当となる「できない」の割合は、一般高齢者では2.1%、要支援・事業対象者では11.6%となっています。

(8) 預貯金の出し入れ



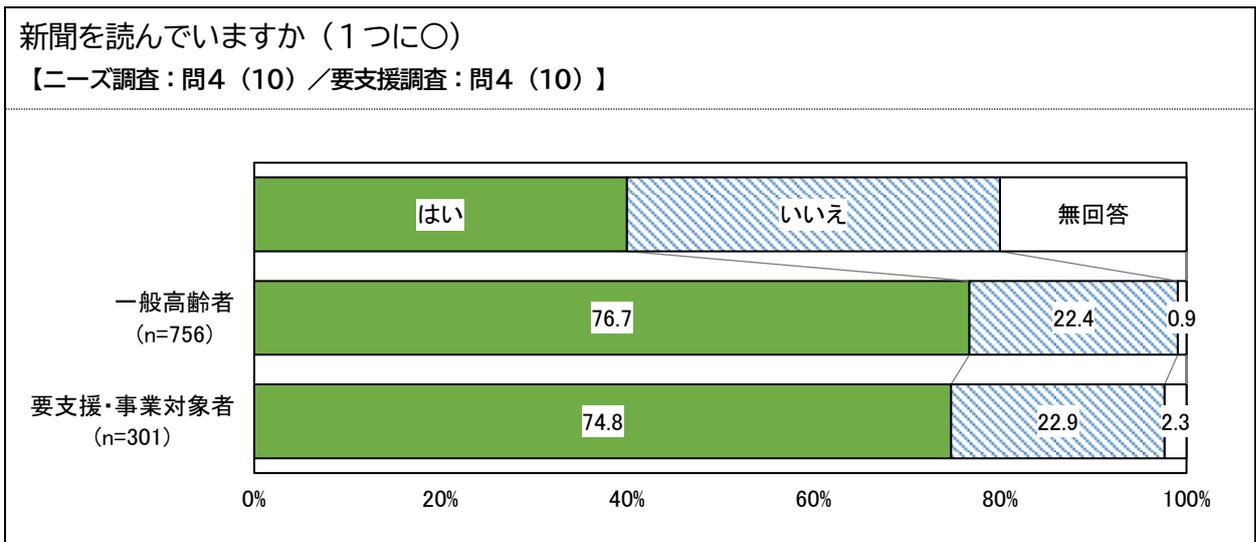
預貯金の出し入れについて、IADL（手段的日常生活動作）低下のチェック該当となる「できない」の割合は、一般高齢者では3.0%、要支援・事業対象者では11.0%となっています。

(9) 年金などの書類が書けるか



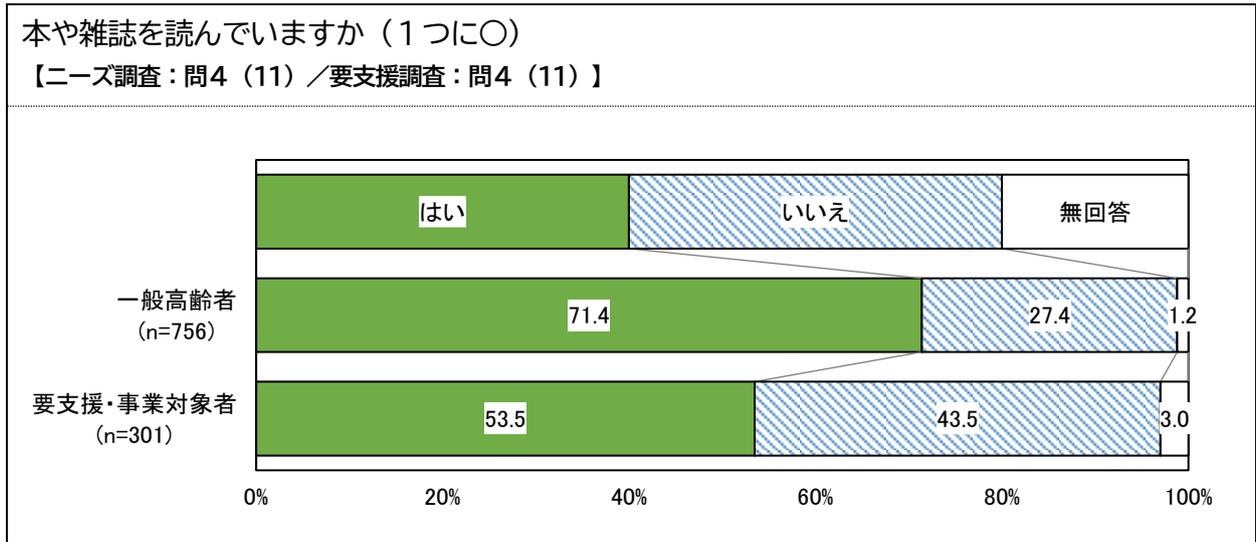
年金などの書類が書けるかについて、知的能動性低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は、一般高齢者では6.0%、要支援・事業対象者では23.3%となっています。

(10) 新聞を読んでいるか



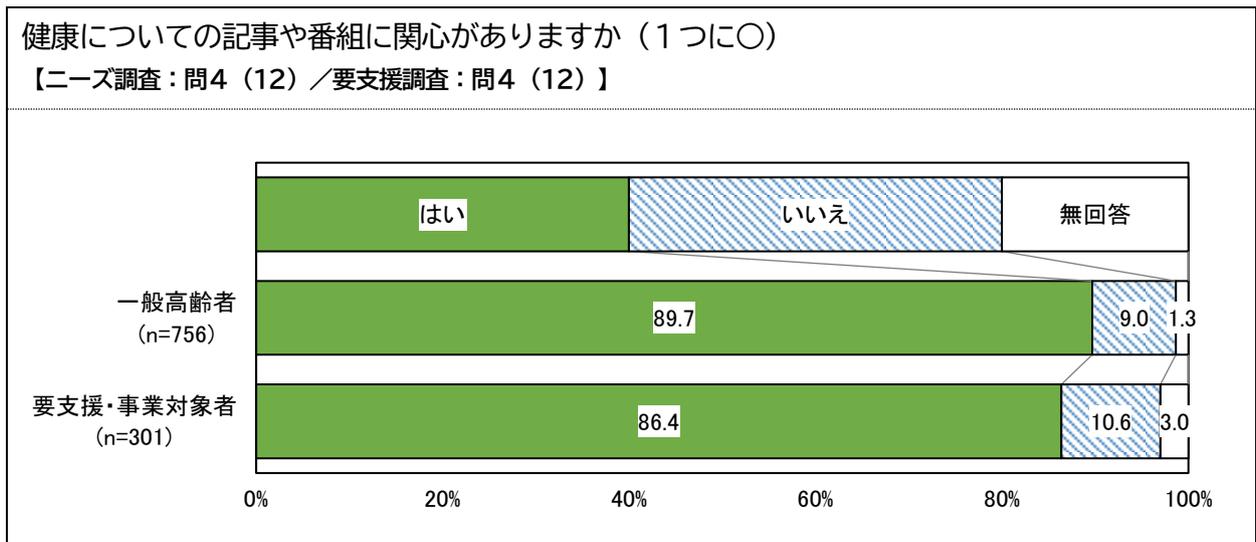
新聞を読んでいるかについて、知的能動性低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は、一般高齢者では22.4%、要支援・事業対象者では22.9%となっています。

(11) 本や雑誌を読んでいるか



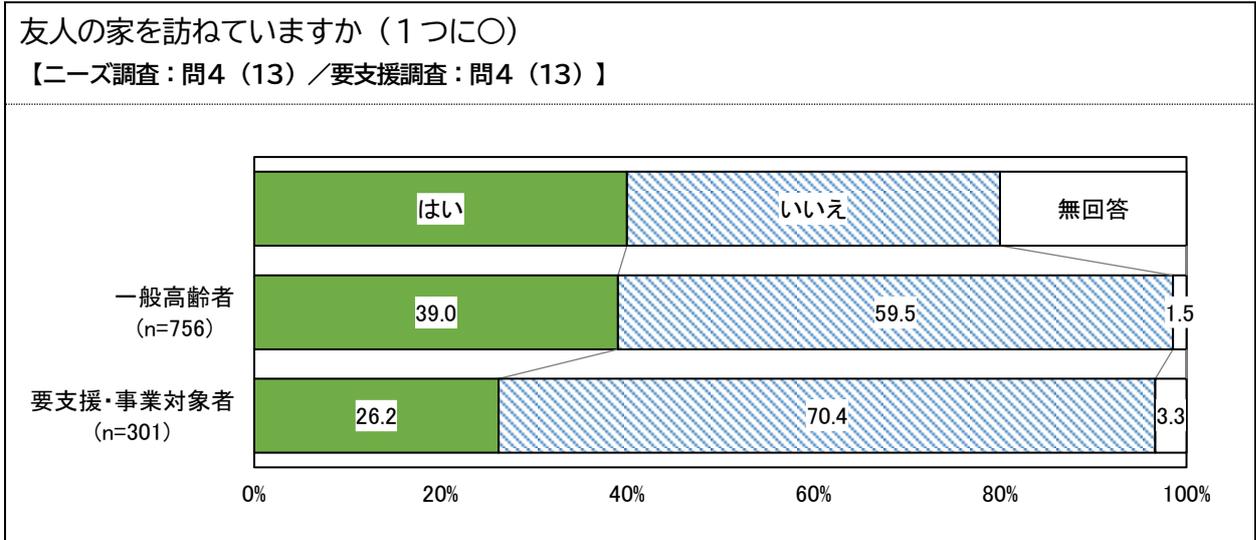
本や雑誌を読んでいるかについて、知的能動性低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は、一般高齢者では27.4%、要支援・事業対象者では43.5%となっています。

(12) 健康についての記事や番組への関心



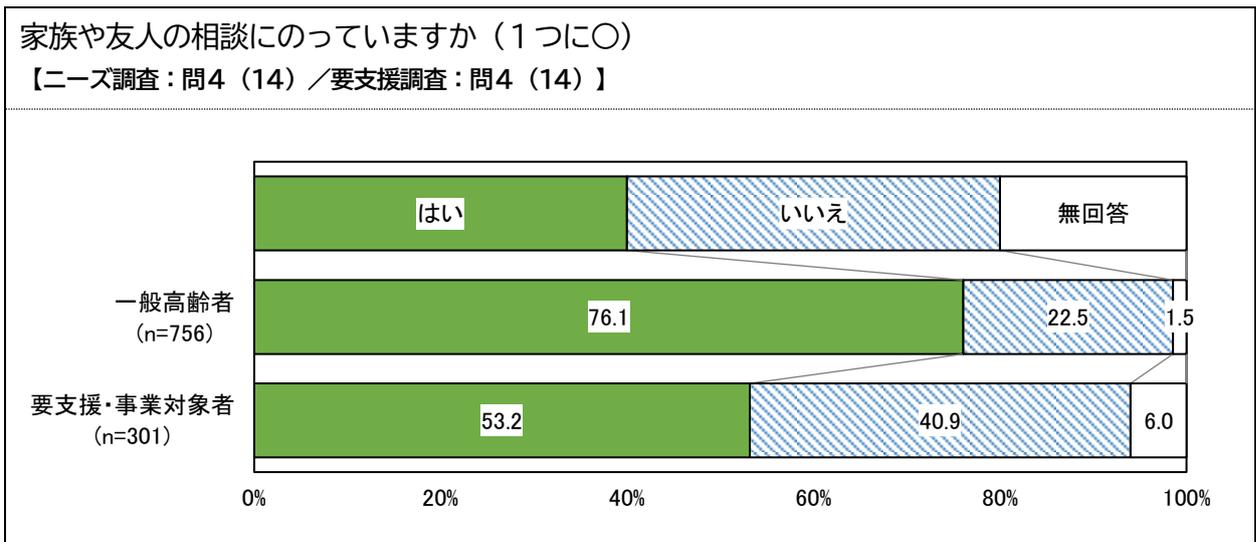
健康についての記事や番組に関心があるかについて、知的能動性低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は、一般高齢者では9.0%、要支援・事業対象者では10.6%となっています。

(13) 友人宅への訪問



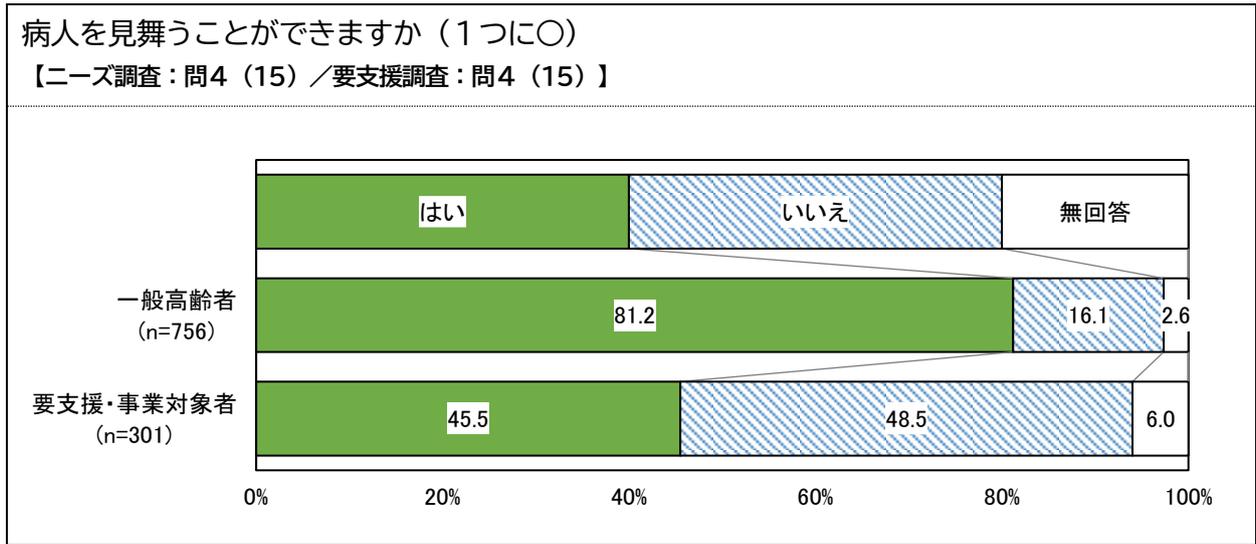
友人宅を訪ねているかについて、社会的役割の低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は、一般高齢者では59.5%、要支援・事業対象者では70.4%を占めています。

(14) 家族や友人の相談にのっているか



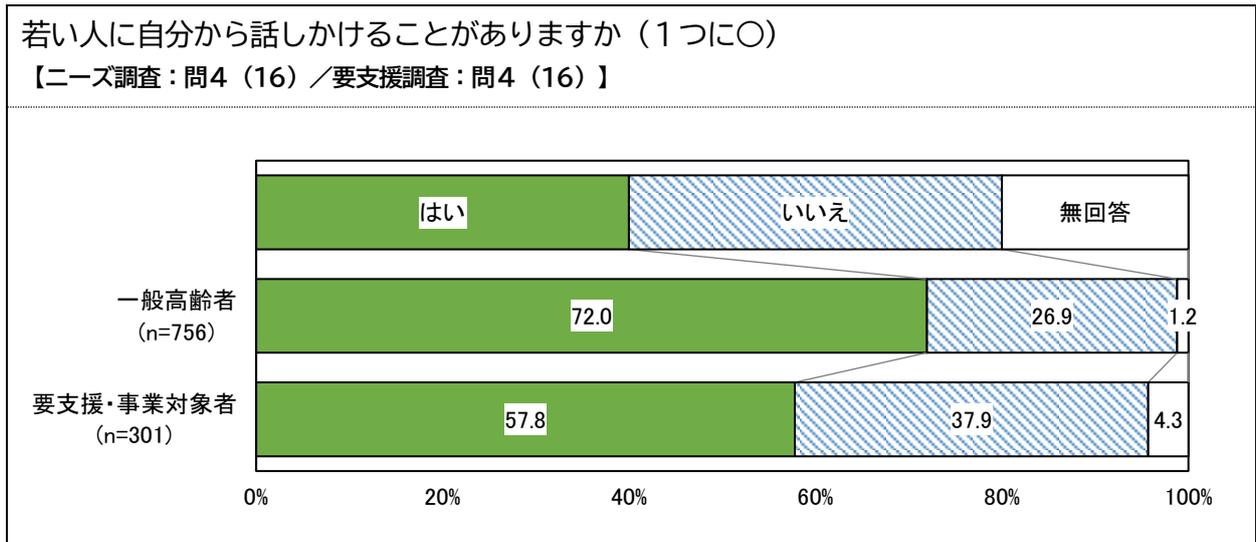
家族や友人の相談にのっているかについて、社会的役割の低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は、一般高齢者では22.5%、要支援・事業対象者では40.9%となっています。

(15) 病人の見舞いができるか



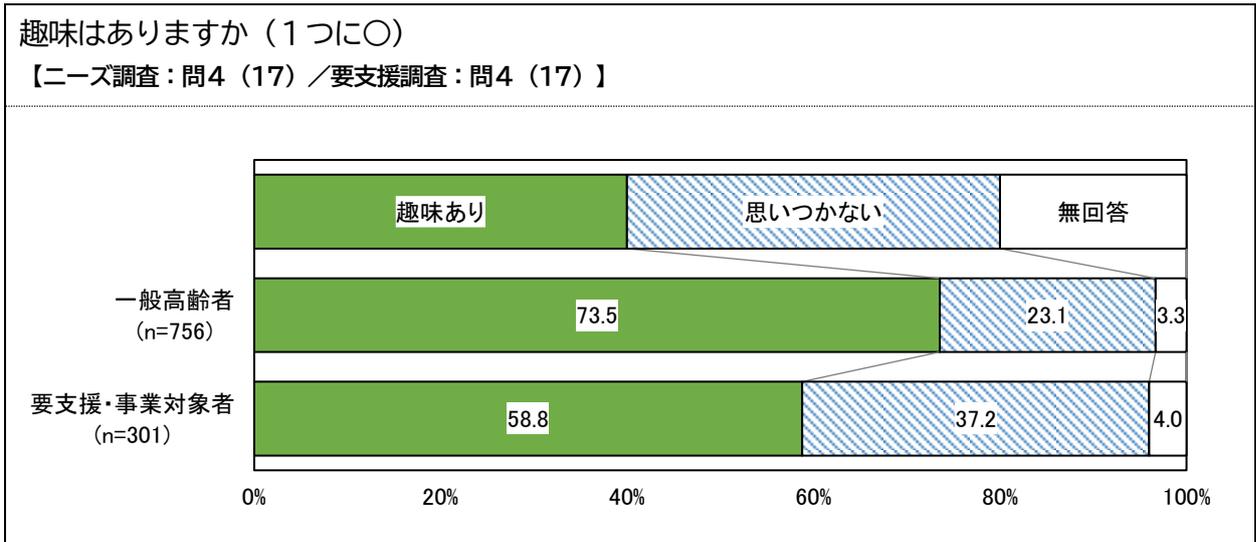
病人の見舞いができるかについて、社会的役割の低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は、一般高齢者では16.1%、要支援・事業対象者では48.5%となっています。

(16) 若い人への話しかけ



若い人に話しかけることがあるかについて、社会的役割低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は、一般高齢者では26.9%、要支援・事業対象者では37.9%となっています。

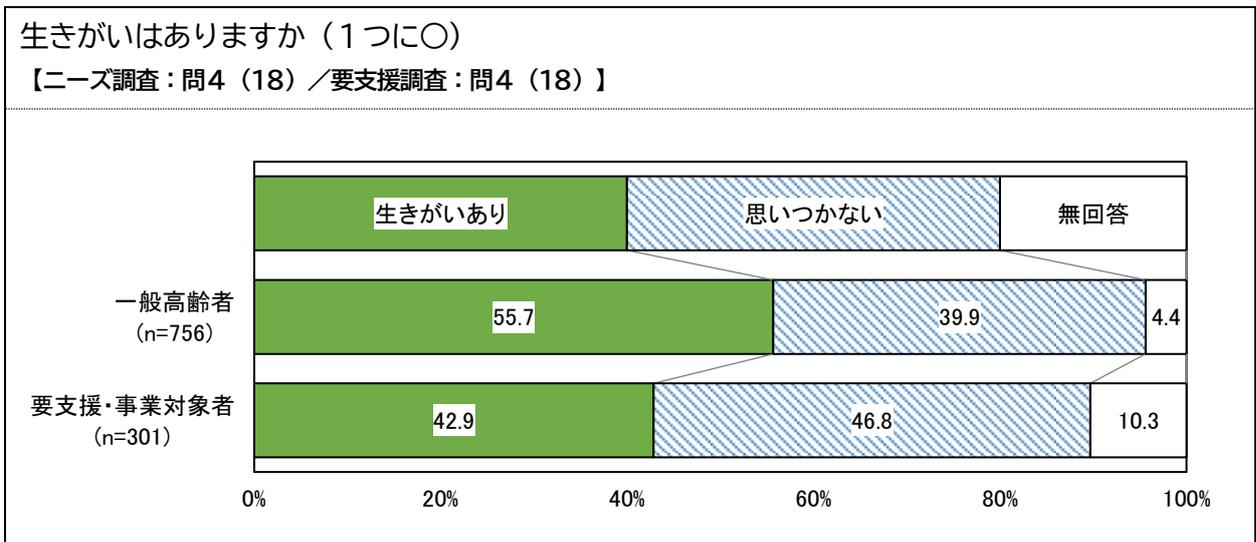
(17) 趣味の有無



趣味の有無について、ともに「趣味あり」が「思いつかない」より多く、一般高齢者では73.5%、要支援・事業対象者では58.8%を占めています。

具体的には「ゴルフ」、「読書」、「旅行」、「ウォーキング」、「手芸」、「カラオケ」などが比較的多く挙げられています。

(18) 生きがいの有無



生きがいの有無について、一般高齢者では「生きがいあり」が55.7%を占めています。

一方、要支援・事業対象者では「思いつかない」が46.8%で「生きがいあり」より多くなっています。

具体的には「孫の成長」が突出して多く、その他では「家族」、「仕事」、「旅行」、「趣味」などが比較的多く挙げられています。

5 地域での活動について

(1) 会・グループへの参加状況

以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

(①～⑨それぞれ1つに○)

【ニーズ調査：問5（1）／要支援調査：問5（1）】

①ボランティアのグループ

単位：%

	参加している						参加している	参加していない	無回答
	週4回以上	週2～3回	週1回	週1回以上	月1～3回	年に数回			
一般高齢者 (n=756)	0.7	1.1	1.6	3.4	3.3	4.2	10.9	65.9	23.3
要支援・事業対象者 (n=301)	0.0	1.3	1.3	2.6	1.3	0.7	4.6	61.8	33.6

ボランティアのグループについて、『参加している』の割合は、一般高齢者では10.9%、要支援・事業対象者では4.6%となっています。

②スポーツ関係のグループやクラブ

単位：%

	参加している						参加している	参加していない	無回答
	週4回以上	週2～3回	週1回	週1回以上	月1～3回	年に数回			
一般高齢者 (n=756)	3.3	8.5	6.3	18.1	5.7	3.2	27.0	54.1	18.9
要支援・事業対象者 (n=301)	2.0	1.7	2.0	5.7	3.0	1.0	9.7	57.1	33.2

スポーツ関係のグループやクラブについて、『参加している』の割合は、一般高齢者では27.0%、要支援・事業対象者では9.7%となっています。

③趣味関係のグループ

単位：%

	参加している						参加している	参加していない	無回答
	週4回以上	週2～3回	週1回	週1回以上	月1～3回	年に数回			
一般高齢者 (n=756)	1.2	5.3	6.2	12.7	13.4	4.9	31.0	51.2	17.9
要支援・事業対象者 (n=301)	1.0	2.3	2.3	5.6	8.6	2.0	16.2	52.2	31.6

趣味関係のグループについて、『参加している』の割合は、一般高齢者では31.0%、要支援・事業対象者では16.2%となっています。

④学習・教養サークル

単位：%

	参加している						参加している	参加していない	無回答
	週4回以上	週2～3回	週1回	週1回以上	月1～3回	年に数回			
一般高齢者 (n=756)	0.3	0.5	0.9	1.7	2.5	2.0	6.2	69.8	23.9
要支援・事業対象者 (n=301)	0.0	0.7	1.0	1.7	2.3	1.0	5.0	58.8	36.2

学習・教養サークルについて、『参加している』の割合は、一般高齢者では6.2%、要支援・事業対象者では5.0%となっています。

⑤介護予防や健康づくりのための通いの場（いきいき百歳体操など）

単位：%

	参加している						参加している	参加していない	無回答
	週4回以上	週2～3回	週1回	週1回以上	月1～3回	年に数回			
一般高齢者 (n=756)	0.4	1.3	1.2	2.9	2.8	0.8	6.5	69.8	23.7
要支援・事業対象者 (n=301)	1.3	3.7	8.0	13.0	3.3	0.7	17.0	53.2	29.9

介護予防や健康づくりのための通いの場について、『参加している』の割合は、一般高齢者では6.5%、要支援・事業対象者では17.0%となっています。

⑥地域交流サロン

単位：%

	参加頻度						参加している	参加していない	無回答
	週4回以上	週2～3回	週1回	週1回以上	月1～3回	年に数回			
一般高齢者 (n=756)	0.0	0.1	0.5	0.6	2.0	1.3	3.9	71.4	24.6
要支援・事業対象者 (n=301)	0.0	0.0	1.0	1.0	4.0	0.3	5.3	60.8	33.9

地域交流サロンについて、『参加している』の割合は、一般高齢者では3.9%、要支援・事業対象者では5.3%となっています。

⑦老人クラブ

単位：%

	参加頻度						参加している	参加していない	無回答
	週4回以上	週2～3回	週1回	週1回以上	月1～3回	年に数回			
一般高齢者 (n=756)	0.3	0.1	0.3	0.7	1.1	1.7	3.5	72.2	24.3
要支援・事業対象者 (n=301)	0.7	1.0	1.0	2.7	1.3	2.0	6.0	61.8	32.2

老人クラブについては、『参加している』の割合は、一般高齢者では3.5%、要支援・事業対象者では6.0%となっています。

⑧町内会・自治会

単位：%

	参加頻度						参加している	参加していない	無回答
	週4回以上	週2～3回	週1回	週1回以上	月1～3回	年に数回			
一般高齢者 (n=756)	0.7	0.5	0.3	1.5	4.4	23.7	29.6	48.7	21.8
要支援・事業対象者 (n=301)	0.3	0.3	0.3	0.9	1.7	8.6	11.2	55.1	33.6

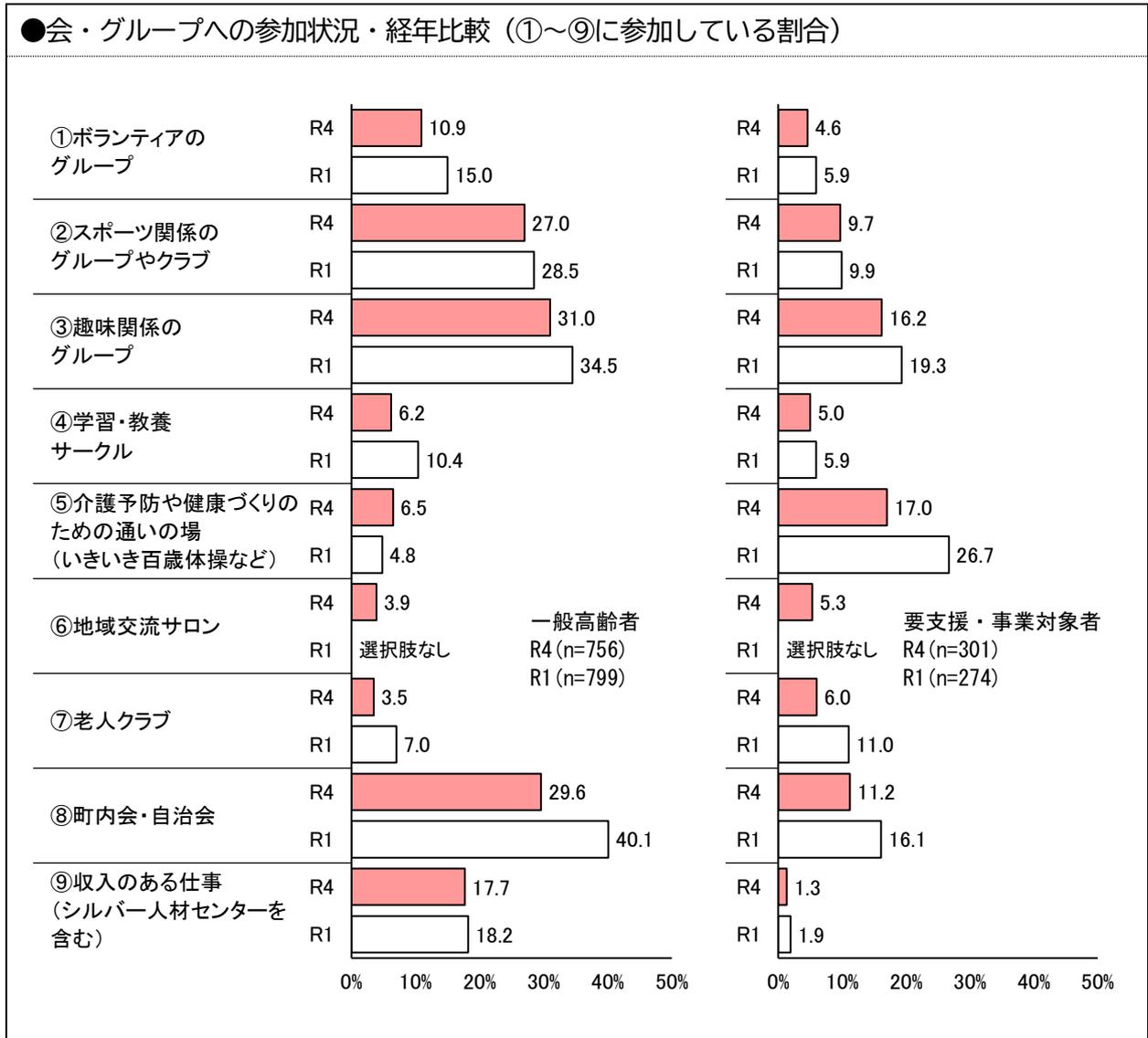
町内会・自治会については、『参加している』の割合は、一般高齢者では29.6%、要支援・事業対象者では11.2%となっています。

◎収入のある仕事（シルバー人材センターを含む）

単位：%

	参加している						参加していない	無回答	
	週4回以上	週2～3回	週1回	週1回以上	月1～3回	年に数回			
一般高齢者 (n=756)	8.7	6.5	0.4	15.6	1.3	0.8	17.7	59.1	23.1
要支援・事業対象者 (n=301)	1.0	0.3	0.0	1.3	0.0	0.0	1.3	62.1	36.5

収入のある仕事については、『参加している』の割合は、一般高齢者では17.7%、要支援・事業対象者では1.3%となっています。



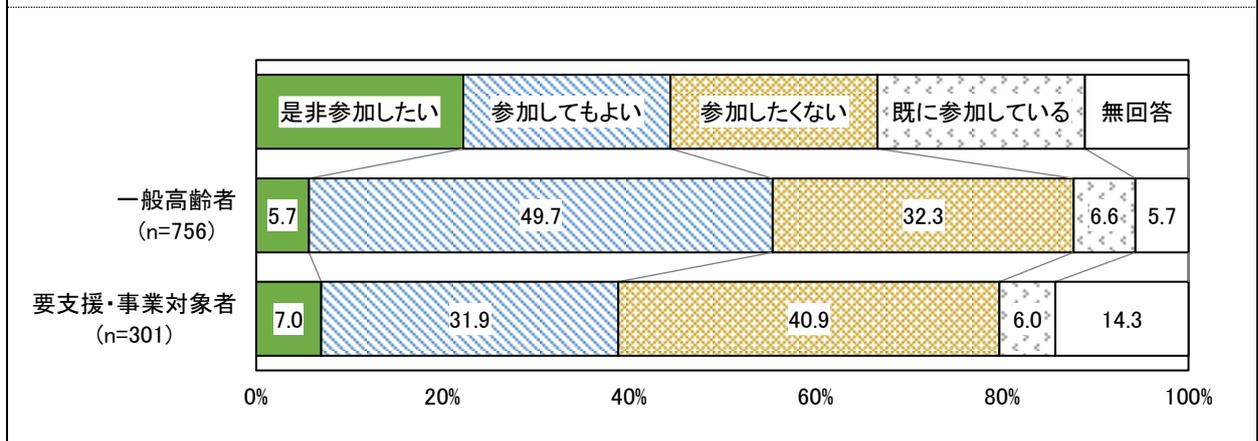
会・グループへの参加状況について、一般高齢者では「③趣味関係のグループ」が31.0%で最も多く、要支援・事業対象者では「⑤介護予防や健康づくりのための通いの場」が17.0%で最も多くなっています。

前回の調査と比較すると、全体的に割合が低下しています。その中で、一般高齢者の「⑤介護予防や健康づくりのための通いの場」は1.7ポイント増となっています。

(2) 参加者としての地域活動への参加

地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか（1つに○）

【ニーズ調査：問5（2）／要支援調査：問5（2）】



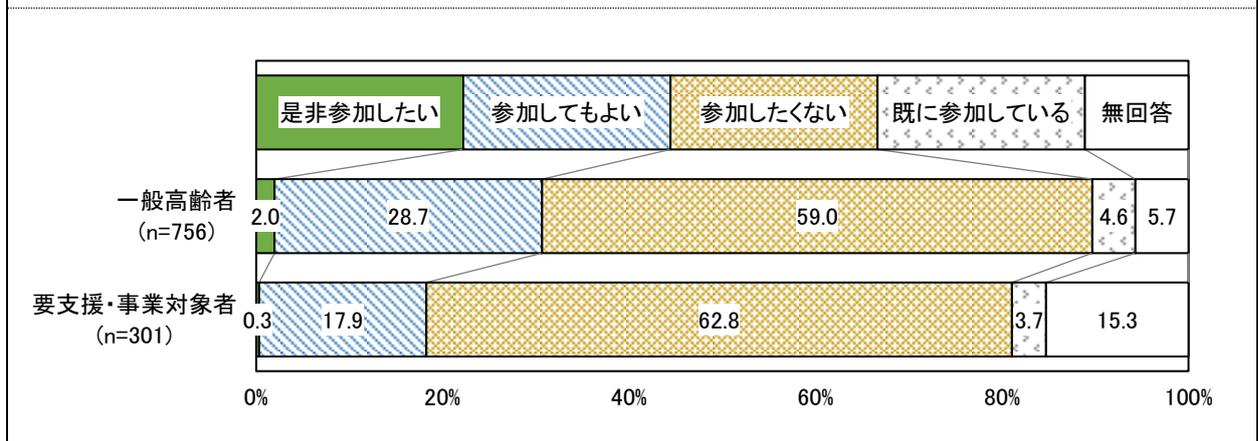
参加者としての地域活動への参加について、一般高齢者では「参加してもよい」が49.7%で最も多く、次いで「参加したくない」が32.3%となっています。

要支援・事業対象者では「参加したくない」が40.9%で最も多く、次いで「参加してもよい」が31.9%となっています。

(3) 企画・運営者としての地域活動への参加

地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（1つに○）

【ニーズ調査：問5（3）／要支援調査：問5（3）】



企画・運営者としての地域活動への参加について、ともに「参加したくない」が最も多く、一般高齢者では59.0%、要支援・事業対象者では62.8%を占めています。

6 あなたとまわりの人の「たすけあい」について

(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人

あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）

【ニーズ調査：問6（1）／要支援調査：問6（1）】

単位:%

	配偶者	友人	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	同居の子ども	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
一般高齢者(n=756)	62.2	43.7	37.2	33.2	20.4	12.8	0.9	5.0	1.1
要支援・事業対象者(n=301)	33.9	26.6	41.2	24.9	23.3	14.3	1.0	9.6	4.3

心配事や愚痴を聞いてくれる人について、一般高齢者では「配偶者」が62.2%で最も多く、次いで「友人」が43.7%となっています。

要支援・事業対象者では「別居の子ども」が41.2%で最も多く、次いで「配偶者」が33.9%となっています。

(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人

反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）

【ニーズ調査：問6（2）／要支援調査：問6（2）】

単位:%

	配偶者	友人	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	同居の子ども	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
一般高齢者(n=756)	57.0	44.0	37.0	35.8	17.6	15.6	1.1	7.0	2.1
要支援・事業対象者(n=301)	27.2	29.2	25.9	27.2	14.6	15.9	1.7	16.3	8.0

心配事や愚痴を聞いてあげる人について、一般高齢者では「配偶者」が57.0%で最も多く、次いで「友人」が44.0%となっています。

要支援・事業対象者では「友人」が29.2%で最も多く、次いで「配偶者」と「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が27.2%となっています。

(3) 看病や世話をしてくれる人

あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）

【ニーズ調査：問6（3）／要支援調査：問6（3）】

	配偶者	別居の子ども	同居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	友人	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
一般高齢者(n=756)	68.7	31.0	25.5	12.0	4.4	2.6	0.9	5.8	1.9
要支援・事業対象者(n=301)	37.2	35.5	27.6	10.6	2.3	3.0	2.0	13.0	5.0

単位:%

看病や世話をしてくれる人について、ともに「配偶者」最も多く、一般高齢者では68.7%、要支援・事業対象者では37.2%となっています。また、ともに「別居の子ども」が次いで多く、一般高齢者では31.0%、要支援・事業対象者では35.5%となっています。

(4) 看病や世話をしてあげる人

反対に、看病や世話をしてあげる人（いくつでも）

【ニーズ調査：問6（4）／要支援調査：問6（4）】

	配偶者	別居の子ども	同居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	友人	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
一般高齢者(n=756)	66.7	28.7	23.1	21.2	5.2	4.4	0.8	11.0	4.8
要支援・事業対象者(n=301)	31.6	11.3	16.3	8.6	3.3	2.0	3.7	30.9	13.0

単位:%

看病や世話をしてあげる人について、ともに「配偶者」が最も多く、一般高齢者では66.7%、要支援・事業対象者では31.6%となっています。

次いで、一般高齢者では「別居の子ども」が28.7%、要支援・事業対象者では「同居の子ども」が16.3%となっています。

(5) 相談相手

家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（いくつでも）

【ニーズ調査：問6（5）／要支援調査：問6（5）】

単位:%

	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・役場	社会福祉協議会	老人クラブ 自治会・町内会	民生委員	ケアマネジャー	その他	そのような人はいない	無回答
一般高齢者(n=756)	22.6	11.0	6.1	5.8	4.9	3.7	4.9	47.2	10.6
要支援・事業対象者(n=301)	17.9	25.2	7.0	1.3	7.6	45.8	3.0	19.6	10.6

家族や友人・知人以外の相談相手について、一般高齢者では「医師・歯科医師・看護師」が22.6%で最も多く、次いで「地域包括支援センター・役場」が11.0%となっています。

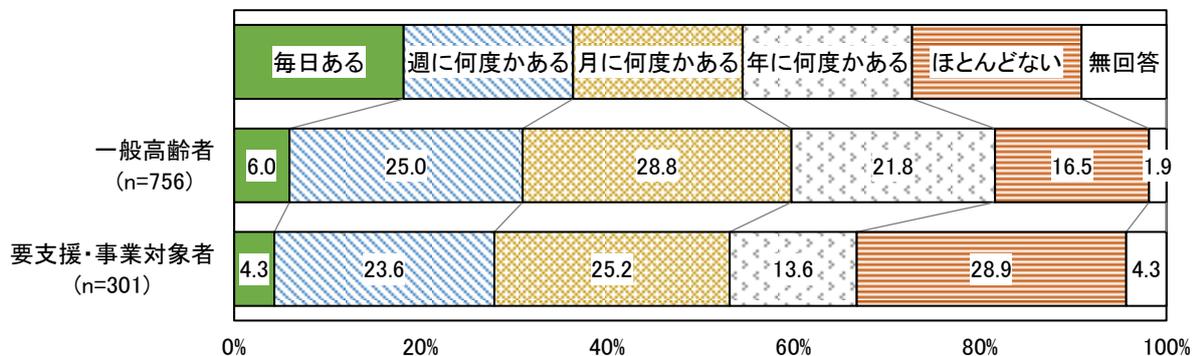
要支援・事業対象者では「ケアマネジャー」が45.8%で最も多く、次いで「地域包括支援センター・役場」が25.2%となっています。

なお、「そのような人はいない」は、一般高齢者では47.2%、要支援・事業対象者では19.6%となっています。

(6) 友人・知人と会う頻度

友人・知人と会う頻度はどれくらいですか（1つに○）

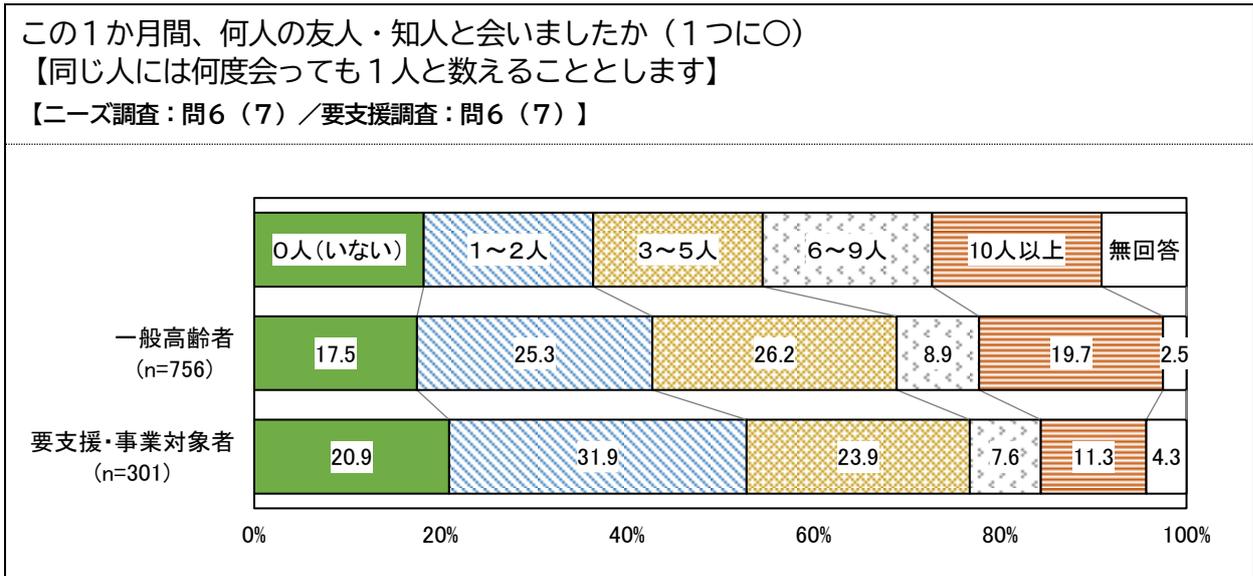
【ニーズ調査：問6（6）／要支援調査：問6（6）】



友人・知人と会う頻度について、一般高齢者では「月に何度かある」が28.8%で最も多く、次いで「週に何度かある」が25.0%となっています。

一方、要支援・事業対象者では「ほとんどない」が28.9%で最も多く、次いで「月に何度かある」が25.2%となっています。

(7) 1か月間に会った友人・知人

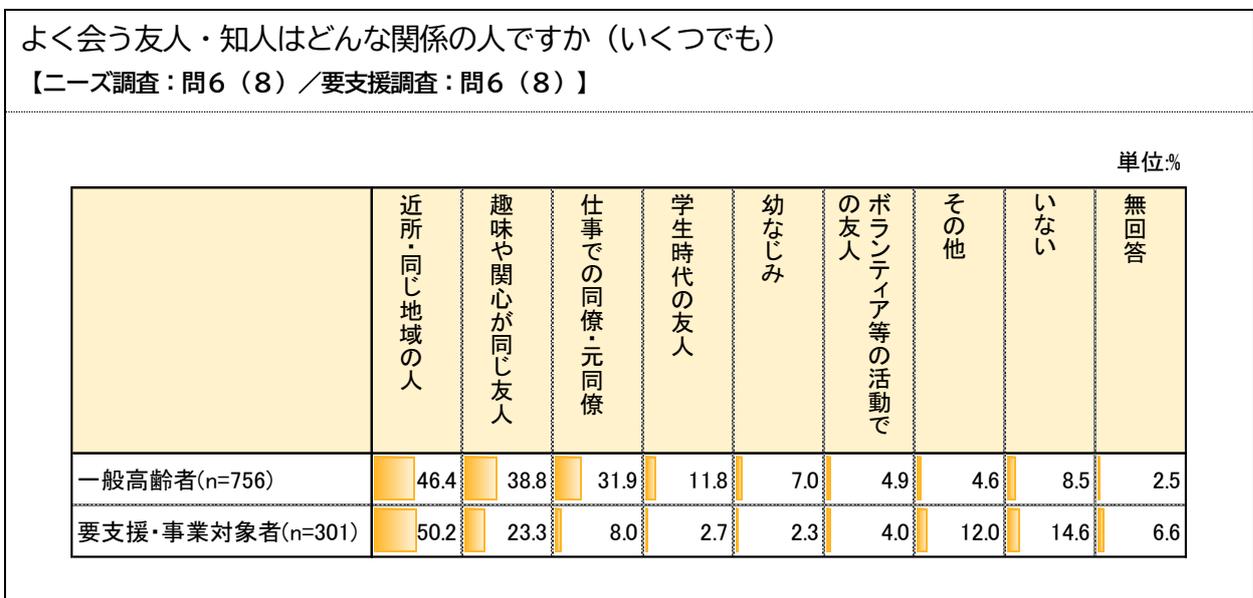


1か月間に会った友人・知人について、一般高齢者では「3～5人」が26.2%で最も多く、次いで「1～2人」が25.3%となっています。

要支援・事業対象者では「1～2人」が31.9%で最も多く、次いで「3～5人」が23.9%となっています。

なお、「0人（いない）」は、一般高齢者では17.5%、要支援・事業対象者では20.9%となっています。

(8) よく会う友人・知人との関係



よく会う友人・知人との関係について、ともに「近所・同じ地域の人」が最も多く、一般高齢者では46.4%、要支援・事業対象者では50.2%となっています。

また、ともに「趣味や関心が同じ友人」が次いで多く、一般高齢者では38.8%、要支援・事業対象者では23.3%となっています。

(9) 友人・知人とのコミュニケーション手段

友人・知人とのどのようにコミュニケーションをとっていますか（いくつでも）

【ニーズ調査：問6（9）／要支援調査：問6（9）】

	直接対話	電話	LINEなどのSNS	メール	その他	とっていない	無回答
一般高齢者(n=756)	65.7	54.2	34.4	31.6	1.5	7.9	2.2
要支援・事業対象者(n=301)	49.8	46.5	9.3	11.0	2.7	18.9	6.6

友人・知人とのコミュニケーション手段について、ともに「直接対話」が最も多く、一般高齢者では65.7%、要支援・事業対象者では49.8%となっています。

また、ともに「電話」が次いで多く、一般高齢者では54.2%、要支援・事業対象者では46.5%となっています。

一般高齢者では「LINEなどのSNS」が34.4%、「メール」が31.6%で、いずれも要支援・事業対象者より20ポイント以上多くなっています。

●友人・知人とのコミュニケーション手段×性別・年齢・中学校区（一般高齢者）

	直接対話	電話	メール	LINEなどのSNS	その他	とっていない	無回答
全体(n=756)	65.7	54.2	31.6	34.4	1.5	7.9	2.2
男性(n=353)	60.3	48.2	31.2	30.3	2.0	11.9	3.4
女性(n=393)	70.2	59.0	32.6	38.2	1.0	4.3	1.3
65～69歳(n=162)	67.3	46.9	36.4	53.1	0.6	5.6	0.6
70～74歳(n=218)	61.9	54.6	39.0	40.4	0.9	8.3	1.8
75～79歳(n=194)	70.6	58.2	30.4	34.5	1.5	8.2	1.5
80～84歳(n=129)	63.6	58.9	20.2	10.9	3.1	6.2	5.4
85歳以上(n=49)	63.3	46.9	18.4	6.1	2.0	16.3	4.1
須賀中学校区(n=264)	69.3	51.1	35.2	37.5	0.8	8.0	1.9
百間中学校区(n=271)	67.2	52.4	30.3	30.3	1.1	7.0	2.2
前原中学校区(n=188)	62.8	59.6	29.8	38.3	3.2	8.0	1.6

●友人・知人とのコミュニケーション手段×性別・年齢・中学校区（要支援・事業対象者）

単位:%

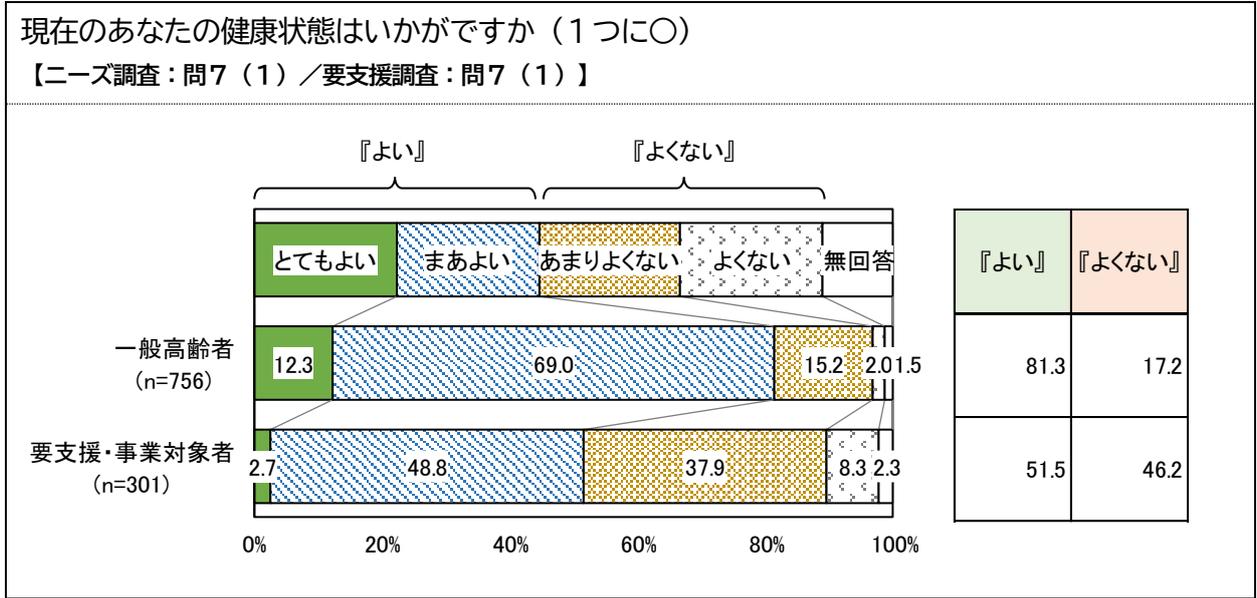
	直接対話	電話	メール	LINEなどのSNS	その他	とっていない	無回答
全体(n=301)	49.8	46.5	11.0	9.3	2.7	18.9	6.6
男性(n=118)	43.2	31.4	5.9	5.1	5.1	28.0	6.8
女性(n=183)	54.1	56.3	14.2	12.0	1.1	13.1	6.6
65～69歳(n=8)	37.5	12.5	12.5	12.5	0.0	50.0	0.0
70～74歳(n=25)	60.0	52.0	4.0	16.0	0.0	12.0	12.0
75～79歳(n=58)	56.9	53.4	20.7	12.1	1.7	17.2	3.4
80～84歳(n=110)	50.9	44.5	12.7	11.8	2.7	17.3	4.5
85歳以上(n=100)	43.0	46.0	5.0	3.0	4.0	21.0	10.0
須賀中学校区(n=101)	48.5	46.5	14.9	11.9	3.0	17.8	8.9
百間中学校区(n=111)	45.9	37.8	6.3	7.2	2.7	25.2	6.3
前原中学校区(n=89)	56.2	57.3	12.4	9.0	2.2	12.4	4.5

属性別で見ると、一般高齢者では、属性を問わず「直接対話」が最も多くなっています。「メール」や「LINEなどのSNS」は年齢が低いほど多くなる傾向がみられ、65～69歳では「LINEなどのSNS」が53.1%を占めています。

要支援・事業対象者では、女性や85歳以上、前原中学校区で「電話」が「直接対話」より多くなっています。

7 健康について

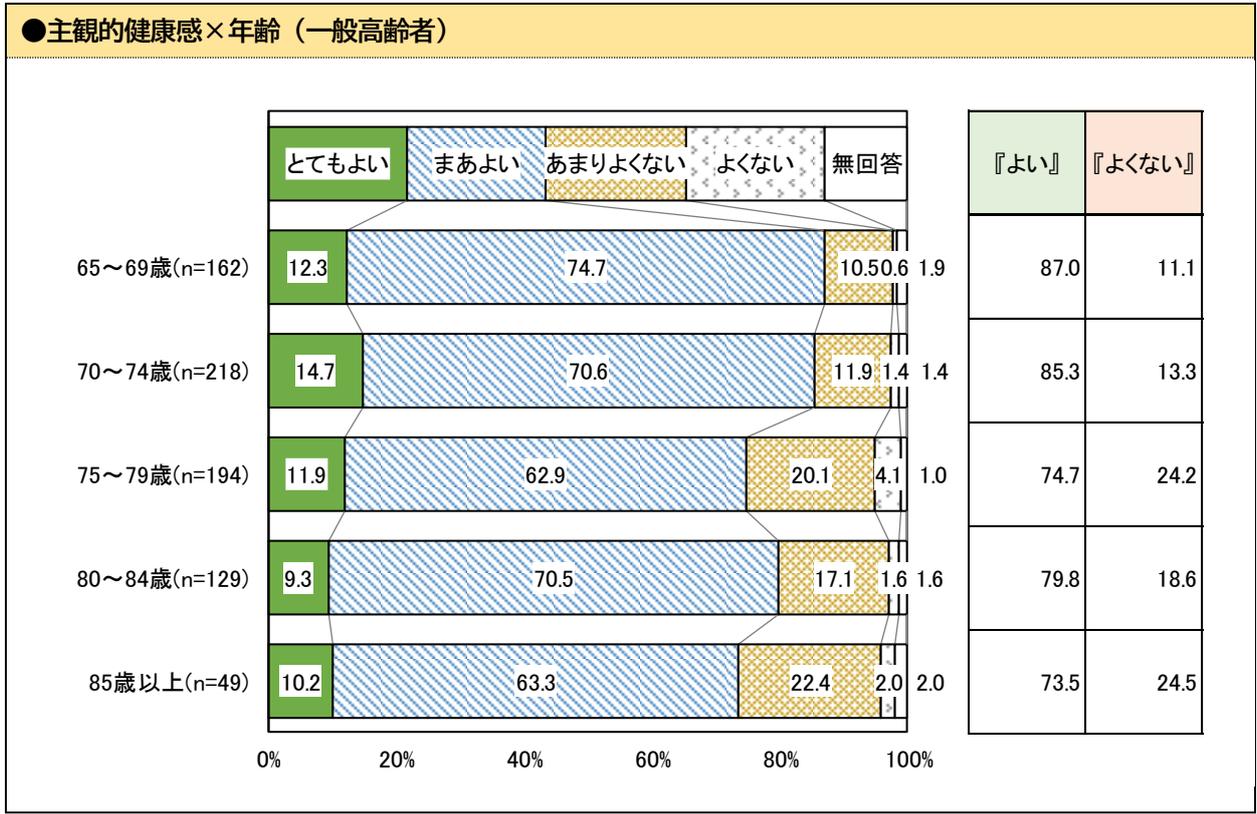
(1) 主観的健康感

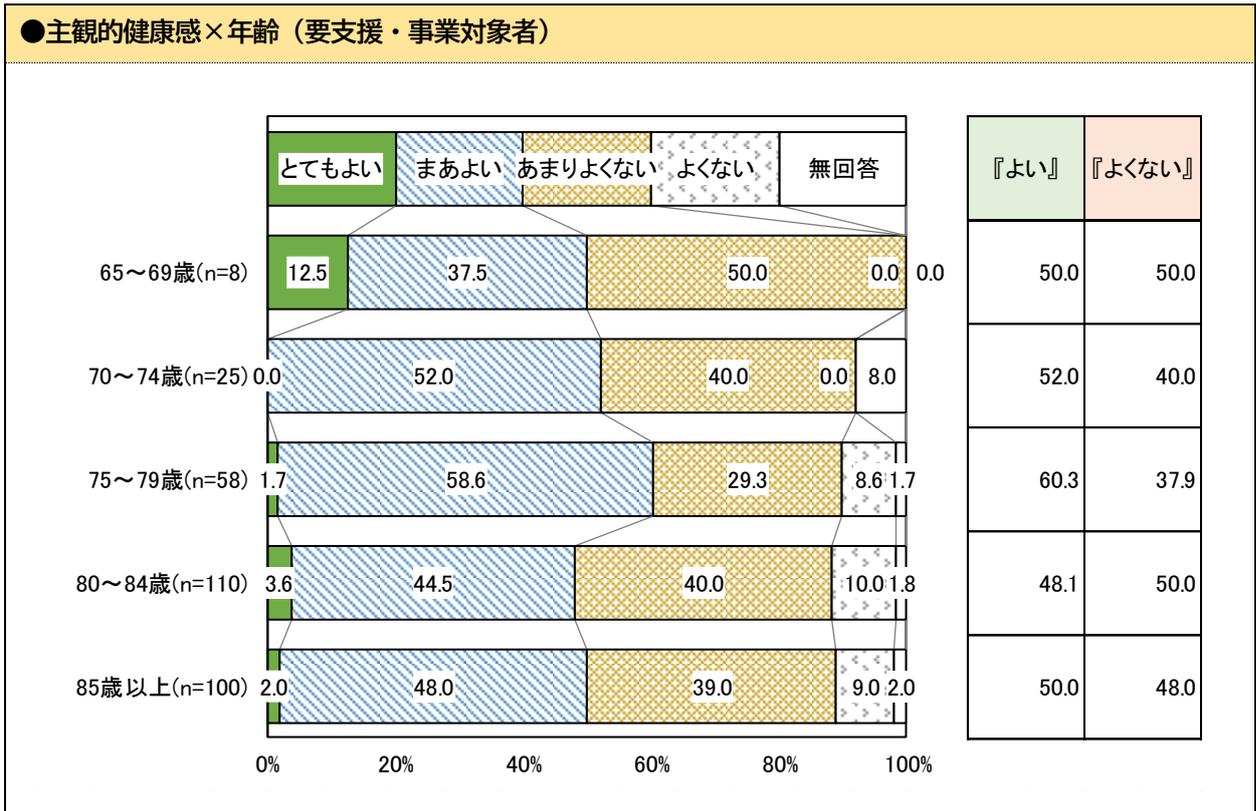


主観的健康感について、ともに「まあよい」が最も多く、一般高齢者では69.0%、要支援・事業対象者では48.8%となっています。

また、ともに「あまりよくない」が次いで多く、一般高齢者では15.2%、要支援・事業対象者では37.9%となっています。

一般高齢者では『よい』が81.3%を占めているのに対し、要支援・事業対象者では51.5%にとどまっており、『よくない』が46.2%となっています。





一般高齢者では、年齢が高いほど主観的健康感が低くなる傾向がみられます。

特に、75～79歳と85歳以上では『よくない』が比較的多く、75～79歳では24.2%、85歳以上では24.5%となっています。

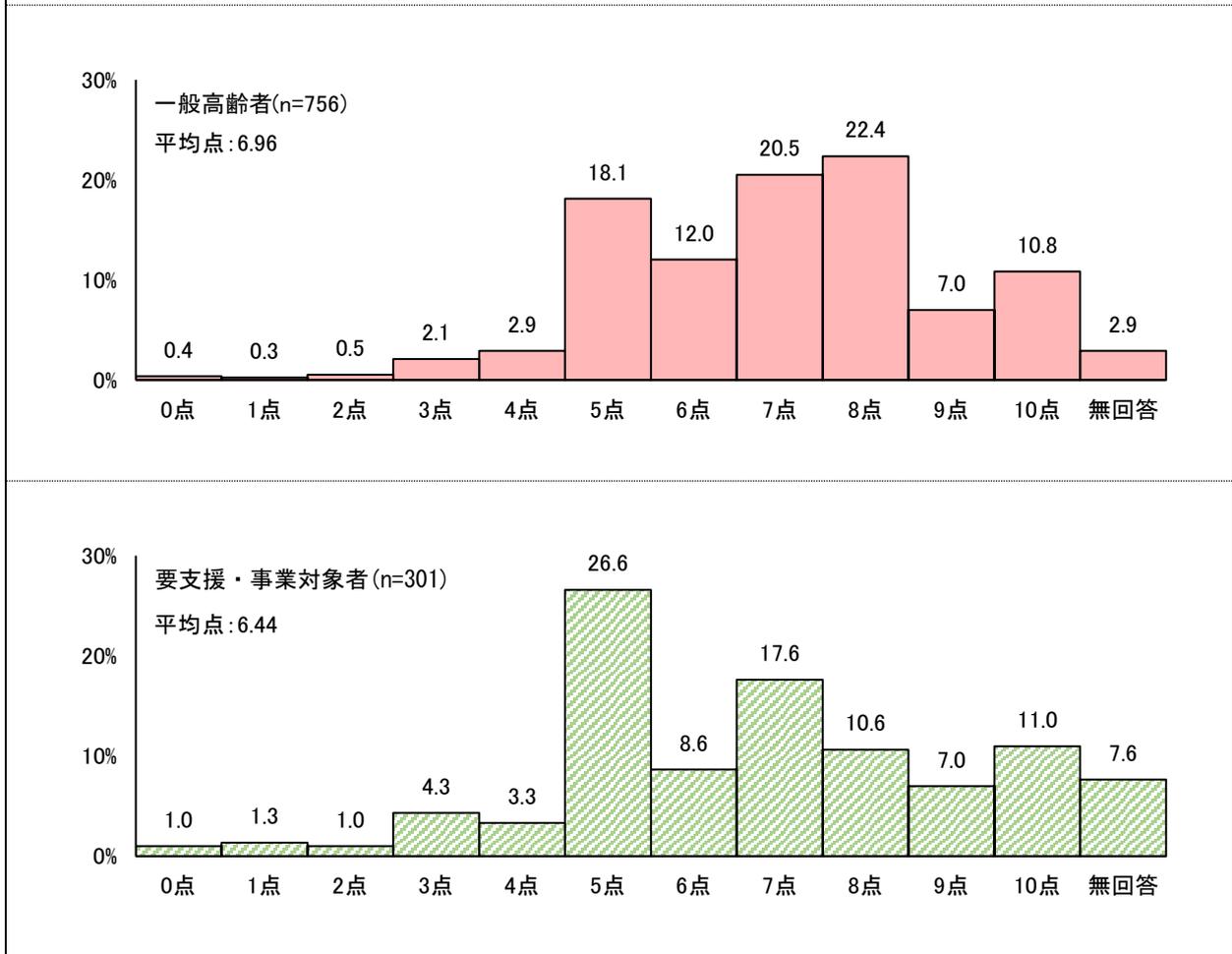
要支援・事業対象者では、65～69歳で「とてもよい」が12.5%で比較的多くなっています。

一方、75～79歳から85歳以上にかけて「よくない」が10%前後で比較的多くなっています。

(2) 主観的幸福感

あなたは、現在どの程度幸せですか（あてはまる点数1つに○）

【ニーズ調査：問7（2）／要支援調査：問7（2）】



主観的幸福感について、一般高齢者では「8点」が22.4%で最も多く、次いで「7点」が20.5%となっています。

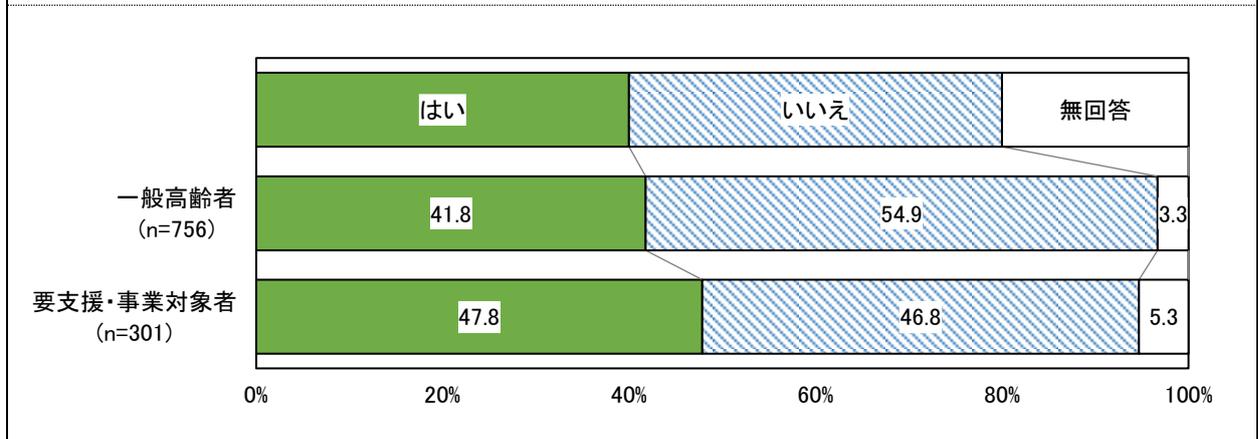
一般高齢者では「5点」が26.6%で最も多く、次いで「7点」が17.6%となっています。

なお、平均点を算出すると、一般高齢者では6.96点、要支援・事業対象者では6.44点となっており、一般高齢者の方が0.52点高くなっています。

(3) 最近1か月間の気分の状態

この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか（1つに○）

【ニーズ調査：問7（3）／要支援調査：問7（3）】

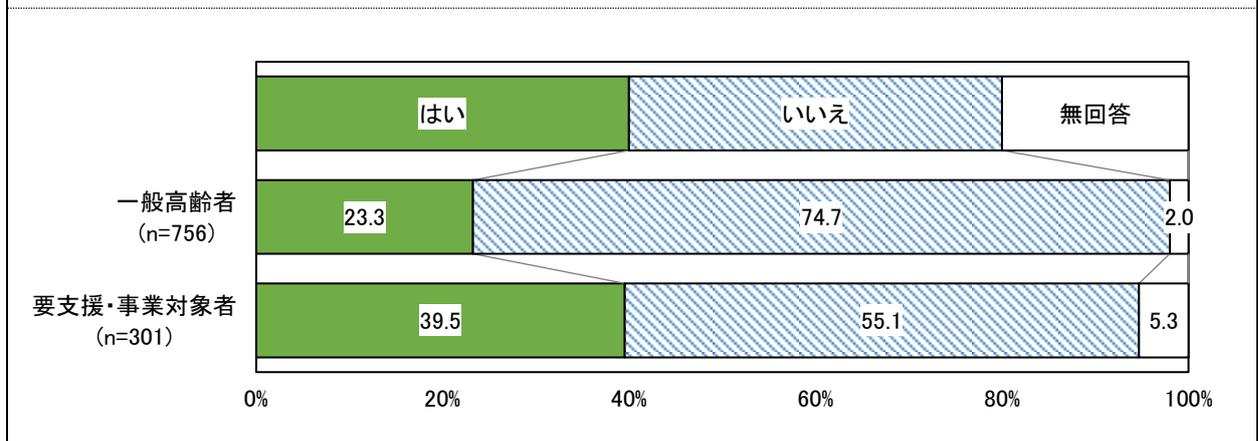


最近1か月間の気分の状態について、うつ傾向のチェック該当となる「はい」の割合は、一般高齢者では41.8%、要支援・事業対象者では47.8%となっています。

(4) 最近1か月間の物事に対する心の状態

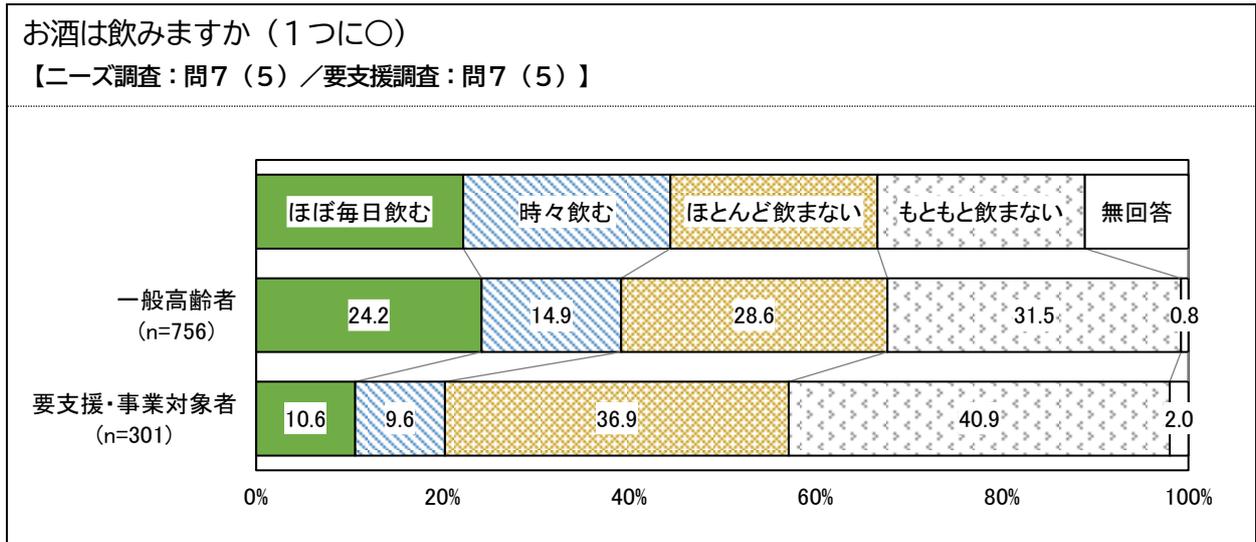
この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか（1つに○）

【ニーズ調査：問7（4）／要支援調査：問7（4）】



最近1か月間の物事に対する心の状態について、うつ傾向のチェック該当となる「はい」の割合は、一般高齢者では23.3%、要支援・事業対象者では39.5%となっています。

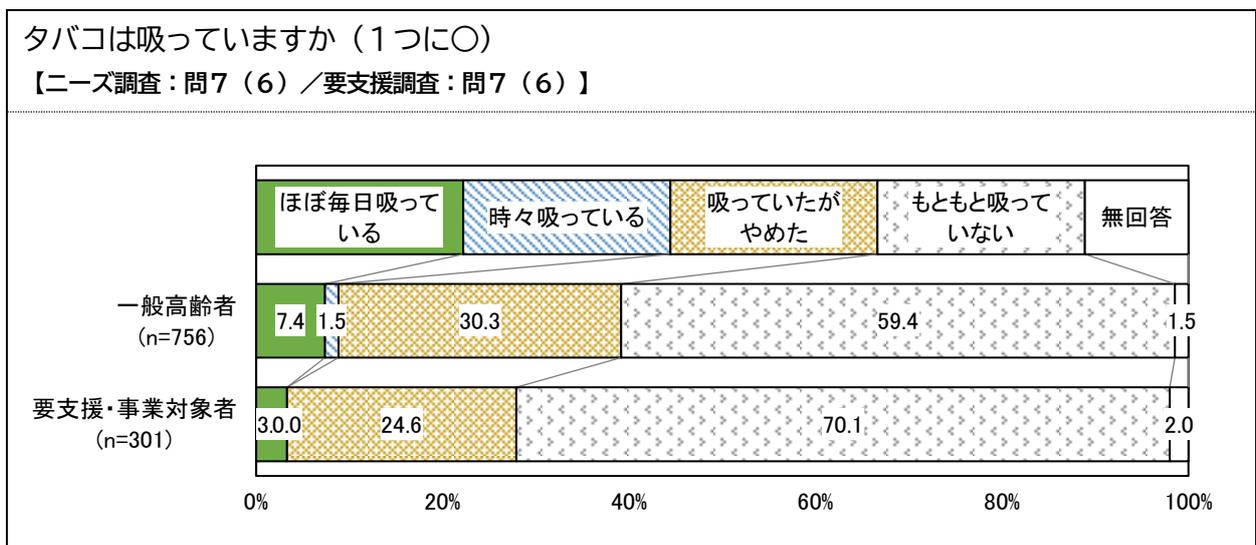
(5) 飲酒の状況



飲酒の状況について、ともに「もともと飲まない」が最も多く、一般高齢者では31.5%、要支援・事業対象者では40.9%となっています。

また、ともに「ほとんど飲まない」が次いで多く、一般高齢者では28.6%、要支援・事業対象者では36.9%となっています。

(6) 喫煙の状況



喫煙の状況について、ともに「もともと吸っていない」が最も多く、一般高齢者では59.4%、要支援・事業対象者では70.1%を占めています。

また、ともに「吸っていたがやめた」が次いで多く、一般高齢者では30.3%、要支援・事業対象者では24.6%となっています。

(7) 治療中の病気

現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (いくつでも)

【ニーズ調査：問7(7) / 要支援調査：問7(7)】

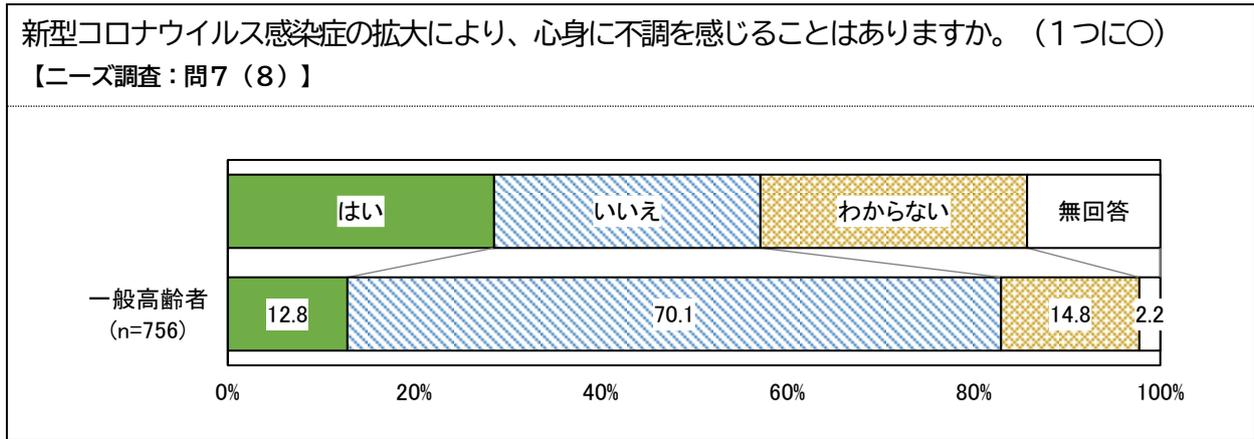
	高血圧	目の病気	高脂血症 (脂質異常)	糖尿病	筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)	心臓病	腎臓・前立腺の病気	耳の病気	呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆のうの病気	単位%
一般高齢者(n=756)	42.3	19.3	13.6	13.4	11.1	9.5	6.6	5.6	5.4	4.4	
要支援・事業対象者(n=301)	53.8	26.9	10.6	13.6	27.2	20.3	15.3	11.0	7.0	8.0	

	がん (悪性新生物)	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	外傷 (転倒・骨折等)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症 (アルツハイマー病等)	パーキンソン病	その他	ない	無回答
一般高齢者(n=756)	4.2	2.8	1.3	1.3	1.2	0.7	0.1	6.5	16.9	4.8
要支援・事業対象者(n=301)	5.3	11.3	9.6	1.0	3.0	2.7	4.3	10.6	3.0	4.0

治療中の病気について、ともに「高血圧」が最も多く、一般高齢者では42.3%、要支援・事業対象者では53.8%となっています。

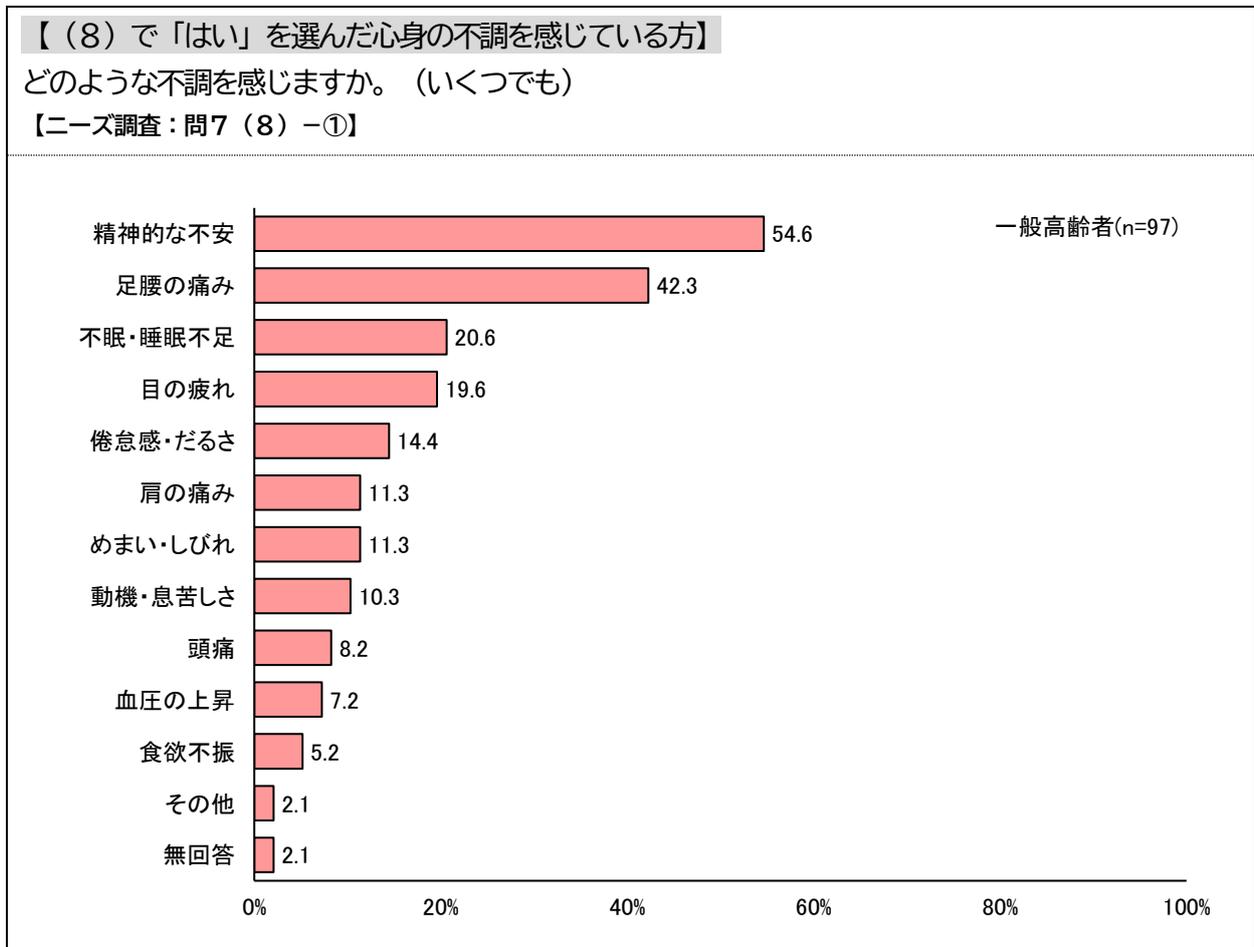
以下、一般高齢者では「目の病気」が19.3%、「高脂血症(脂質異常)」が13.6%、「糖尿病」が13.4%、要支援・事業対象者では「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」が27.2%、「目の病気」が26.9%、「心臓病」が20.3%などとなっています。

(8) 新型コロナウイルス感染症の拡大による心身の不調の有無



新型コロナウイルス感染症の拡大による心身の不調の有無について、一般高齢者では「いいえ」が70.1%で最も多く、以下「わからない」が14.8%、「はい」が12.8%となっています。

(8) -①新型コロナウイルス感染症の拡大による心身の不調



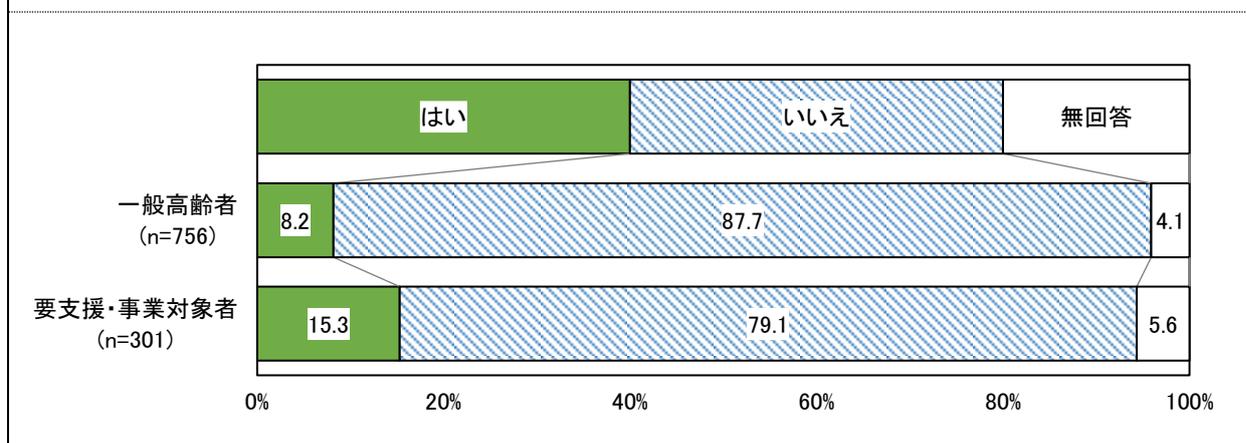
新型コロナウイルス感染症の拡大による心身の不調について、一般高齢者では「精神的な不安」が54.6%で最も多く、以下「足腰の痛み」が42.3%、「不眠・睡眠不足」が20.6%、「目の疲れ」が19.6%などとなっています。

8 認知症や成年後見制度について

(1) 自分自身や家族の認知症の症状の有無

認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか（1つに○）

【ニーズ調査：問8（1）／要支援調査：問8（1）】



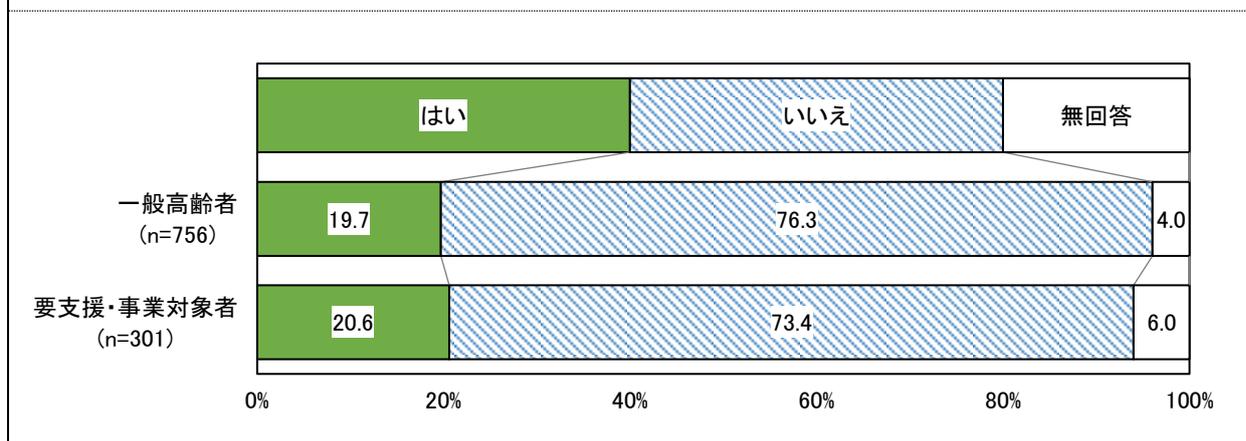
自分自身や家族の認知症の症状の有無について、ともに「いいえ」が最も多く、一般高齢者では87.7%、要支援・事業対象者では79.1%を占めています。

なお、「はい」との回答は、一般高齢者では8.2%、要支援・事業対象者では15.3%で、認知症の症状がある人は要支援・事業対象者の方が多くなっています。

(2) 認知症に関する相談窓口の認知度

認知症に関する相談窓口を知っていますか（1つに○）

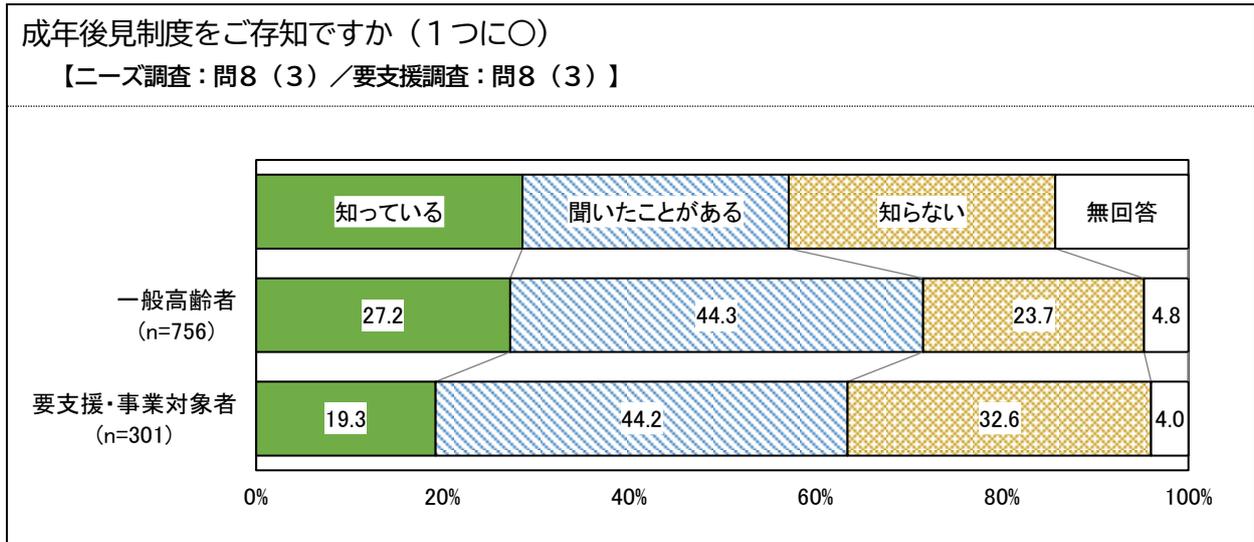
【ニーズ調査：問8（2）／要支援調査：問8（2）】



認知症に関する相談窓口を知っているかについて、ともに「いいえ」が最も多く、一般高齢者では76.3%、要支援・事業対象者では73.4%を占めています。

なお、「はい」との回答は、一般高齢者では19.7%、要支援・事業対象者では20.6%で、認知度の差はみられません。

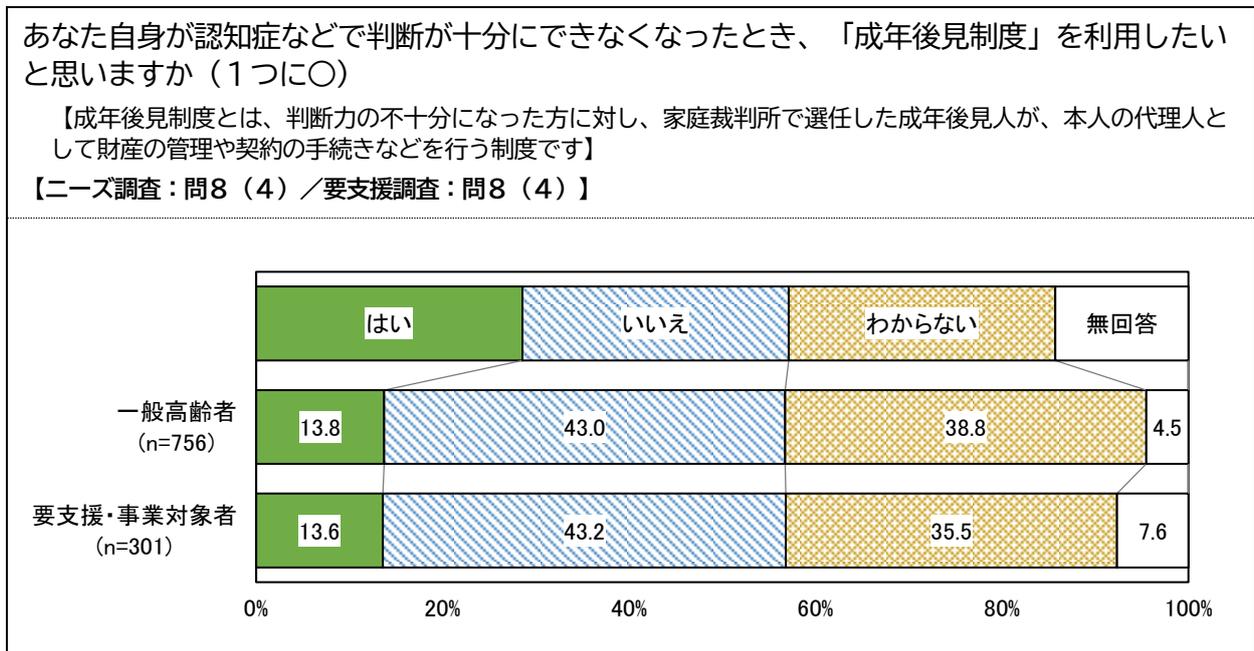
(3) 成年後見制度の認知度



成年後見制度の認知度について、ともに「聞いたことがある」が最も多く、一般高齢者では44.3%、要支援・事業対象者では44.2%となっています。

次いで、一般高齢者では「知っている」が27.2%、要支援・事業対象者では「知らない」が32.6%で、認知度は一般高齢者の方が高くなっています。

(4) 成年後見制度の利用意向



成年後見制度を利用したいかについて、ともに「いいえ」が最も多く、一般高齢者では43.0%、要支援・事業対象者では43.2%となっています。

また、ともに「わからない」が次いで多く、一般高齢者では38.8%、要支援・事業対象者では35.5%となっており、利用意向は限定的となっています。

(4) -①成年後見制度を利用したくない理由

【(4)で「いいえ」を選んだ成年後見制度を利用したくないと回答した方】
 「成年後見制度」を利用したくない理由は何ですか(いくつでも)
 【ニーズ調査：問8(4)-①/要支援調査：問8(4)-①】

単位:%

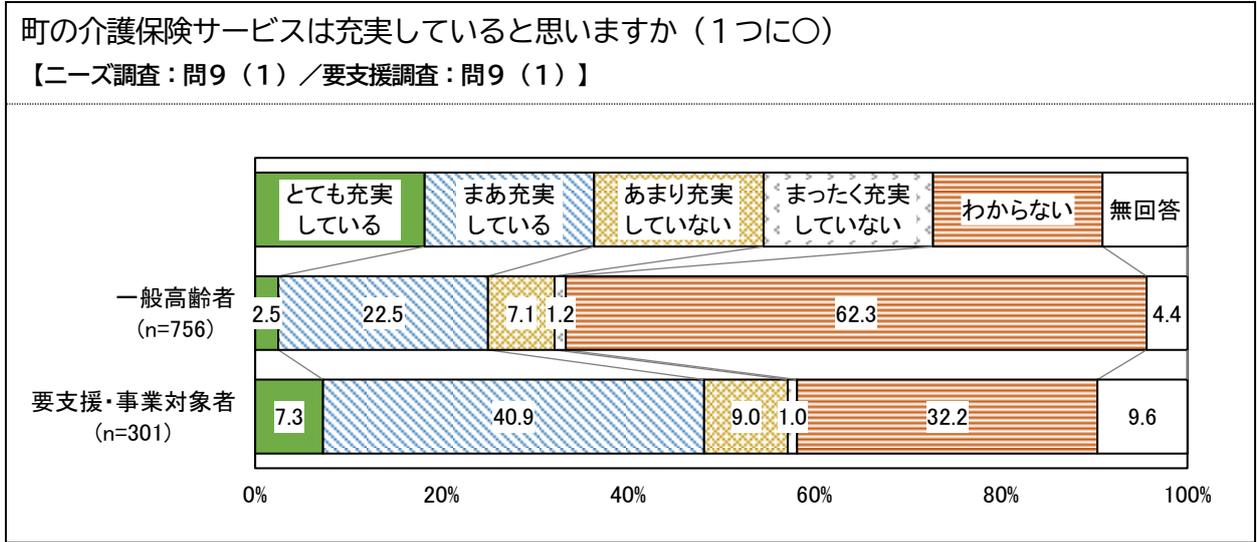
	後見人でなくても家族がいる	他人(家族を含む)に財産などを 任せることに不安がある	手続きが大変そう	費用がどのくらいかかるか心配	後見人になって欲しい人が 見当たらない
一般高齢者(n=325)	92.0	14.8	12.0	10.5	8.0
要支援・事業対象者(n=130)	91.5	10.8	16.9	15.4	8.5

	どういうときに利用して良いかわからない	家族・親族との信頼関係が崩れる おそれがある	家庭裁判所に申し立てることに 抵抗がある	その他	無回答
一般高齢者(n=325)	6.2	5.2	4.6	2.2	1.5
要支援・事業対象者(n=130)	12.3	6.9	8.5	3.1	0.0

成年後見制度を利用したくない理由について、ともに「後見人でなくても家族がいる」が最も多く、一般高齢者では92.0%、要支援・事業対象者では91.5%を占めています。

9 福祉サービスや福祉施策について

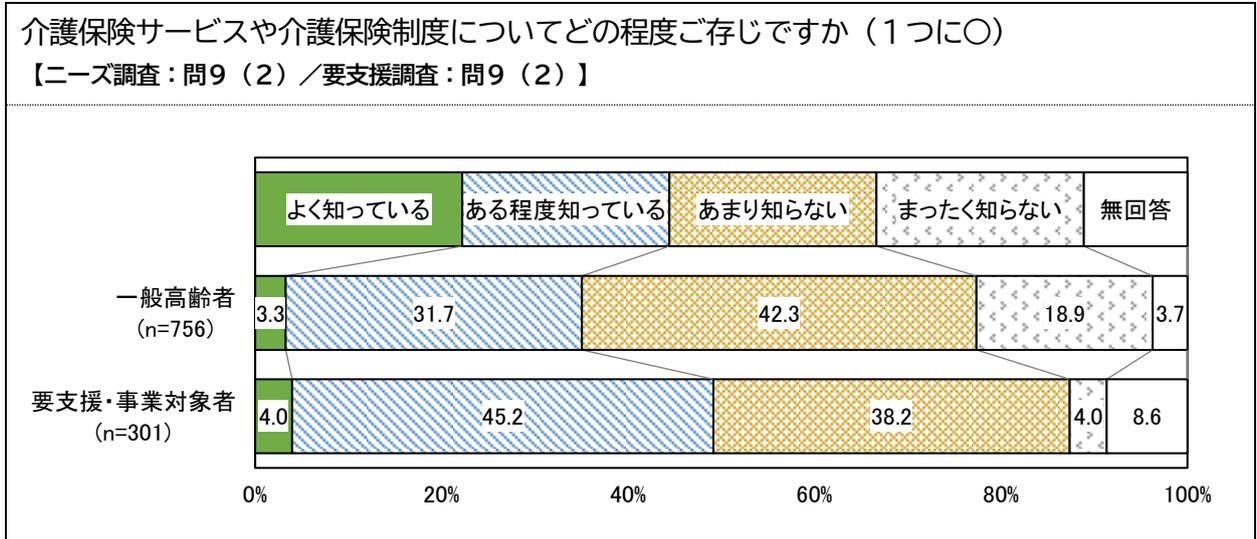
(1) 町の介護保険サービスの充実度



町の介護保険サービスの充実度について、一般高齢者では「わからない」が62.3%で最も多く、次いで「まあ充実している」が22.5%となっています。

要支援・事業対象者では「まあ充実している」が40.9%で最も多く、次いで「わからない」が32.2%となっています。

(2) 介護保険サービスや介護保険制度の認知度



介護保険サービスや介護保険制度の認知度について、一般高齢者では「あまり知らない」が42.3%で最も多く、次いで「ある程度知っている」が31.7%となっています。

要支援・事業対象者では「ある程度知っている」が45.2%で最も多く、次いで「あまり知らない」が38.2%となっています。

(3) 今後必要と感じる支援・サービス

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（いくつでも）

【介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます】

【ニーズ調査：問9（3）／要支援調査：問9（4）】

（ベースは在宅介護実態調査の項目であるため、101頁には要介護認定者との比較を掲載）

	緊急時通報システム	移送サービス (介護・福祉タクシー等)	配食	見守り、声かけ	買物 (宅配は含まない)	外出同行 (通院・買い物など)	掃除・洗濯
一般高齢者(n=756)	31.5	29.9	29.0	21.0	19.0	19.0	18.1
要支援・事業対象者(n=301)	20.9	23.3	17.3	12.3	12.6	18.9	11.6

	介護用品支給 (紙おむつ等)	ゴミ出し	調理	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし	無回答
一般高齢者(n=756)	17.7	16.4	11.0	7.0	3.4	21.3	15.5
要支援・事業対象者(n=301)	12.3	11.3	6.0	5.3	3.7	30.6	16.9

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについて、一般高齢者では「緊急時通報システム」が31.5%で最も多く、以下「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が29.9%、「配食」が29.0%、「見守り、声かけ」が21.0%などとなっています。

要支援・事業対象者では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が23.3%で最も多く、以下「緊急時通報システム」が20.9%、「外出同行（通院・買い物など）」が18.9%、「配食」が17.3%などとなっています。

「緊急時通報システム」や「見守り、声かけ」といった緊急時の備えや、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」や「外出同行（通院・買い物など）」といった外出支援を必要とする割合が高くなっています。

●今後必要と感じる支援・サービス×年齢・中学校区（一般高齢者）

単位.%

	緊急時通報システム	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	配食	見守り、声かけ	買物（宅配は含まない）	外出同行（通院・買い物など）	掃除・洗濯
全体(n=756)	31.5	29.9	29.0	21.0	19.0	19.0	18.1
65～69歳(n=162)	34.0	27.8	33.3	24.1	16.7	17.3	12.3
70～74歳(n=218)	36.7	34.9	27.5	22.9	23.9	22.5	20.2
75～79歳(n=194)	26.8	33.5	30.4	18.6	22.2	20.1	19.6
80～84歳(n=129)	27.9	23.3	24.8	18.6	12.4	17.1	17.1
85歳以上(n=49)	28.6	18.4	26.5	20.4	12.2	12.2	26.5
須賀中学校区(n=264)	30.3	31.4	31.8	21.2	24.6	20.1	17.4
百間中学校区(n=271)	30.3	32.8	32.5	24.4	16.6	20.3	18.8
前原中学校区(n=188)	35.1	26.6	21.8	16.0	15.4	17.6	17.6
介護・介助している(n=89)	34.8	32.6	29.2	18.0	18.0	16.9	19.1
介護・介助していない(n=589)	32.1	30.7	29.2	22.4	19.4	20.0	17.7

	介護用品支給（紙おむつ等）	ゴミ出し	調理	定期的な通いの場	サロンなどの	その他	特になし	無回答
全体(n=756)	17.7	16.4	11.0	7.0	3.4	21.3	15.5	
65～69歳(n=162)	19.8	11.7	7.4	8.0	4.9	20.4	12.3	
70～74歳(n=218)	19.7	20.2	14.2	7.3	4.6	22.9	10.1	
75～79歳(n=194)	12.9	18.0	10.3	6.7	2.6	20.6	15.5	
80～84歳(n=129)	19.4	13.2	11.6	6.2	2.3	22.5	22.5	
85歳以上(n=49)	18.4	18.4	10.2	6.1	0.0	18.4	28.6	
須賀中学校区(n=264)	19.3	14.4	12.5	7.2	4.5	19.7	15.2	
百間中学校区(n=271)	16.6	17.3	10.0	5.9	2.2	22.1	15.5	
前原中学校区(n=188)	18.1	17.6	9.0	9.0	4.3	22.9	14.4	
介護・介助している(n=89)	27.0	18.0	11.2	5.6	3.4	12.4	14.6	
介護・介助していない(n=589)	16.8	16.5	11.5	7.0	3.4	23.4	13.8	

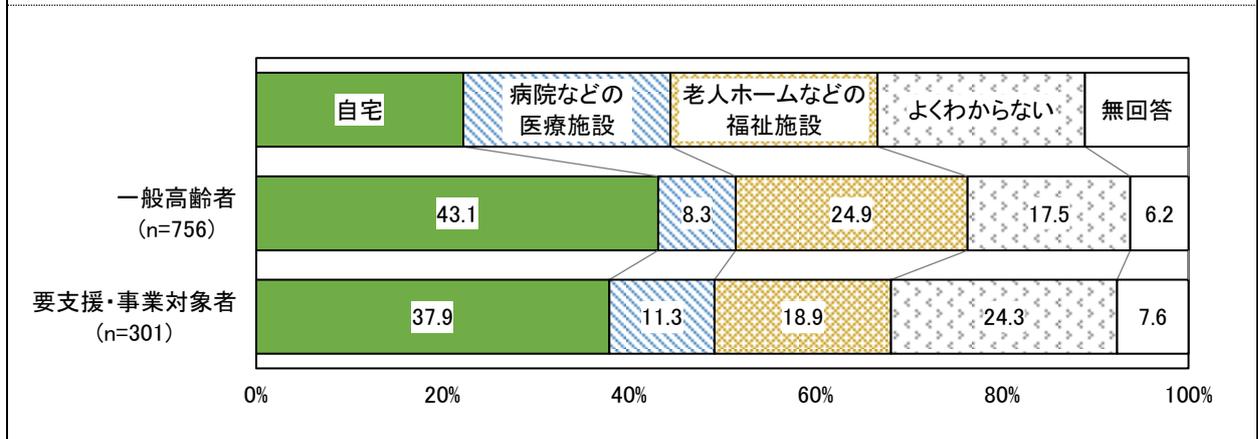
属性別でみると、前原中学校区では「緊急通報システム」が比較的多く、須賀中学校区と百間中学校区では「移送サービス」や「配食」、「見守り、声かけ」が比較的多くなっています。

年齢による明確な傾向の違いはみられませんが、介護・介助している層では「介護用品支給」が介護・介助していない層に比べて多くなっています。

(4) 医療や介護が必要となった場合に暮らしたい場所

将来、あなたが医療や介護が必要となった場合、生涯暮らし続けていく場所として、ご希望の場所はありますか（1つに○）

【ニーズ調査：問9（4）／要支援調査：問9（8）】



医療や介護が必要となった場合に暮らしたい場所について、ともに「自宅」が最も多く、一般高齢者では43.1%、要支援・事業対象者では37.9%となっています。

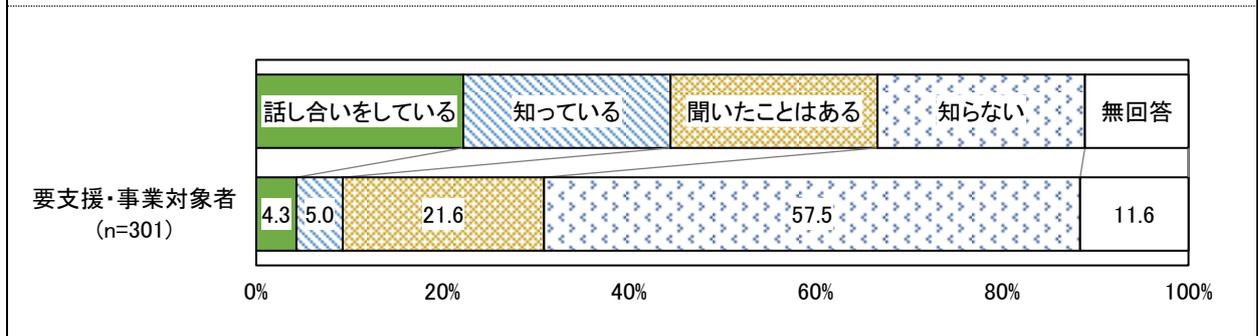
次いで、一般高齢者では「老人ホームなどの福祉施設」が24.9%、要支援・事業対象者では「よくわからない」が24.3%となっています。

(5) アドバンス・ケア・プランニングの認知度

アドバンス・ケア・プランニング（ACP）をご存じですか（1つに○）

※アドバンス・ケア・プランニングとは、人生の最終段階の医療や療養について、自分の意思に沿った医療・療養を受けるために、自分や家族等と、医療関係者があらかじめ話し合うことです。

【要支援調査：問9（9）】



アドバンス・ケア・プランニングの認知度について、要支援・事業対象者では「知らない」が57.5%で最も多く、以下「聞いたことはある」が21.6%、「知っている」が5.0%、「話し合いをしている」が4.3%となっています。

(6) 利用しやすい情報入手手段

高齢者福祉に関する情報を入手するにあたって、利用しやすいものはどれですか
(いくつでも)

【ニーズ調査：問9（5）／要支援調査：問9（10）】

	テレビ	新聞	スマートフォン・タブレット	雑誌・書籍	パソコン	ラジオ	その他	特にない	無回答
一般高齢者(n=756)	65.5	51.5	32.7	19.0	17.2	14.3	4.6	7.3	6.2
要支援・事業対象者(n=301)	58.8	45.2	9.6	15.0	3.7	15.0	4.3	15.0	11.6

利用しやすい情報入手手段について、ともに「テレビ」が最も多く、一般高齢者では65.5%、要支援・事業対象者では58.8%を占めています。

また、ともに「新聞」が次いで多く、一般高齢者では51.5%、要支援・事業対象者では45.2%となっています。

一般高齢者では「スマートフォン・タブレット」が32.7%、「パソコン」が17.2%で、いずれも要支援・事業対象者より10ポイント以上多くなっています。

(7) 集いの場や取組みの認知度

あなたが知っている宮代町の集いの場や取組みなどを教えてください。(いくつでも)

【ニーズ調査：問9(6) / 要支援調査：問9(11)】

	単位:%								
	シルバー人材センター	陽だまりサロン	移動スーパー	みやしろ健康マイレージ	地域敬老会	地域交流サロン	みやしろ大学	老人クラブ	
一般高齢者(n=756)	54.2	42.5	39.6	27.5	24.9	16.4	15.3	15.3	
要支援・事業対象者(n=301)	36.2	29.6	29.6	10.0	25.6	11.3	10.0	17.9	
	すてっぷ宮代	ボランティアセンター	縁しよい交流会	和e輪e	おたっしや元気塾	その他	特にない	無回答	
一般高齢者(n=756)	11.1	8.6	6.6	6.6	3.8	0.9	20.5	7.4	
要支援・事業対象者(n=301)	6.3	5.0	4.3	2.0	2.3	1.7	23.3	14.6	

集いの場や取組みの認知度について、ともに「シルバー人材センター」が最も多く、一般高齢者では54.2%、要支援・事業対象者では36.2%となっています。

また、ともに「陽だまりサロン」が次いで多く、一般高齢者では42.5%、要支援・事業対象者では29.6%で、要支援・事業対象者では「移動スーパー」も同率となっています。

以下、一般高齢者では「移動スーパー」が39.6%、「みやしろ健康マイレージ」が27.5%、「地域敬老会」が24.9%、要支援・事業対象者では「地域敬老会」が25.6%、「老人クラブ」が17.9%、「地域交流サロン」が11.3%などとなっています。

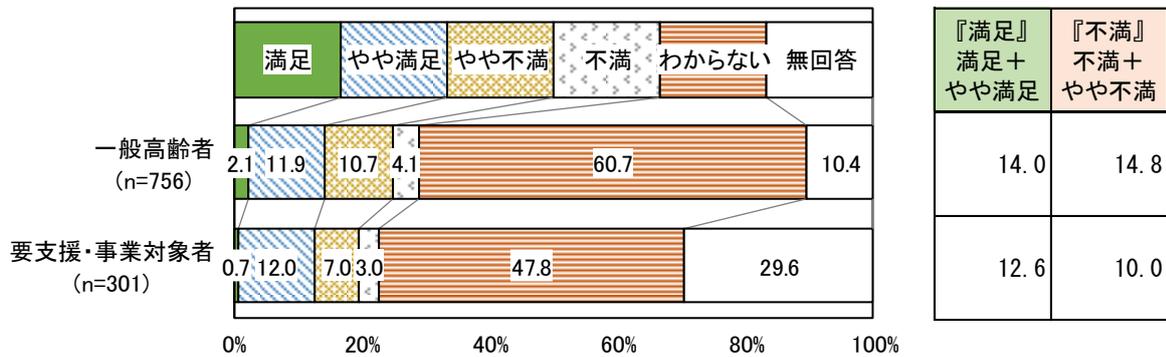
なお、「特にない」との回答は、ともに20%台となっています。

(8) 基本施策の評価

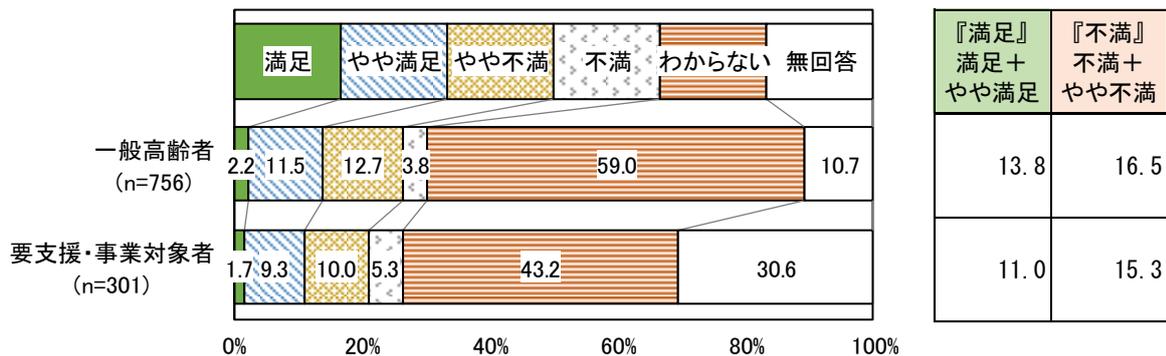
次の①～⑤の項目は、町の現行計画で基本施策として挙げられており、それぞれの基本施策について、この3年間の評価と今後の重要度をお聞かせください（それぞれ1つに○）

【ニーズ調査：問9（7）／要支援調査：問9（12）】

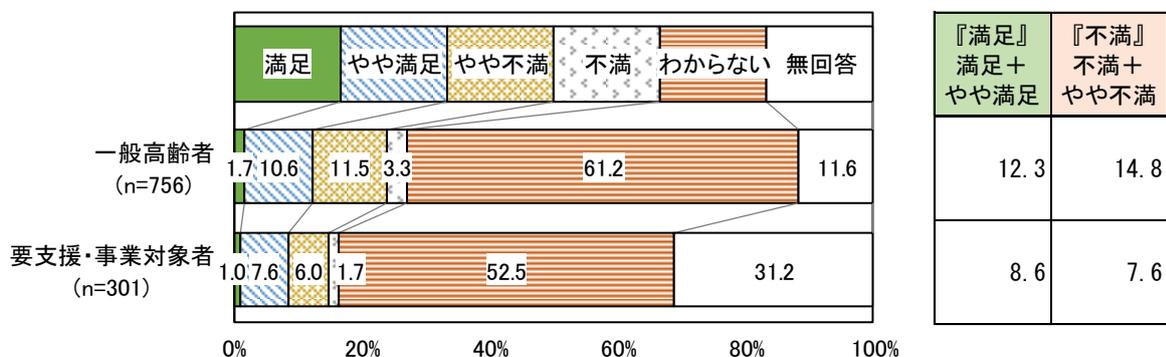
①地域福祉の推進（意識啓発、情報提供、福祉教育、居場所の整備、担い手の育成など）



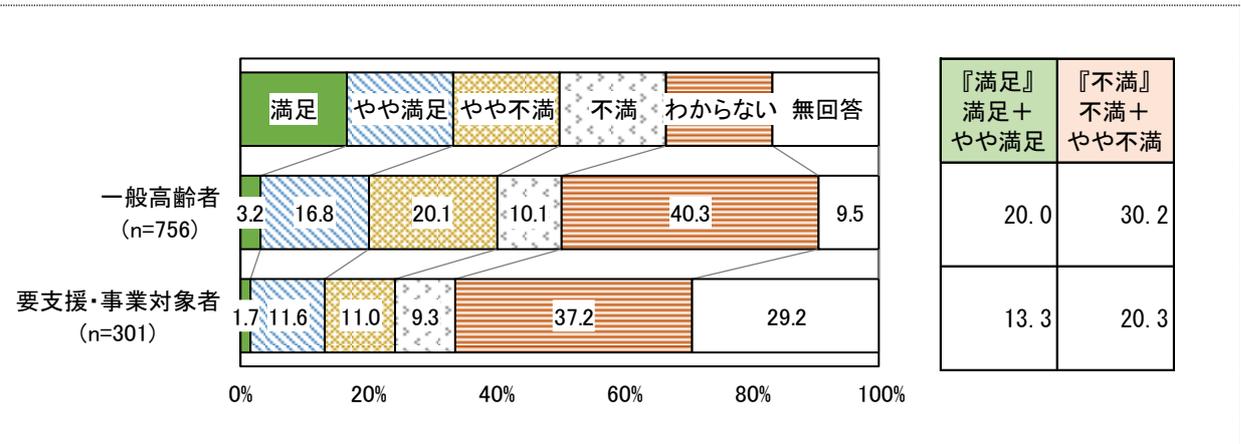
②日常生活への支援（在宅サービスの整備、移動支援、相談体制の整備、住まいの確保など）



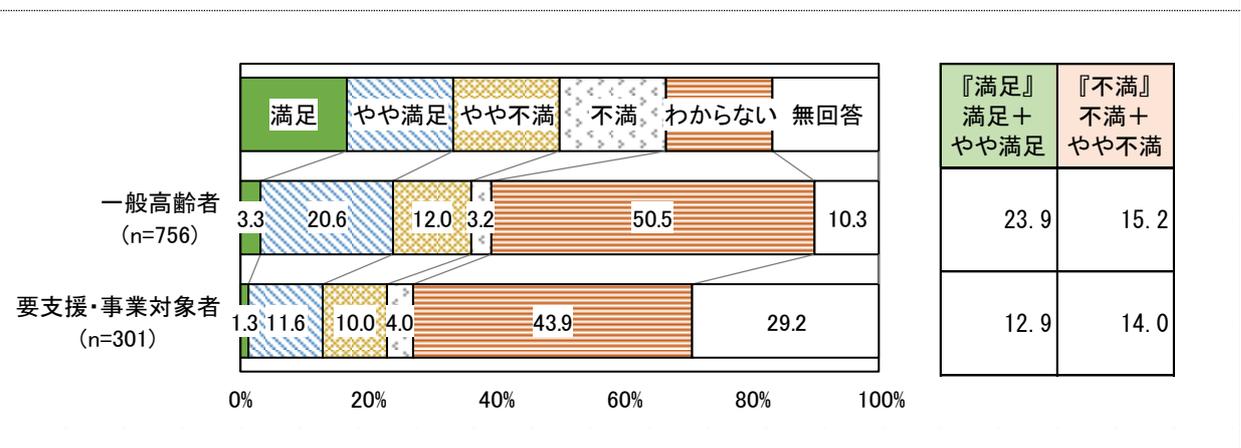
③生きがいづくりへの支援（活動機会の充実、就労機会の拡大など）



④安心と安全の確保（公共施設の整備、公共交通の整備、交通安全、防災・防犯対策など）



⑤健康づくりの推進（生活習慣病等の予防、フレイル予防、生涯スポーツ、レクリエーションなど）



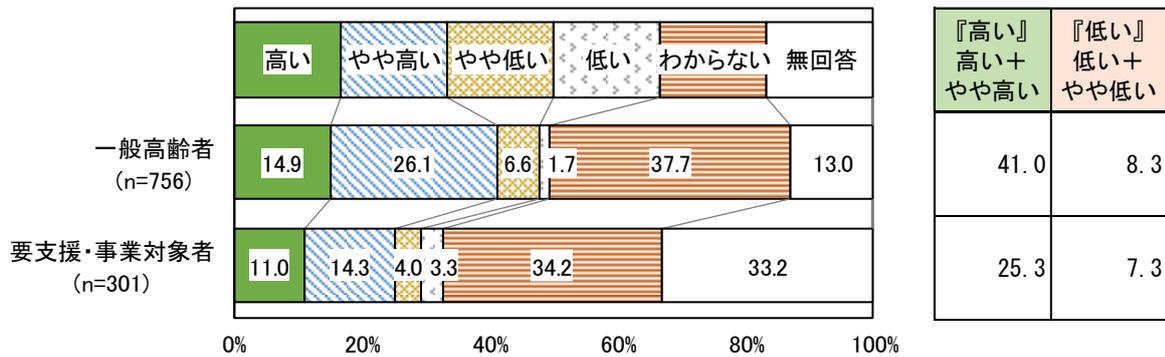
基本施策の評価について、①から⑤のすべての項目で「わからない」が最も多くなっています。評価が『満足』または『不満』であるかで分類すると、一般高齢者では「⑤健康づくりの推進」、要支援・事業対象者では「①地域福祉の推進」と「③生きがいづくりへの支援」で『満足』が『不満』より多くなっています。

(9) 基本施策の重要度

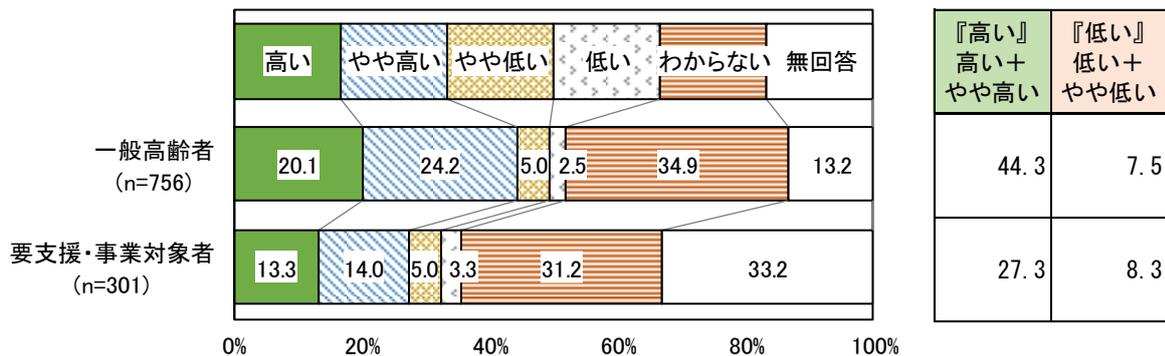
次の①～⑤の項目は、町の現行計画で基本施策として挙げられており、それぞれの基本施策について、この3年間の評価と今後の重要度をお聞かせください（それぞれ1つに○）

【ニーズ調査：問9（7）／要支援調査：問9（12）】

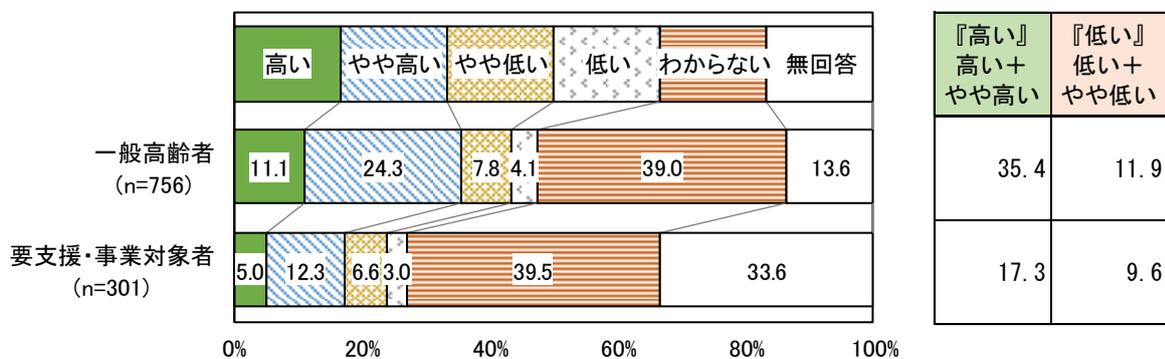
①地域福祉の推進（意識啓発、情報提供、福祉教育、居場所の整備、担い手の育成など）



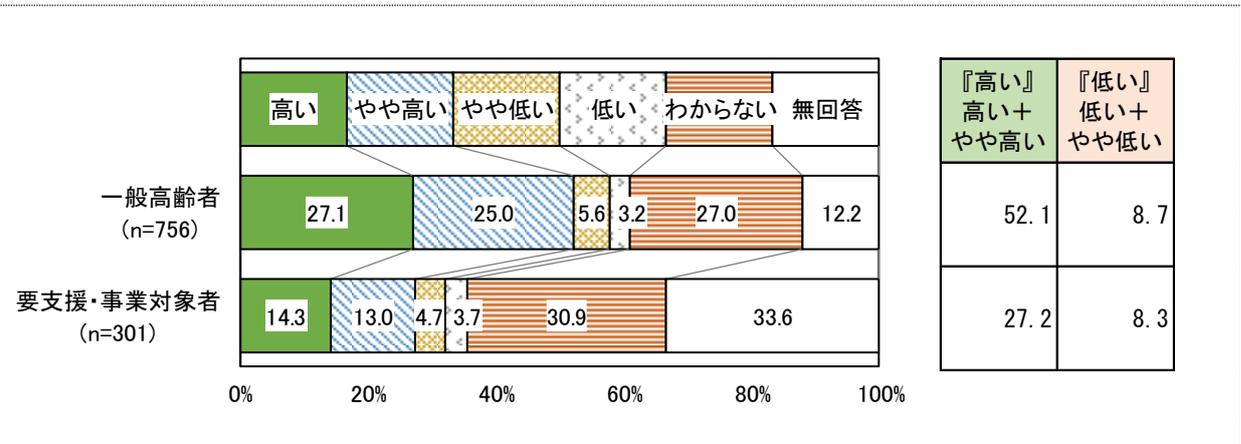
②日常生活への支援（在宅サービスの整備、移動支援、相談体制の整備、住まいの確保など）



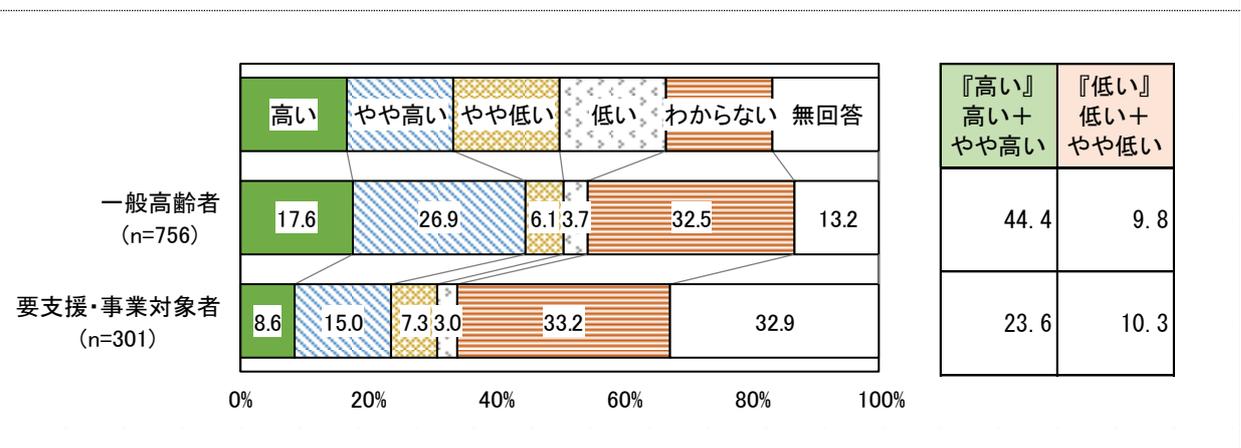
③生きがいづくりへの支援（活動機会の充実、就労機会の拡大など）



④安心と安全の確保（公共施設の整備、公共交通の整備、交通安全、防災・防犯対策など）



⑤健康づくりの推進（生活習慣病等の予防、フレイル予防、生涯スポーツ、レクリエーションなど）



基本施策の重要度について、「④安心と安全の確保」の一般高齢者以外のすべての項目で「わからない」が最も多くなっていますが、基本施策の評価と比較すると、全体的に割合は低くなっています。

重要度が『高い』または『低い』であるかで分類すると、①から⑤すべての項目で『高い』が『低い』より多く、また、いずれも一般高齢者は要支援・事業対象者より10ポイント以上多くなっています。

なお、重要度が『高い』順にみると、一般高齢者では「④安心と安全の確保」が52.1%、「⑤健康づくりの推進」が44.4%、「②日常生活への支援」が44.3%、「①地域福祉の推進」が41.0%、「③生きがいづくりへの支援」が35.4%となっています。

また、要支援・事業対象者では「②日常生活への支援」が27.3%、「④安心と安全の確保」が27.2%、「①地域福祉の推進」が25.3%、「⑤健康づくりの推進」が23.6%、「③生きがいづくりへの支援」が17.3%となっています。

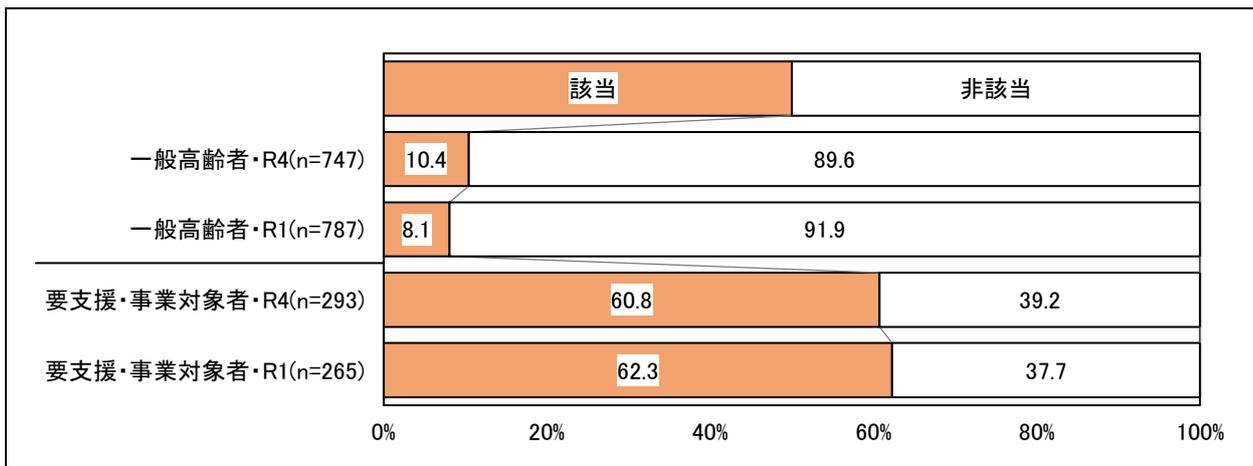
10 リスク分析

(1) 運動器機能の低下

【リスク判定方法】

運動器機能の低下している高齢者を把握します。下記の設問で3問以上、該当する選択肢（網掛け箇所）が回答された場合は、リスクありと判定されます。

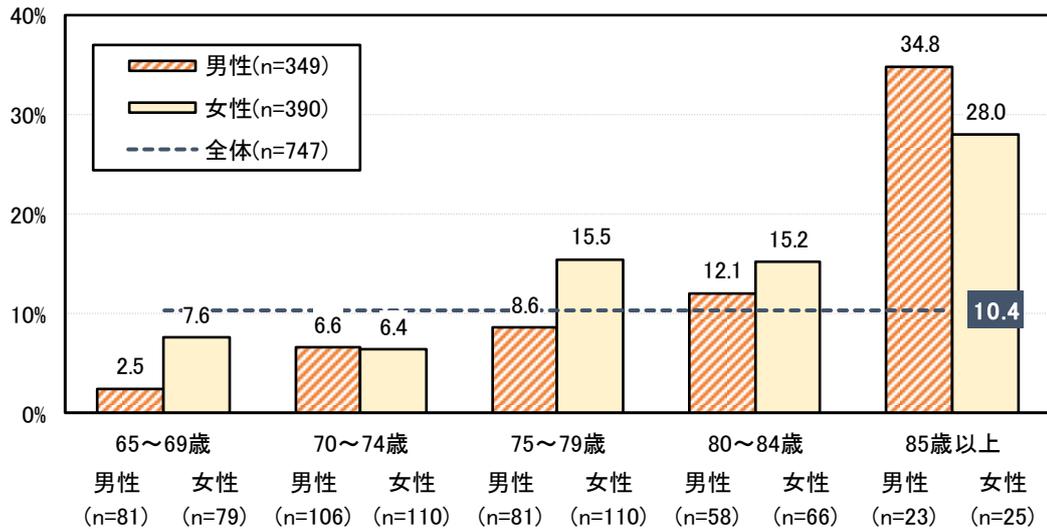
設問内容	選択肢	参照
階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	15頁
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	15頁
15分位続けて歩いていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	16頁
過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない	16頁
転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない	17頁



運動器機能の低下リスクについて、「該当」と判定された割合は、一般高齢者では10.4%、要支援・事業対象者では60.8%となっています。

前回の調査と比較すると、「該当」と判定された割合は、一般高齢者では2.3ポイント増加していますが、要支援・事業対象者では1.5ポイント減少しています。

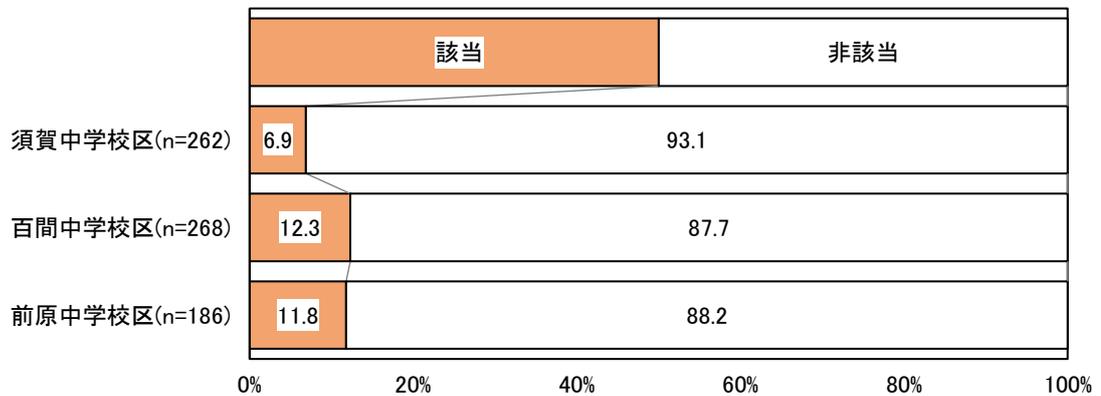
●運動機能の低下×性別・年齢別（一般高齢者）



※無回答による判定不能は分析対象外としています（以降同じ）

性別・年齢別でみると、「該当」と判定された割合は、男女ともに年齢が高いほど割合も高くなる傾向がみられます。特に「85歳以上」の男性では34.8%、女性では28.0%で他の年齢との差が大きくなっています。

●運動機能の低下×中学校区（一般高齢者）



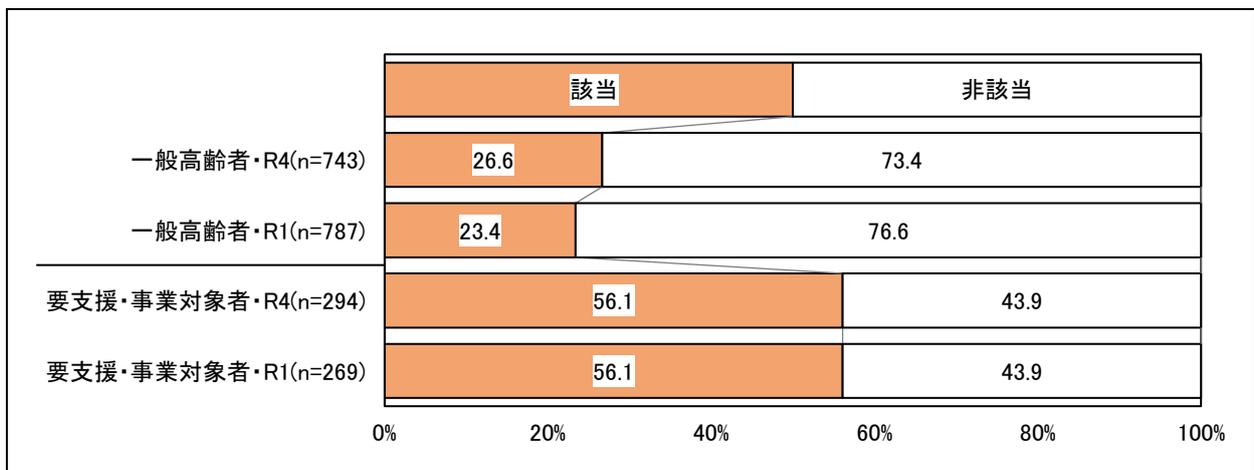
中学校区別でみると、「該当」と判定された割合が高い順に、百間中学校区で12.3%、前原中学校区で11.8%、須賀中学校区で6.9%となっています。

(2) 転倒リスク

【リスク判定方法】

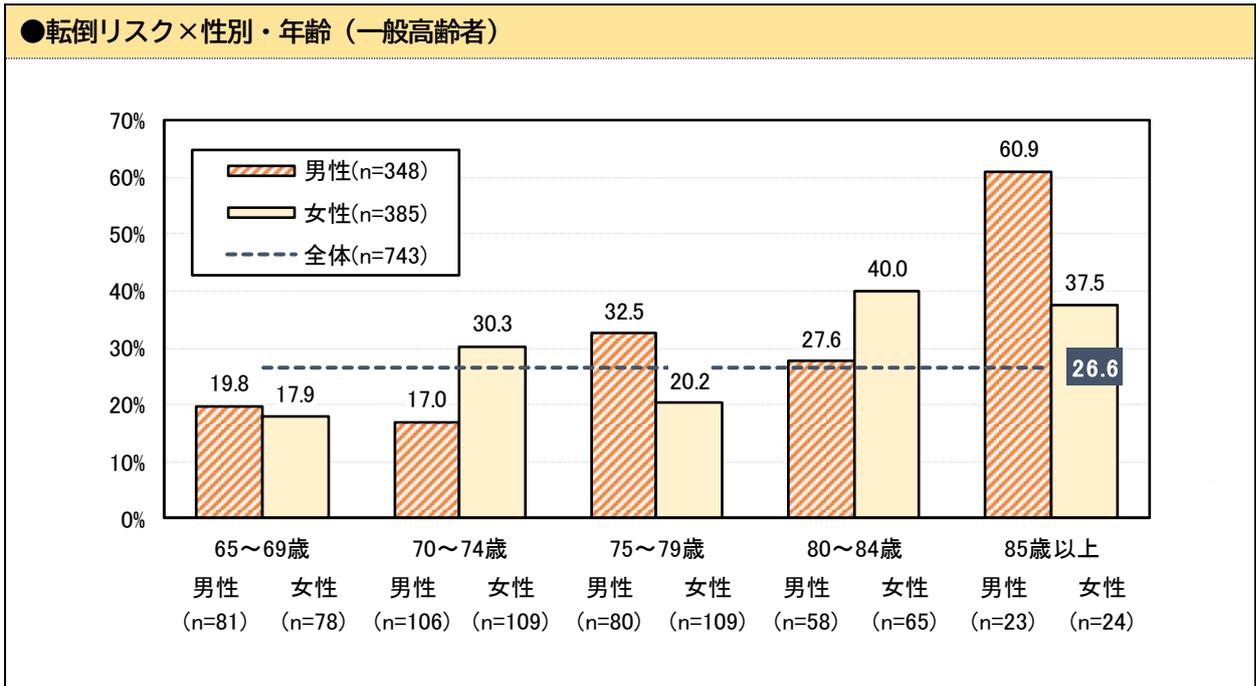
転倒リスクのある高齢者を把握します。下記の設問で、該当する選択肢（網掛け箇所）が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢	参照
過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない	16頁

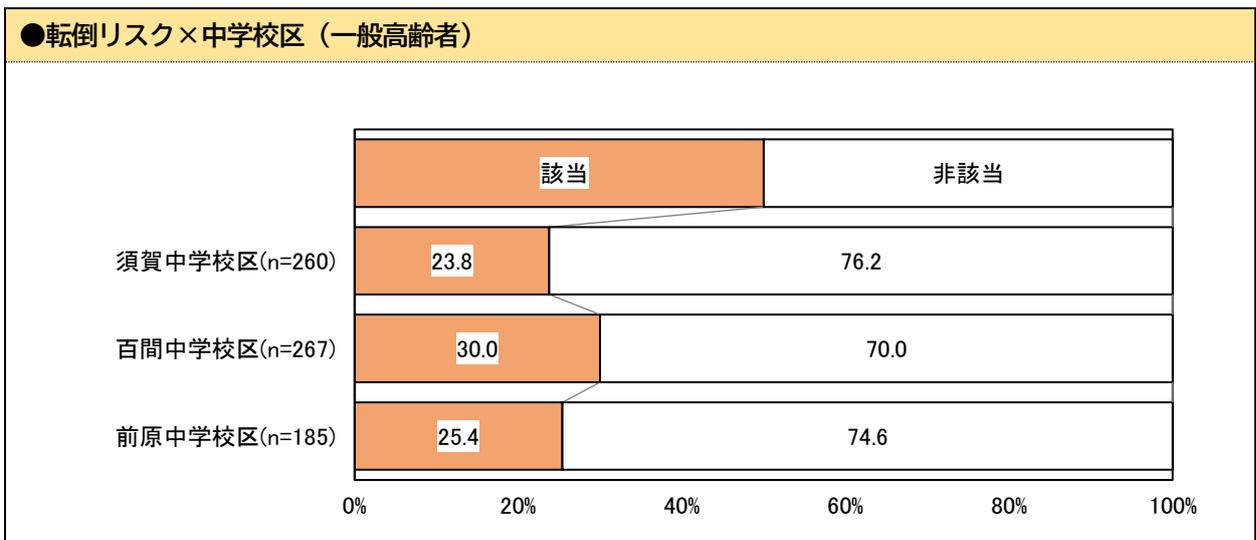


転倒リスクについて、「該当」と判定された割合は、一般高齢者では26.6%、要支援・事業対象者では56.1%となっています。

前回の調査と比較すると、「該当」と判定された割合は、一般高齢者では3.2ポイント増加していますが、要支援・事業対象者では増減はありません。



性別・年齢別で見ると、「該当」と判定された割合は、「85歳以上」の男性では60.9%で特に高くなっています。



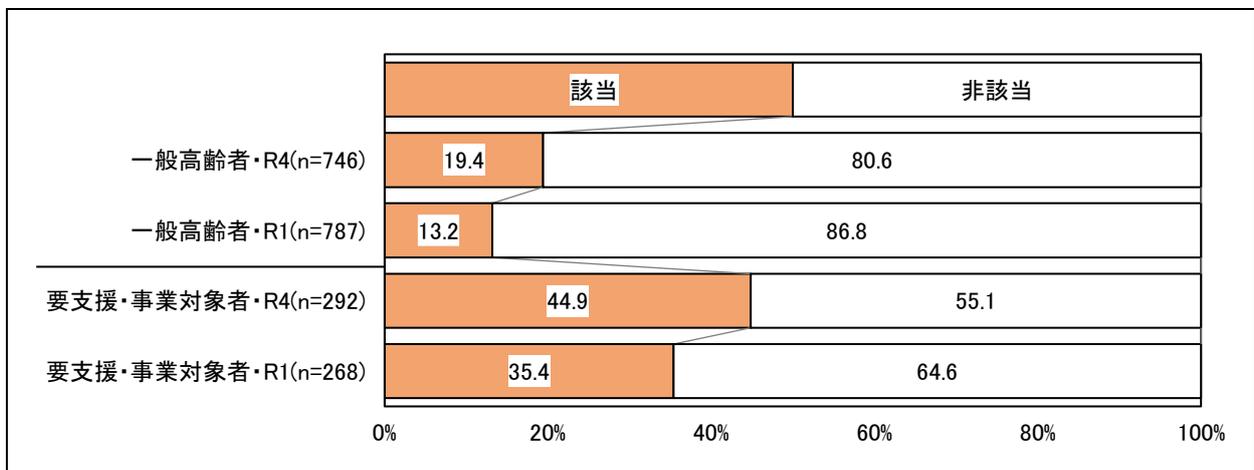
中学校区別で見ると、「該当」と判定された割合が高い順に、百間中学校区で30.0%、前原中学校区で25.4%、須賀中学校区で23.8%となっています。

(3) 閉じこもり傾向

【リスク判定方法】

閉じこもり傾向のある高齢者を把握します。下記の設問で、該当する選択肢（網掛け箇所）が回答された場合は、リスクありと判定されます。

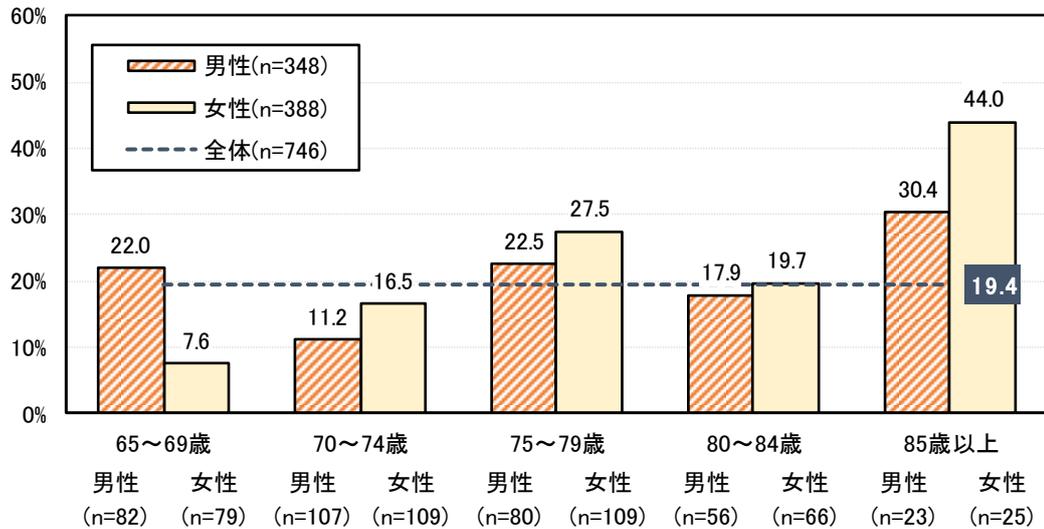
設問内容	選択肢	参照
週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2～4回 4. 週5回以上	17頁



閉じこもり傾向のリスクについて、「該当」と判定された割合は、一般高齢者では19.4%、要支援・事業対象者では44.9%となっています。

前回の調査と比較すると、「該当」と判定された割合は、一般高齢者では6.2ポイント増加、要支援・事業対象者では9.5ポイント増加しています。

●閉じこもり傾向×性別・年齢（一般高齢者）

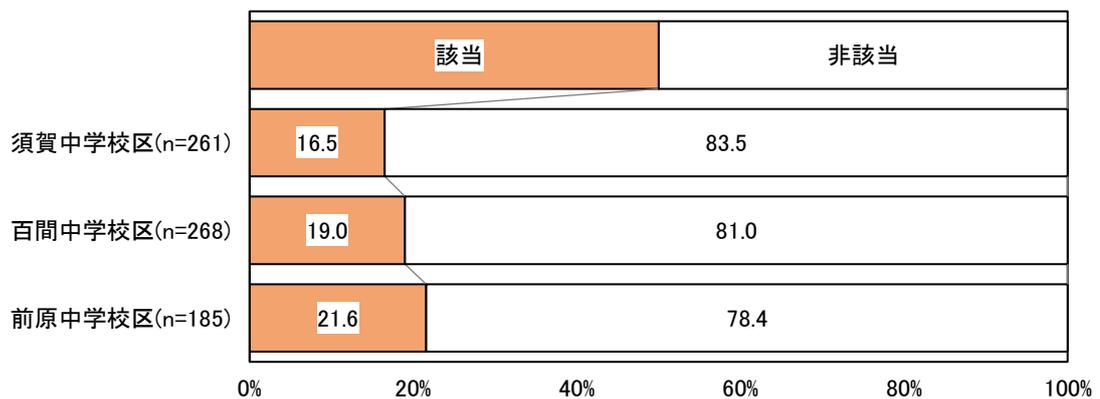


性別・年齢別で見ると、「該当」と判定された割合は、「70～74歳」より上の年齢では、女性の方が男性より高くなっています。

また、「85歳以上」の男性では30.4%、女性では44.0%で他の年齢との差が大きくなっています。

一方、「65～69歳」では、男性が22.0%で女性より多くなっています。

●閉じこもり傾向×中学校区（一般高齢者）



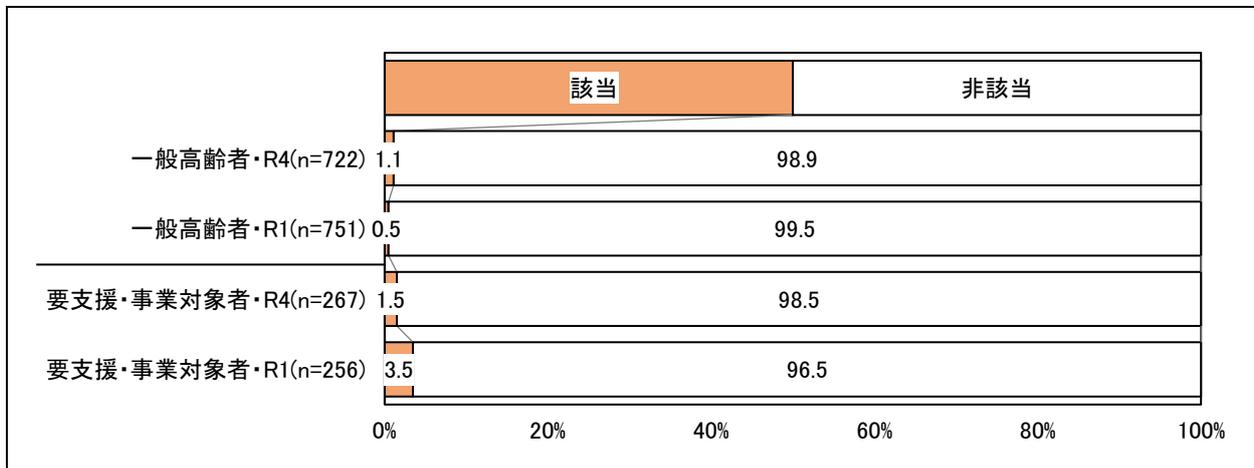
中学校区別で見ると、「該当」と判定された割合が高い順に、前原中学校区で21.6%、百間中学校区で19.0%、須賀中学校区で16.5%となっています。

(4) 低栄養

【リスク判定方法】

低栄養状態にある高齢者を把握します。下記の設問で、BMIが18.5以下となり、該当する選択肢（網掛け箇所）が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢	参照
身長・体重	身長・体重から算出される BMI (体重 (kg) ÷ {身長 (m) × 身長 (m)}) が 18.5 以下の場合、低栄養が疑われる	21 頁
6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1. はい 2. いいえ	25 頁

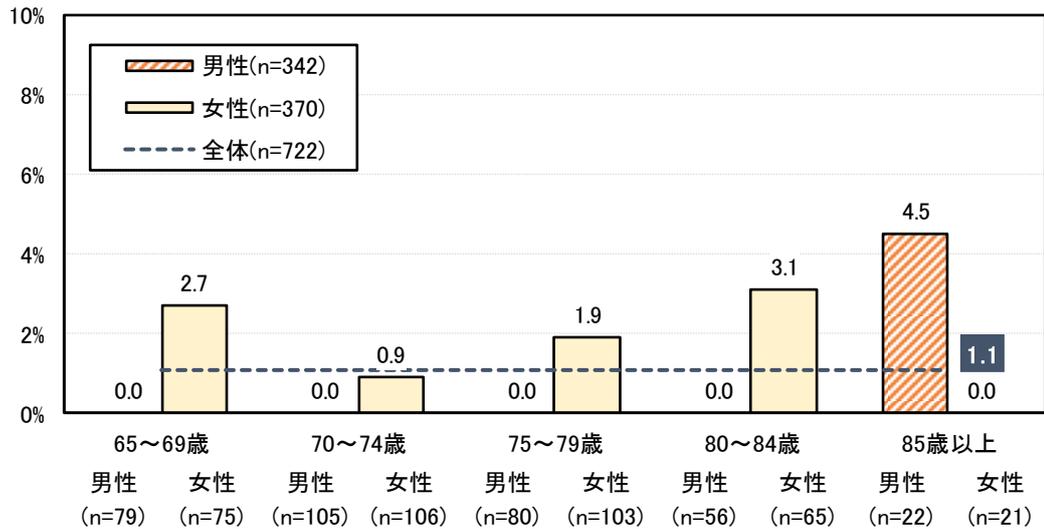


低栄養のリスクについて、「該当」と判定された割合は、一般高齢者では1.1%、要支援・事業対象者では1.5%となっています。

他の項目と比較すると低い割合となっており、一般高齢者と要支援・事業対象者との差もみられません。

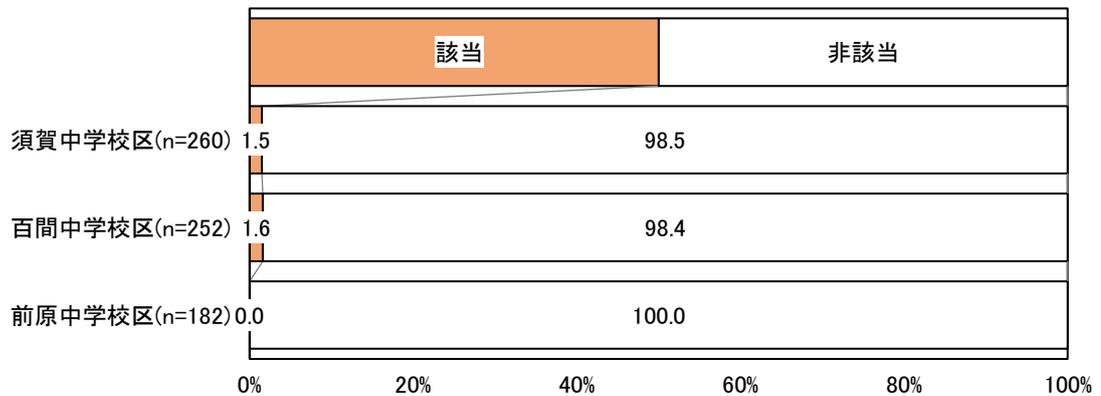
前回の調査と比較すると、「該当」と判定された割合は、一般高齢者では0.6ポイント増加していますが、要支援・事業対象者では2.0ポイント減少しています。

●低栄養×性別・年齢（一般高齢者）



性別・年齢別で見ると、「該当」と判定された割合は、男性では「85歳以上」のみ、女性では「65～69歳」から「80～84歳」にかけて、それぞれ10%未満となっています。

●低栄養×中学校区（一般高齢者）



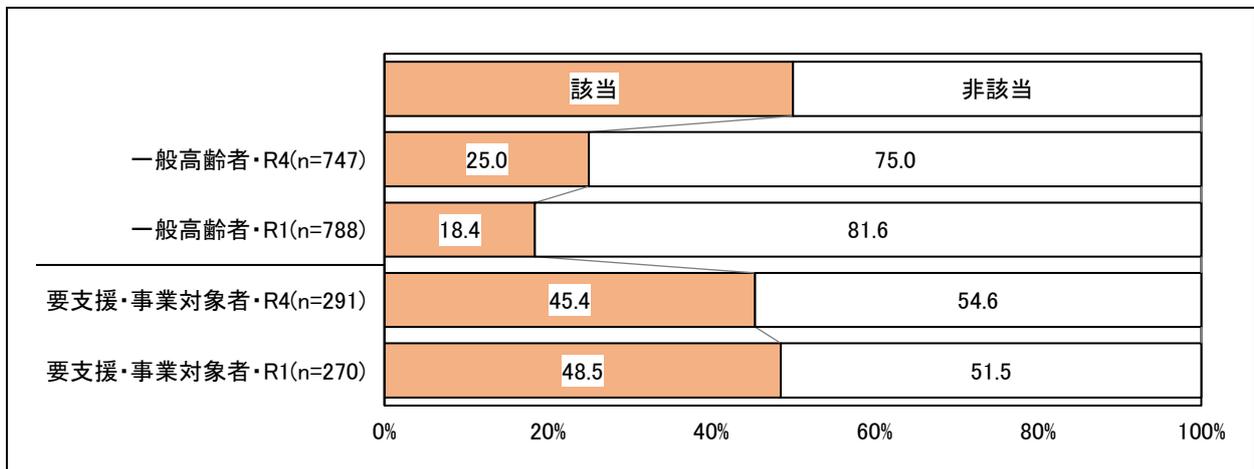
中学校区別で見ると、「該当」と判定された割合が高い順に、百間中学校区で1.6%、須賀中学校区で1.5%、前原中学校区で該当者なしとなっています。

(5) 口腔機能の低下

【リスク判定方法】

口腔機能の低下している高齢者を把握します。下記の設問で2問以上、該当する選択肢（網掛け箇所）が回答された場合は、リスクありと判定されます。

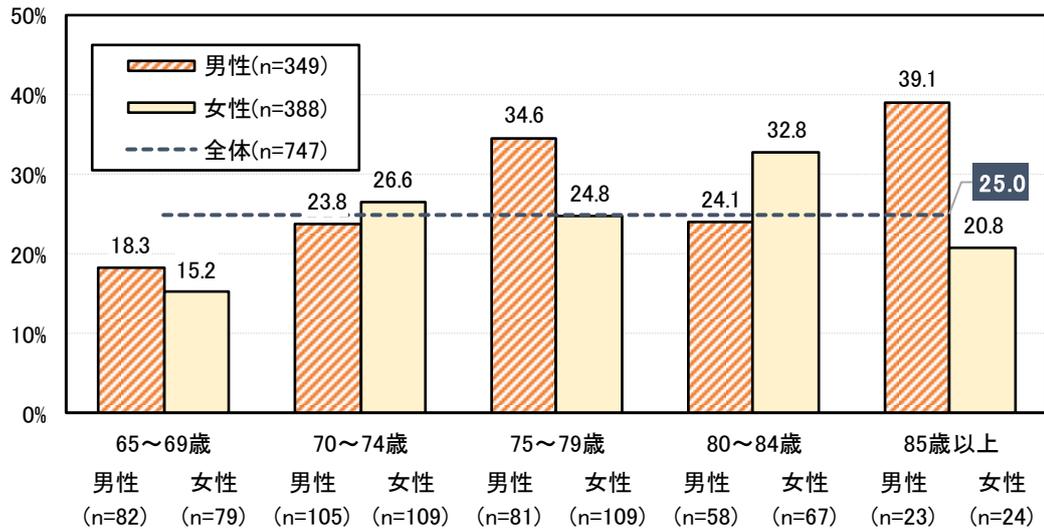
設問内容	選択肢	参照
半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい 2. いいえ	22 頁
お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい 2. いいえ	22 頁
口の渇きが気になりますか	1. はい 2. いいえ	23 頁



口腔機能の低下リスクについて、「該当」と判定された割合は、一般高齢者では25.0%、要支援・事業対象者では45.4%となっています。

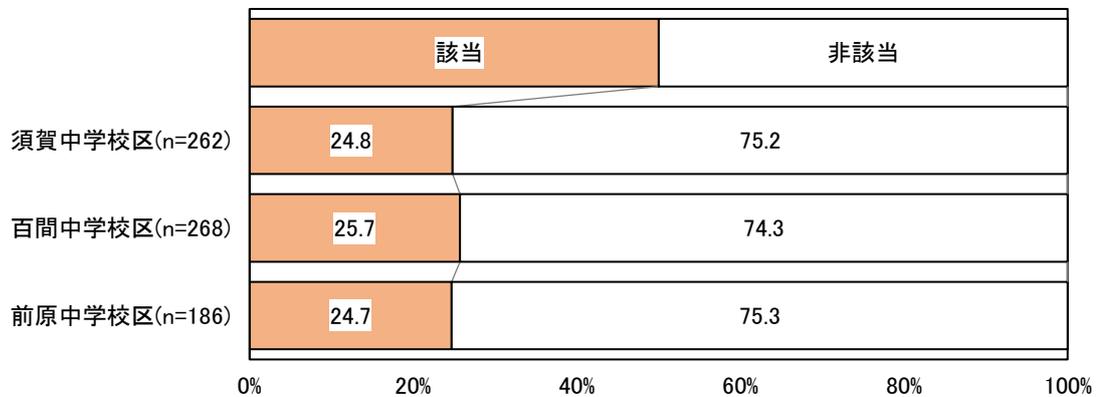
前回の調査と比較すると、「該当」と判定された割合は、一般高齢者では6.6ポイント増加していますが、要支援・事業対象者では3.1ポイント減少しています。

●口腔機能の低下×性別・年齢（一般高齢者）



性別・年齢別でみると、「該当」と判定された割合は、男性では「85歳以上」で最も高く39.1%、女性では「80～84歳」で最も高く32.8%となっています。

●口腔機能の低下×中学校区（一般高齢者）



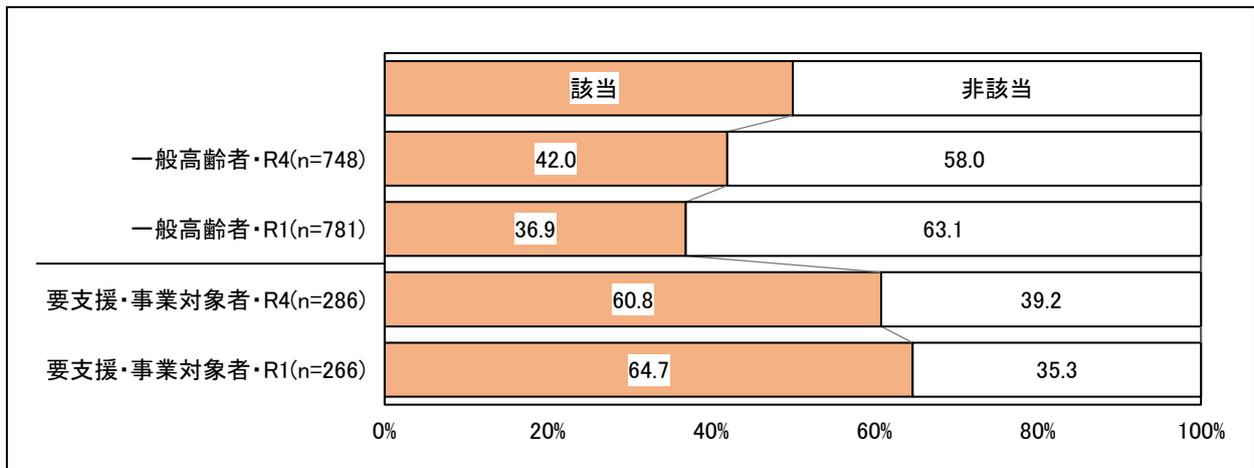
中学校区別でみると、「該当」と判定された割合が高い順に、百間中学校区で25.7%、須賀中学校区で24.8%、前原中学校区で24.7%となっています。

(6) 認知機能の低下

【リスク判定方法】

認知機能の低下がみられる高齢者を把握します。下記の設問で、該当する選択肢（網掛け箇所）が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢	参照
物忘れが多いと感じますか	1. はい 2. いいえ	27 頁

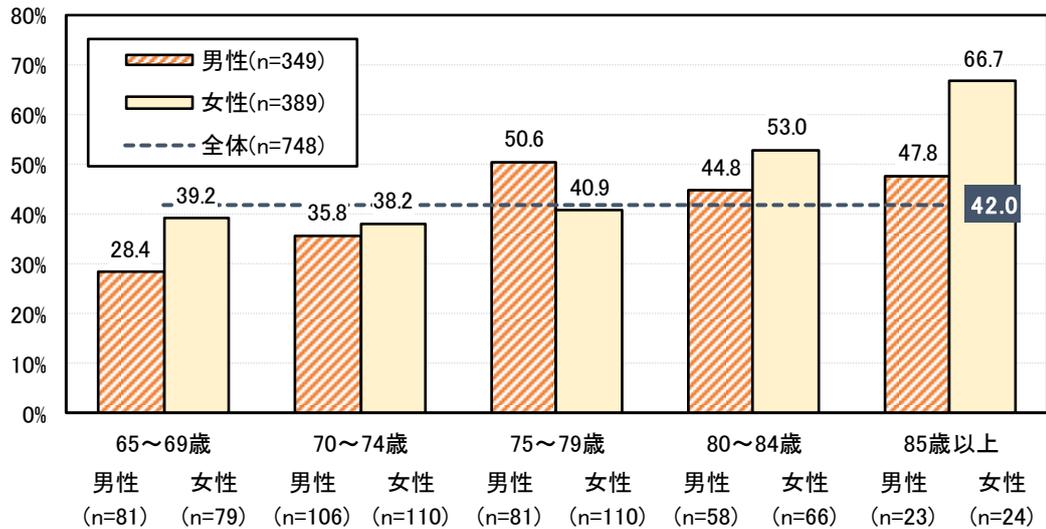


認知機能の低下リスクについて、「該当」と判定された割合は、一般高齢者では42.0%、要支援・事業対象者では60.8%となっています。

他の項目と比較すると、一般高齢者、要支援・事業対象者ともに高い割合となっています。

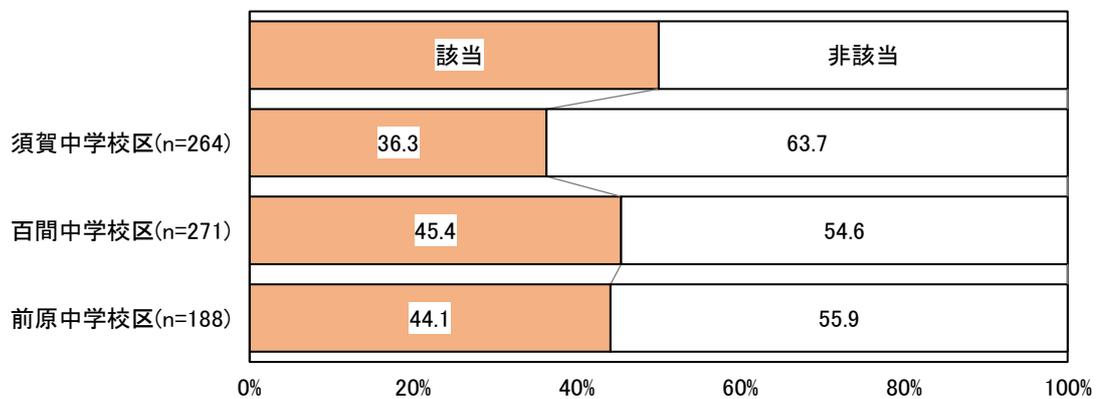
前回の調査と比較すると、「該当」と判定された割合は、一般高齢者では5.1ポイント増加していますが、要支援・事業対象者では3.9ポイント減少しています。

●認知機能の低下×性別・年齢（一般高齢者）



性別・年齢別で見ると、「該当」と判定された割合は、男性では「75～79歳」で50.6%を占めています。女性では年齢が高いほど割合も高くなる傾向がみられ、「80～84歳」で53.0%、「85歳以上」で66.7%となっています。

●認知機能の低下×中学校区（一般高齢者）



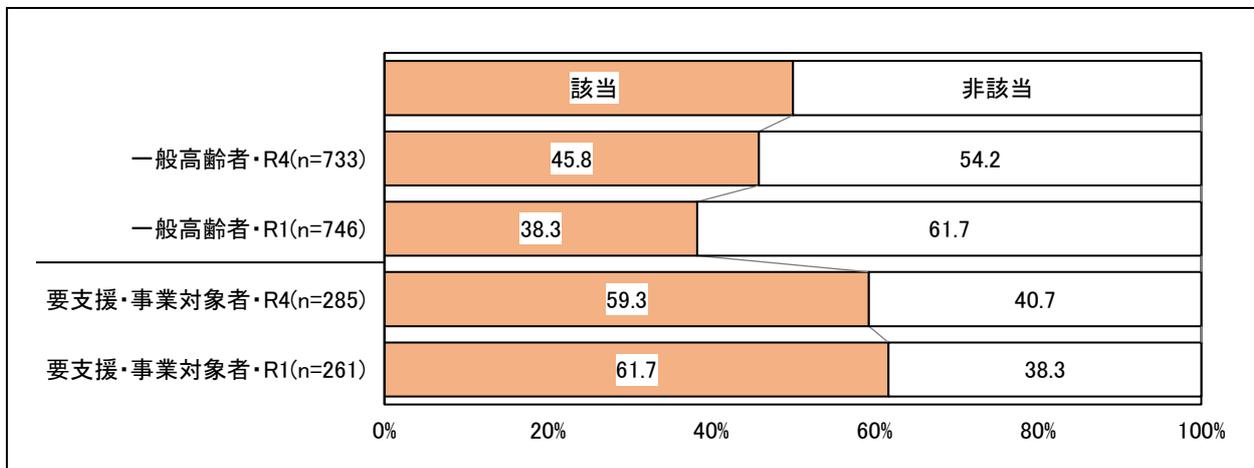
中学校区別で見ると、「該当」と判定された割合が高い順に、百間中学校区で45.4%、前原中学校区で44.1%、須賀中学校区で36.3%となっています。

(7) うつ傾向

【リスク判定方法】

うつ傾向の高齢者を把握します。下記の設問で1問以上、該当する選択肢（網掛け箇所）が回答された場合は、リスクありと判定されます。

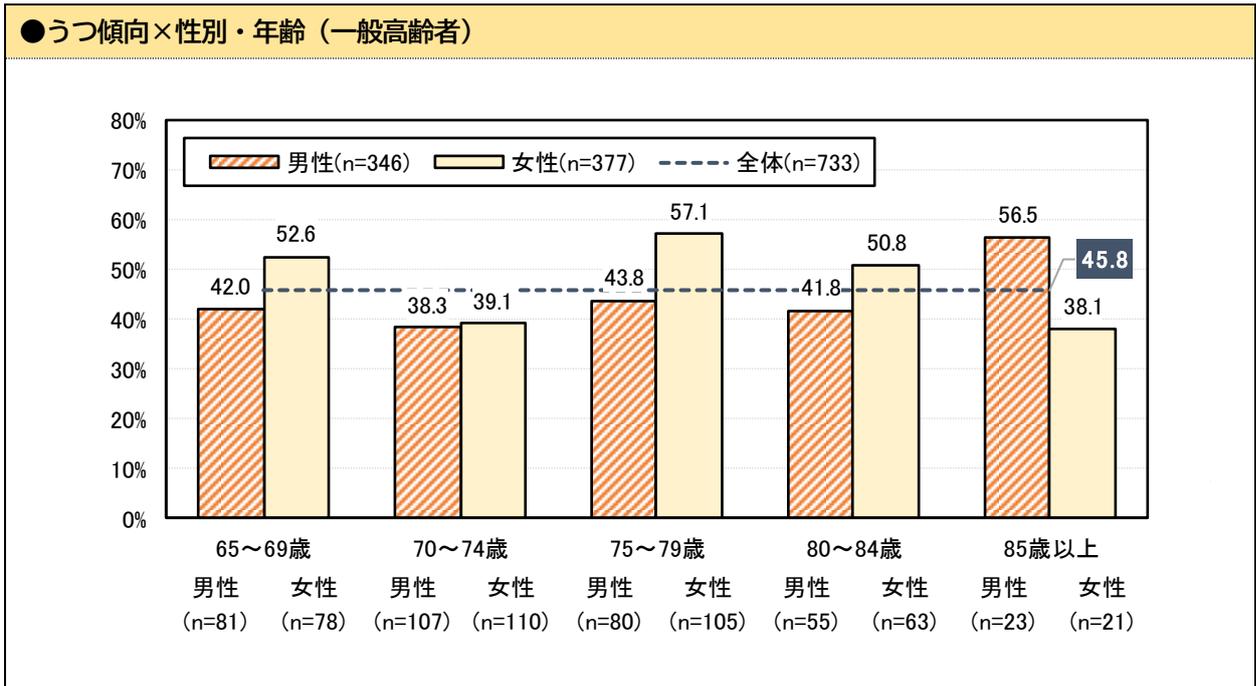
設問内容	選択肢	参照
この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい 2. いいえ	51 頁
この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい 2. いいえ	51 頁



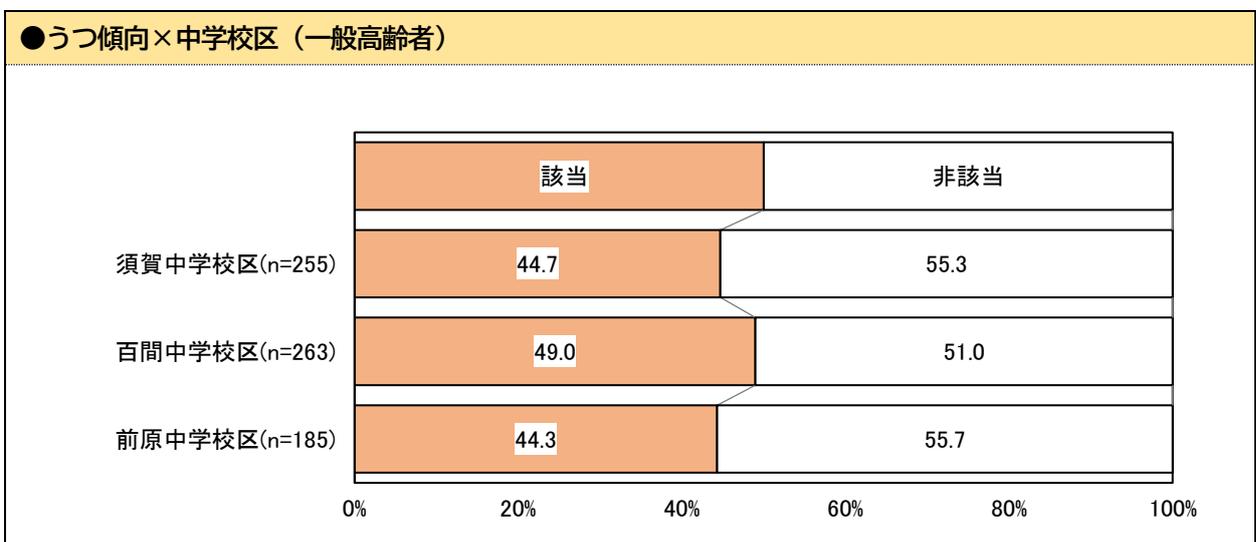
うつ傾向のリスクについては、「該当」と判定された割合は、一般高齢者では45.8%、要支援・事業対象者では59.3%となっています。

他の項目と比較すると、一般高齢者、要支援・事業対象者ともに高い割合となっています。

前回の調査と比較すると、「該当」と判定された割合は、一般高齢者では7.5ポイント増加していますが、要支援・事業対象者では2.4ポイント減少しています。



性別・年齢別で見ると、「該当」と判定された割合は、男女ともに年齢に関わらず高くなっています。男性では「85歳以上」で56.5%を占めています。女性では「85歳以上」で男性を大きく下回っていますが、他の年齢では男性より高く、「65～69歳」と「75～79歳」、「80～84歳」では過半数を占めています。



中学校区別で見ると、「該当」と判定された割合が高い順に、百間中学校区で49.0%、須賀中学校区で44.7%、前原中学校区で44.3%となっています。

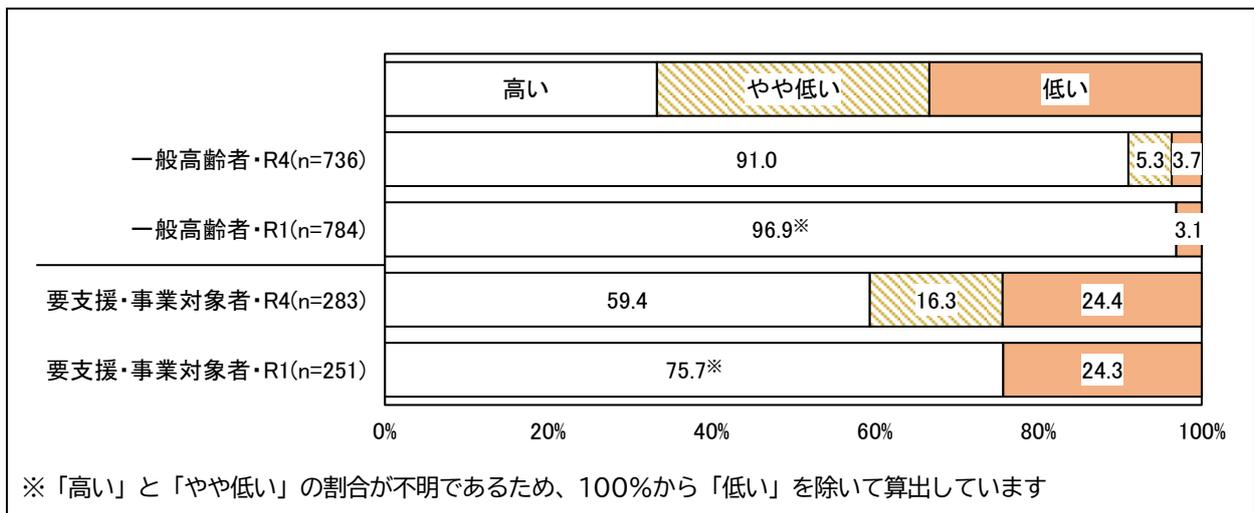
(8) IADL（手段的日常生活動作）の低下

【リスク判定方法】

IADLの低下している高齢者を把握します。IADLは、外出や買物など、自立した日常生活を送るために必要な能力の判断基準となります。

下記の設問で、5点満点中、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」として評価します。

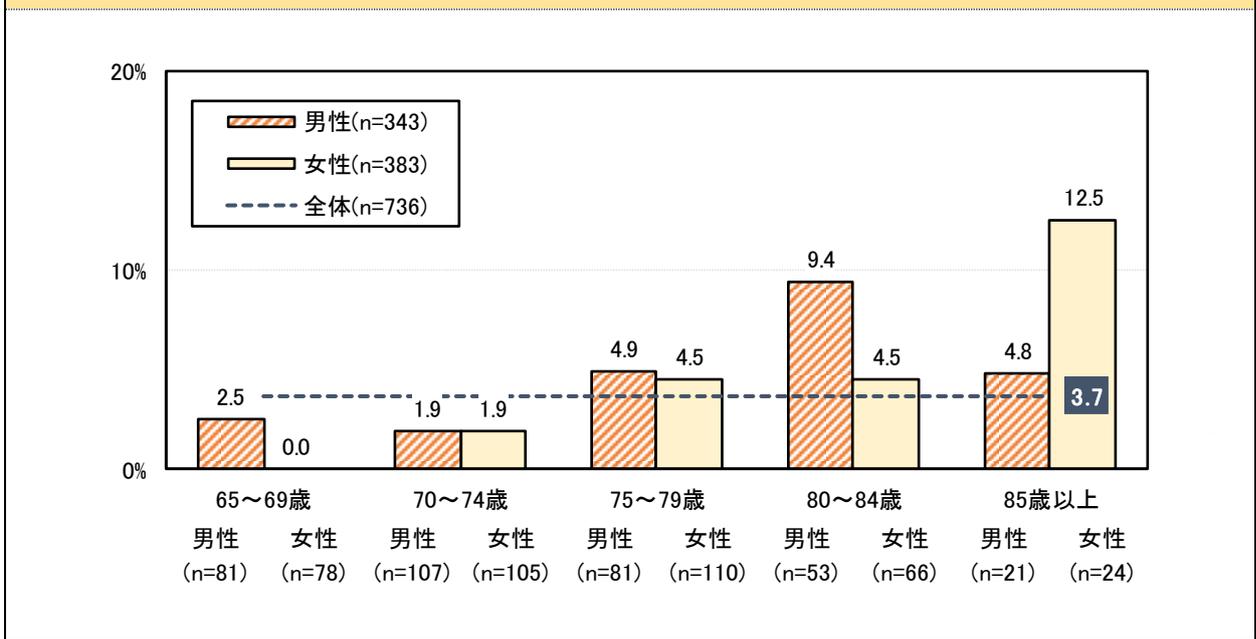
設問内容	選択肢	参照
バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)	1. できるし、している	1点
	2. できるけどしていない	1点
	3. できない	0点
自分で食品・日用品の買物をしていますか	1. できるし、している	1点
	2. できるけどしていない	1点
	3. できない	0点
自分で食事の用意をしていますか	1. できるし、している	1点
	2. できるけどしていない	1点
	3. できない	0点
自分で請求書の支払いをしていますか	1. できるし、している	1点
	2. できるけどしていない	1点
	3. できない	0点
自分で預貯金の出し入れをしていますか	1. できるし、している	1点
	2. できるけどしていない	1点
	3. できない	0点



IADL（手段的日常生活動作）について、「低い」と判定された割合は、一般高齢者では3.7%、要支援・事業対象者では24.4%となっています。

前回の調査と比較すると、「低い」と判定された割合は、一般高齢者では0.6ポイント増加、要支援・事業対象者では0.1ポイント増加しています。

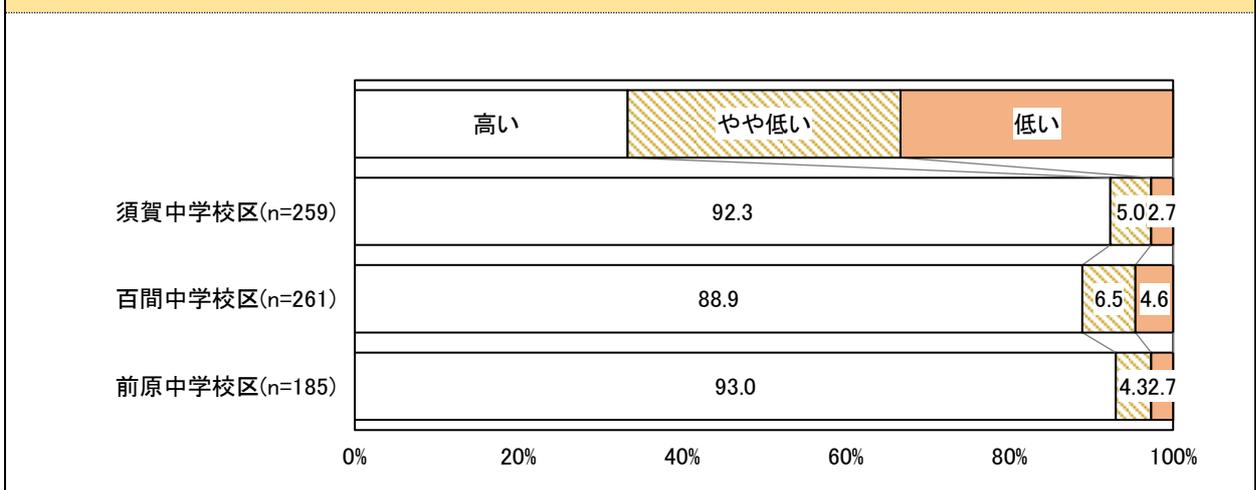
● IADL（手段的日常生活動作）の低下×性別・年齢（一般高齢者）



IADL（手段的日常生活動作）が「低い」と判定された割合を性別・年齢別で見ると、男性では「80～84歳」が9.4%で比較的高くなっています。女性では「85歳以上」が12.5%で他の年齢より高くなっています。

認定なしのニーズ調査対象者と比較すると21.2ポイントの差があります。

● IADL（手段的日常生活動作）の低下×中学校区（一般高齢者）



中学校区別で見ると、「低い」と判定された割合が高い順に、百間中学校区で4.6%、須賀中学校区と前原中学校区で2.7%となっています。

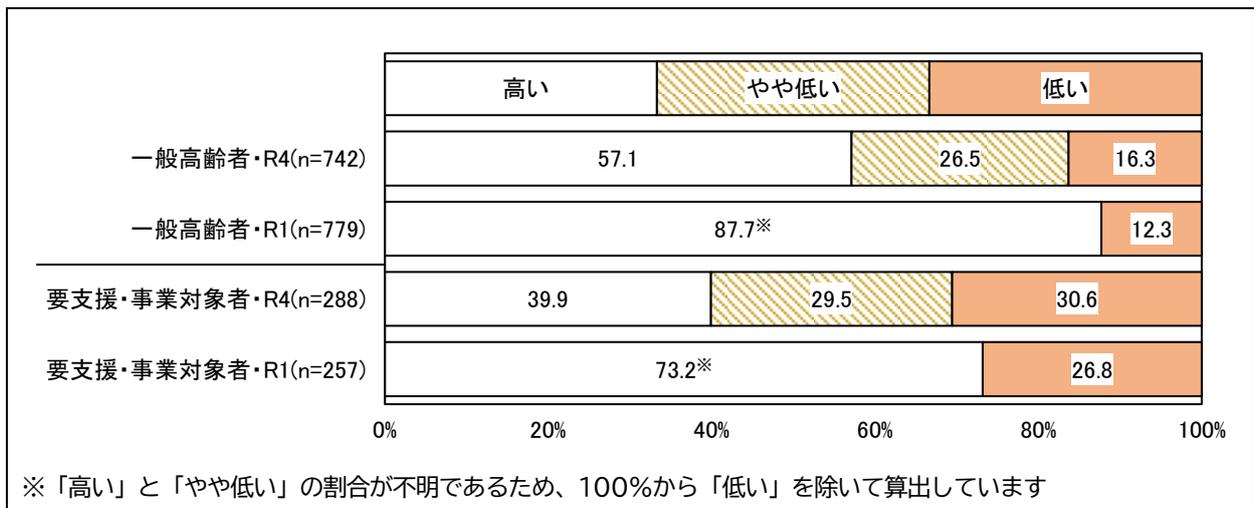
(9) 知的能動性の低下

【リスク判定方法】

知的能動性の低下している高齢者を把握します。知的能動性は、探索、創作、余暇活動などの知的な活動をすることです。

下記の設問で、4点満点中、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」として評価します。

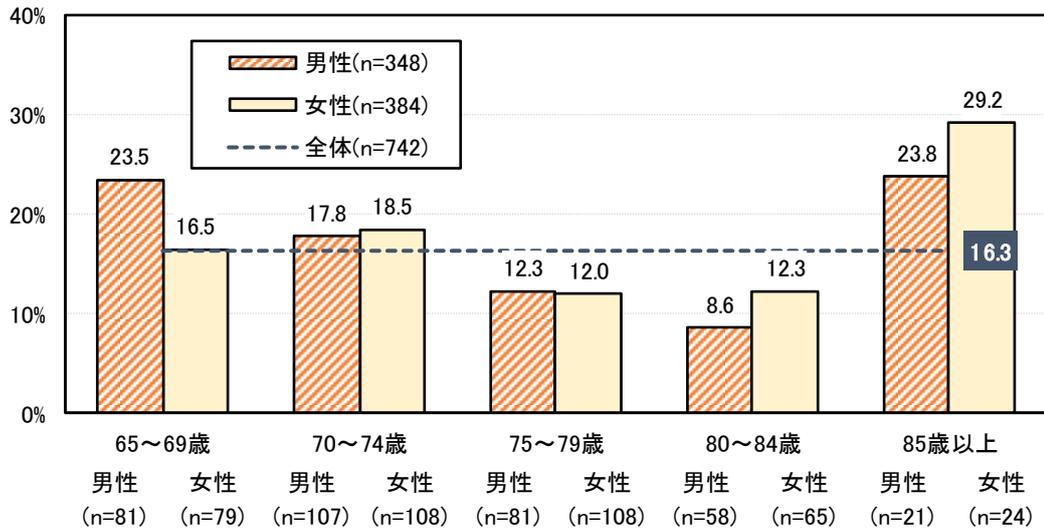
設問内容	選択肢	参照
年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点	31頁
新聞を読んでいますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点	31頁
本や雑誌を読んでいますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点	32頁
健康についての記事や番組に関心がありますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点	32頁



知的能動性について、「低い」と判定された割合は、一般高齢者では16.3%、要支援・事業対象者では30.6%となっています。

前回の調査と比較すると、「低い」と判定された割合は、一般高齢者では4.0ポイント増加、要支援・事業対象者では3.8ポイント増加しています。

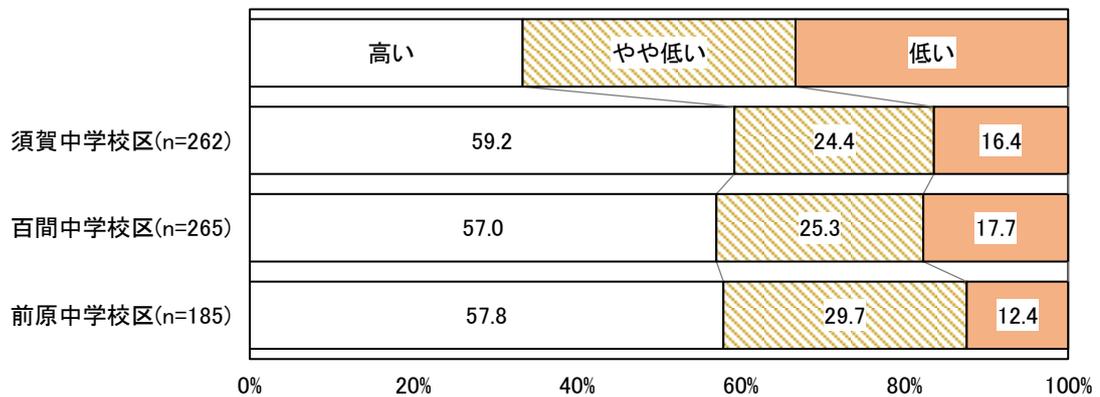
●知的能動性の低下×性別・年齢別（一般高齢者）



知的能動性が「低い」と判定された割合を性別・年齢別で見ると、男性では「65～69歳」が23.5%で比較的高く、「80～84歳」にかけて割合が低くなっていますが、「85歳以上」で最も高い23.8%となっています。

女性でも概ね同様の傾向がみられ、「85歳以上」が29.2%で最も高くとなっています。

●知的能動性の低下×中学校区（一般高齢者）



中学校区別で見ると、「低い」と判定された割合が高い順に、百間中学校区で17.7%、須賀中学校区で16.4%、前原中学校区で12.4%となっています。

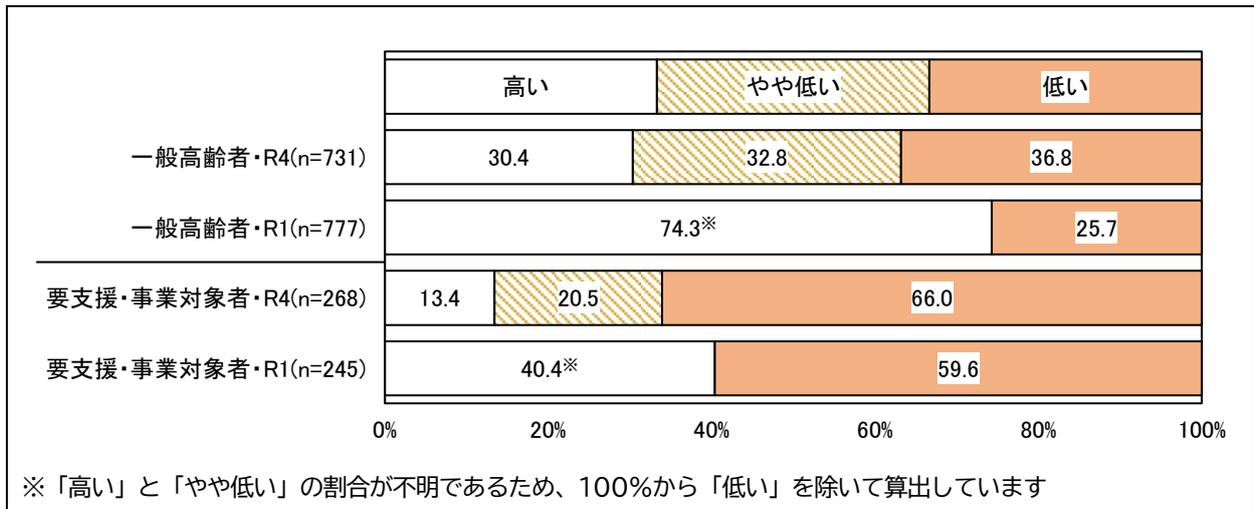
(10) 社会的役割の低下

【リスク判定方法】

社会的役割の低下している高齢者を把握します。社会的役割は、仲間と会食の機会を持つたり、地域の活動に参加したりするなど、地域で社会的な役割を果たすことです。

下記の設問で、4点満点中、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」として評価します。

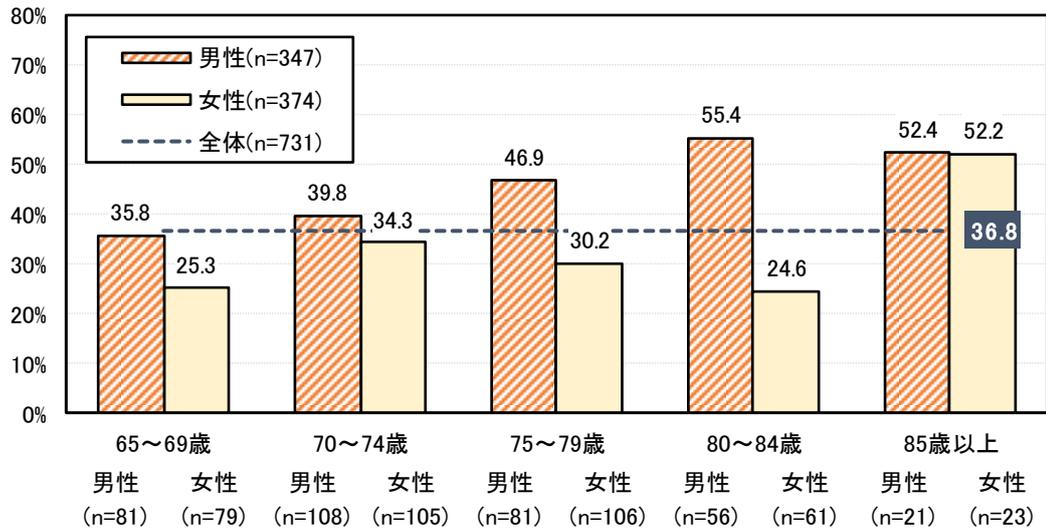
設問内容	選択肢	参照
友人の家を訪ねていますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点	33頁
家族や友人の相談にのっていますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点	33頁
病人を見舞うことができますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点	34頁
若い人に自分から話しかけることがありますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点	34頁



社会的役割について、「低い」と判定された割合は、一般高齢者では36.8%、要支援・事業対象者では66.0%となっています。

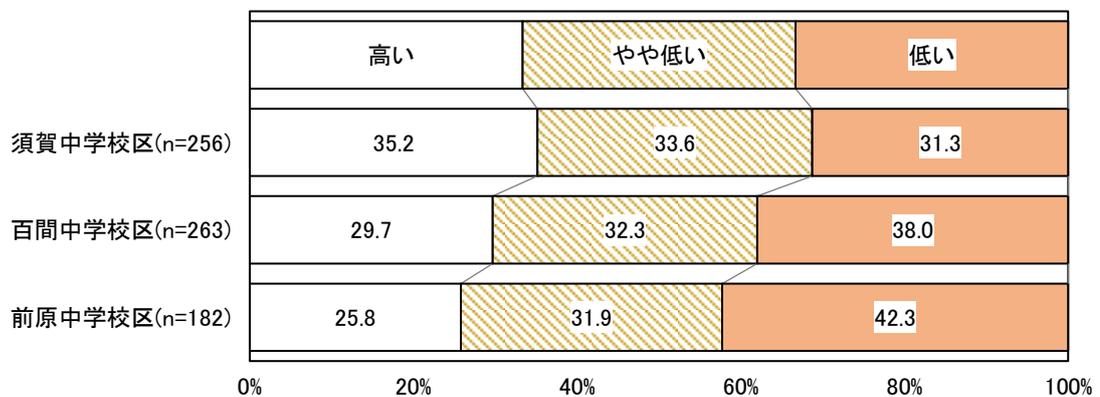
前回の調査と比較すると、「該当」と判定された割合は、一般高齢者では11.1ポイント増加、要支援・事業対象者では6.4ポイント増加しています。

●社会的役割の低下×性別・年齢（一般高齢者）



社会的役割が「低い」と判定された割合を性別・年齢別で見ると、男性では「80～84歳」と「85歳以上」で過半数を占めています。女性では「85歳以上」で過半数を占めており、すべての年齢で男性より低くなっています。

●社会的役割の低下×中学校区（一般高齢者）

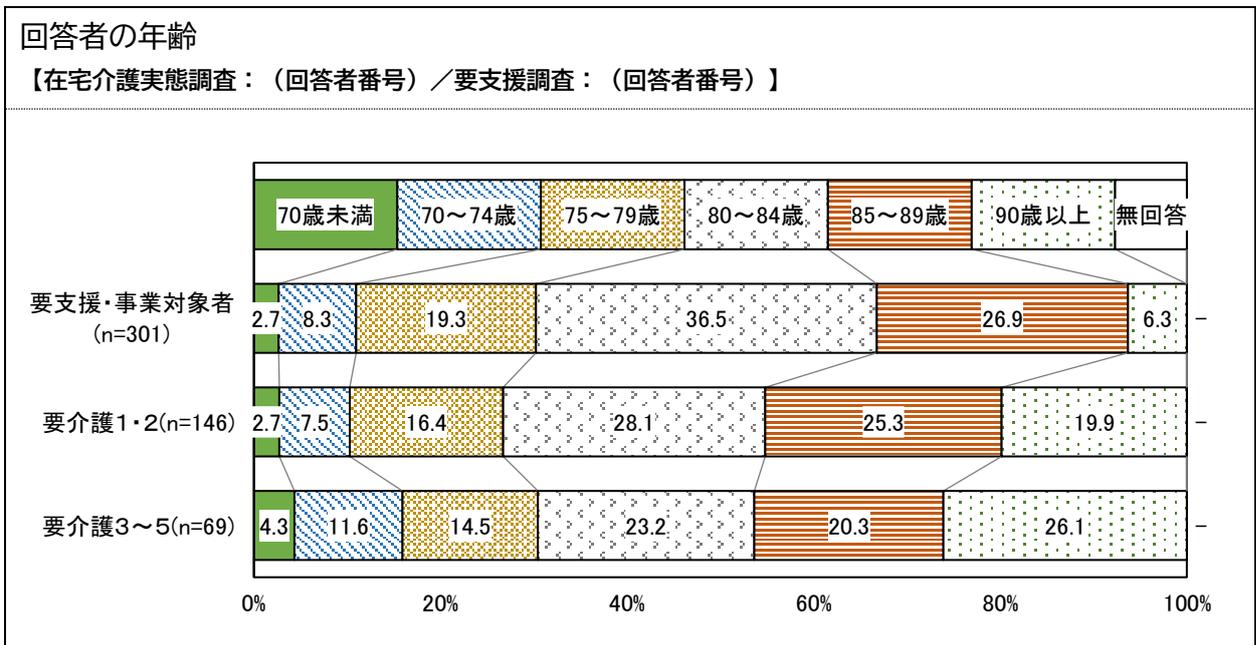


中学校区別で見ると、「低い」と判定された割合が高い順に、前原中学校区で42.3%、百間中学校区で38.0%、須賀中学校区で31.3%となっています。

Ⅲ 在宅介護実態調査

1 基本属性について

(1) 年齢

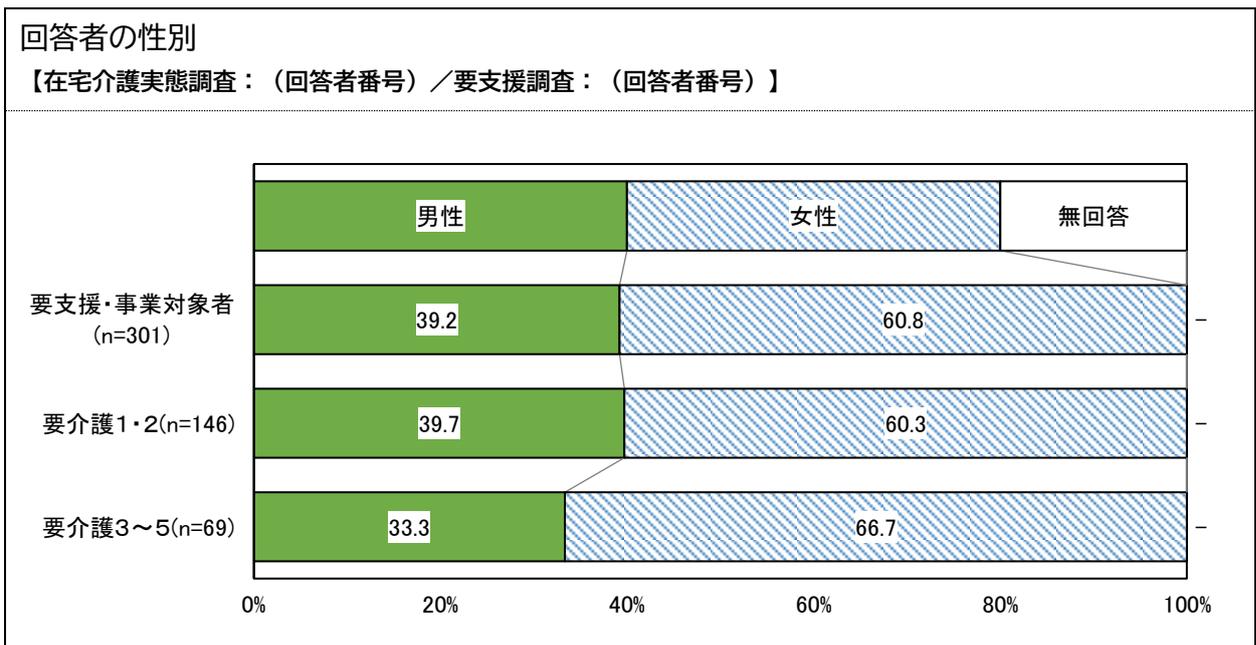


年齢について、要支援・事業対象者と要介護1・2では、ともに「80～84歳」が最も多く、要支援・事業対象者では36.5%、要介護1・2では28.1%となっています。

また、ともに「85～89歳」が次いで多く、要支援・事業対象者では26.9%、要介護1・2では25.3%となっています。

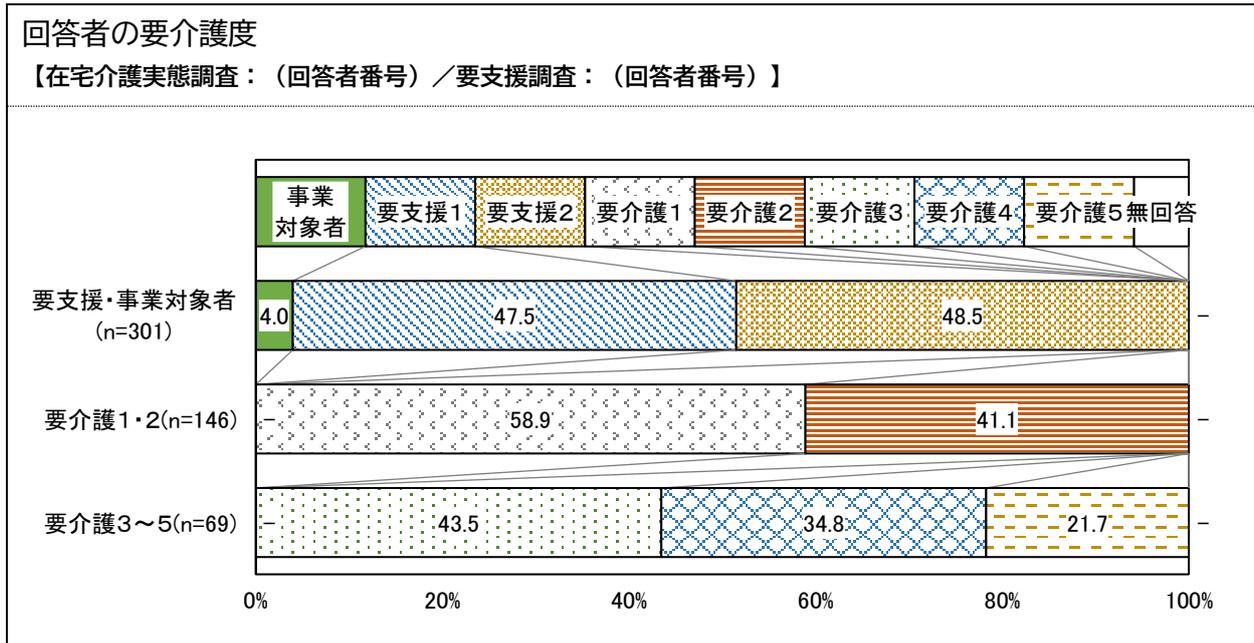
要介護3～5では「90歳以上」が26.1%で最も多く、次いで「80～84歳」が23.2%となっています。

(2) 性別



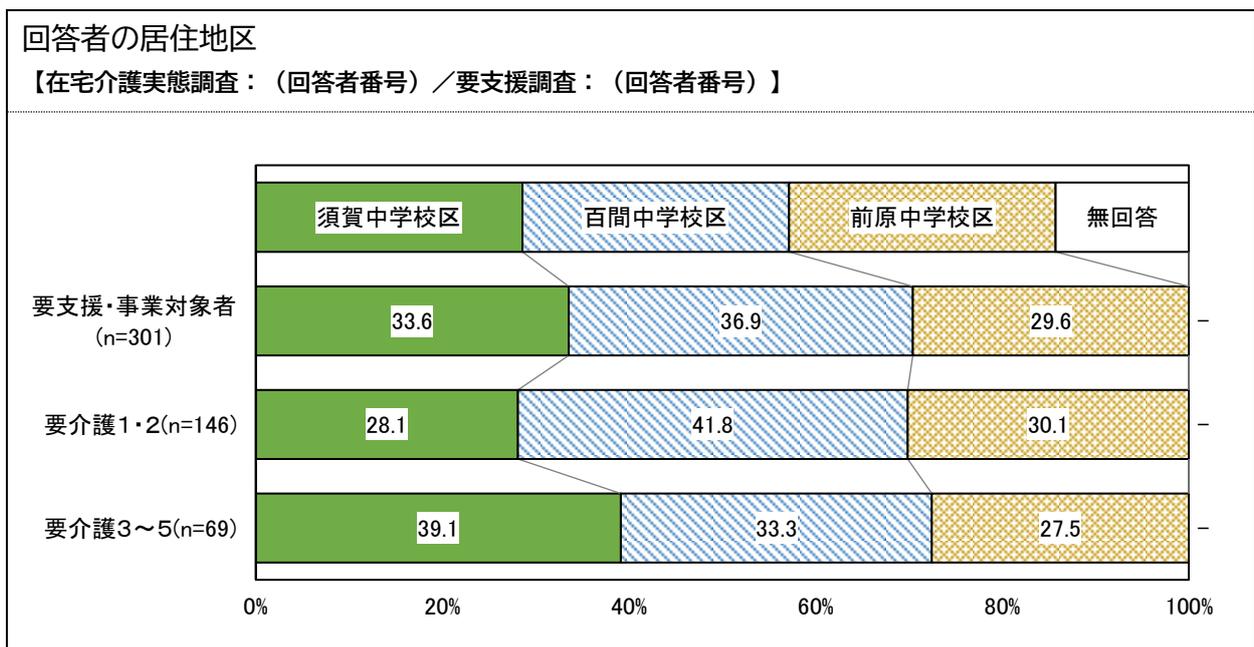
性別について、いずれも「女性」が60%台で「男性」より多くなっています。

(3) 要介護度



要介護度について、要介護度ごとの内訳は上記のグラフのとおりです。

(4) 居住地区



居住地区について、要介護度ごとの内訳は上記のグラフのとおりです。

(5) 調査票の回答者

現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか（複数回答可）

【在宅介護実態調査：調査票1頁／要支援調査：調査票1頁】

単位:%

	調査対象者本人	主な介護者となっている家族・親族	主な介護者以外の家族・親族	調査対象者のケアマネジャー	その他	無回答
要支援・事業対象者(n=301)	80.7	14.6	0.7	0.7	0.0	3.3
要介護1・2(n=146)	45.9	41.1	1.4	0.0	0.0	11.6
要介護3～5(n=69)	17.4	63.8	7.2	0.0	5.8	5.8

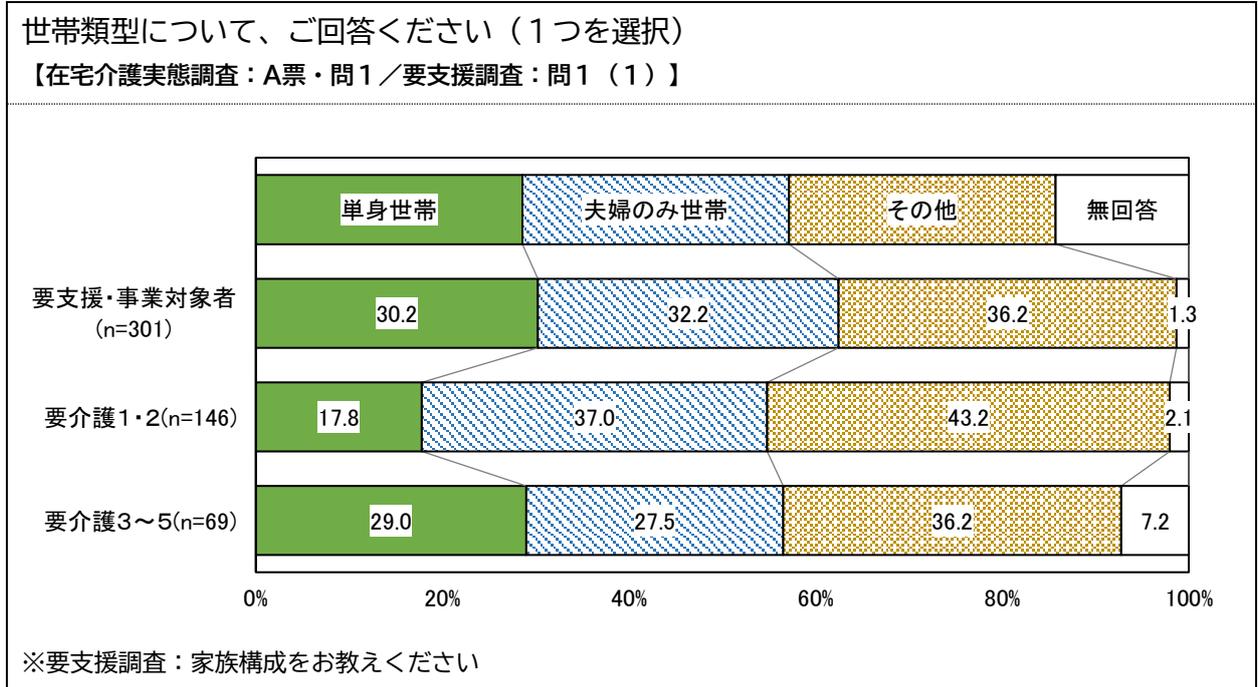
調査票の回答者について、要支援・事業対象者と要介護1・2では「調査対象者本人」が最も多く、要支援・事業対象者では80.7%、要介護1・2では45.9%となっています。

一方、要介護3～5では「主な介護者となっている家族・親族」が最も多く、63.8%を占めています。

要支援・事業対象者から要介護3～5にかけて、「調査対象者本人」が少なくなり、「主な介護者となっている家族・親族」と「主な介護者以外の家族・親族」が多くなっています。

2 調査対象者本人について

(1) 世帯類型

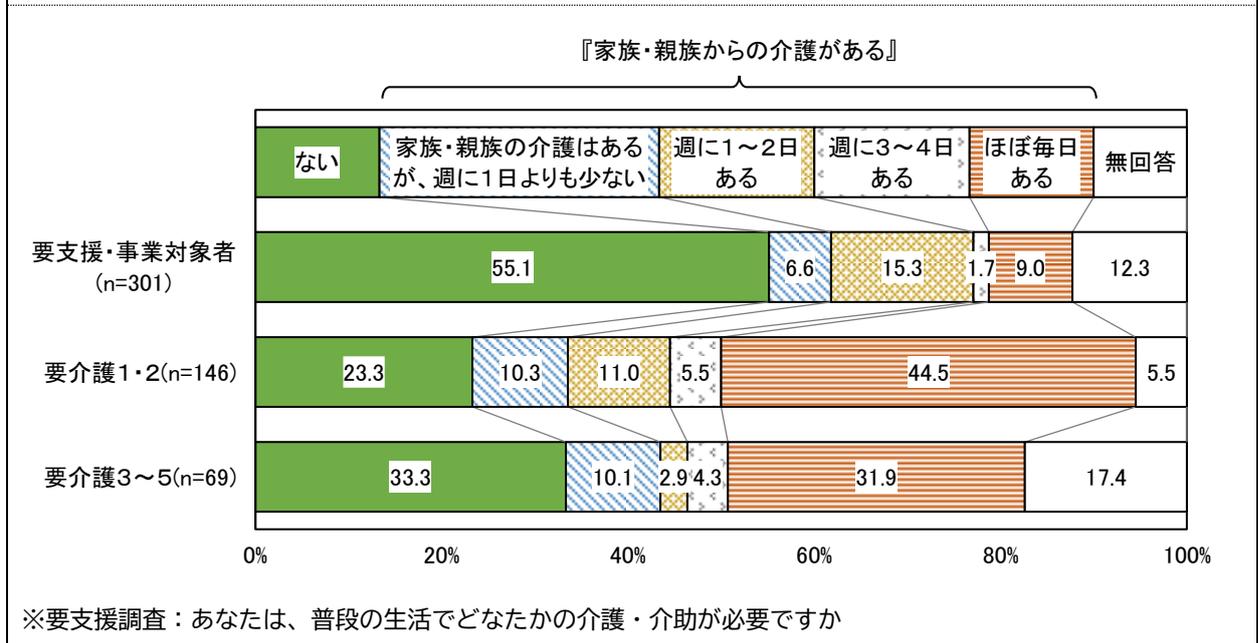


世帯類型について、いずれも「その他」が最も多く、要支援・事業対象者では36.2%、要介護1・2では43.2%、要介護3～5では36.2%となっています。

以下、要支援・事業対象者では「夫婦のみ世帯」が32.2%、「単身世帯」が30.2%、要介護1・2では「夫婦のみ世帯」が37.0%、「単身世帯」が17.8%、要介護3～5では「単身世帯」が29.0%、「夫婦のみ世帯」が27.5%となっています。

(2) 家族・親族からの介護の状況

ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか
 (同居していない子どもや親族等からの介護を含む) (1つを選択)
 【在宅介護実態調査：A票・問2／要支援調査：問1(4)】



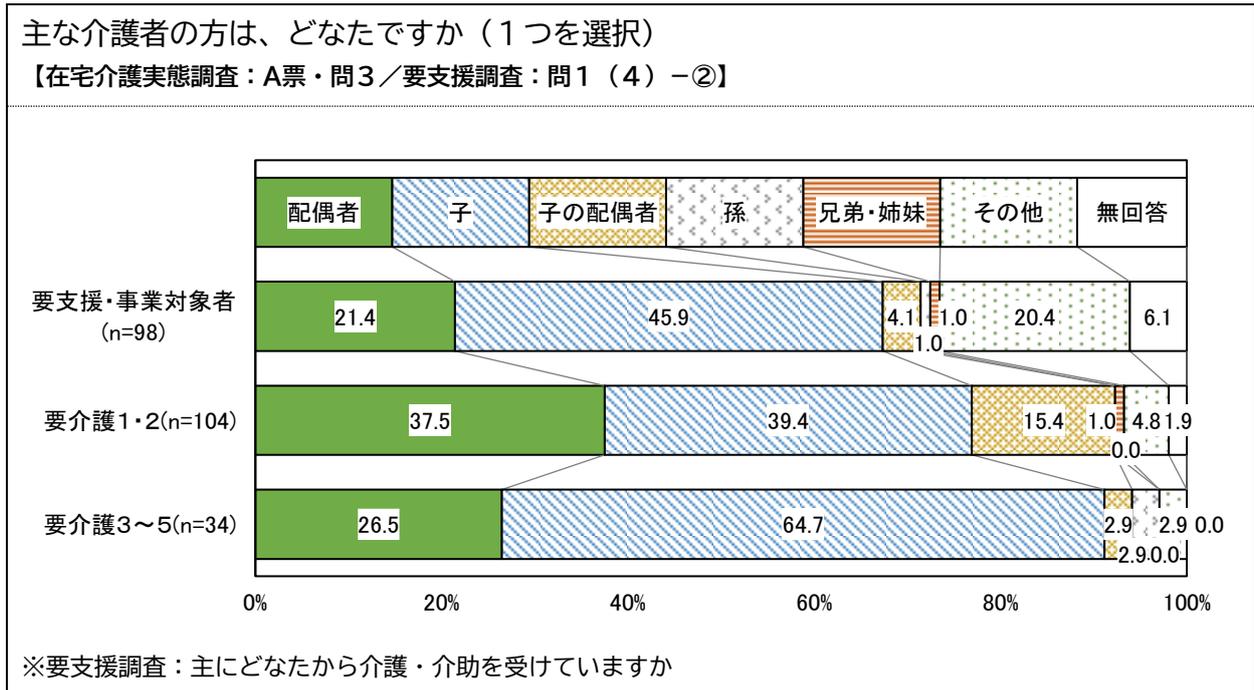
家族や親族からの介護の状況について、要支援・事業対象者と要介護3～5では「ない」が最も多く、要支援・事業対象者では55.1%、要介護3～5では33.3%となっています。

一方、要介護1・2では「ほぼ毎日ある」が44.5%で最も多くなっています。

次いで、要支援・事業対象者では「週に1～2日ある」が15.3%、要介護1・2では「ない」が23.3%、要介護3～5では「ほぼ毎日ある」が31.9%となっています。

『家族や親族からの介護がある』は要介護1・2で多く、71.3%を占めています。

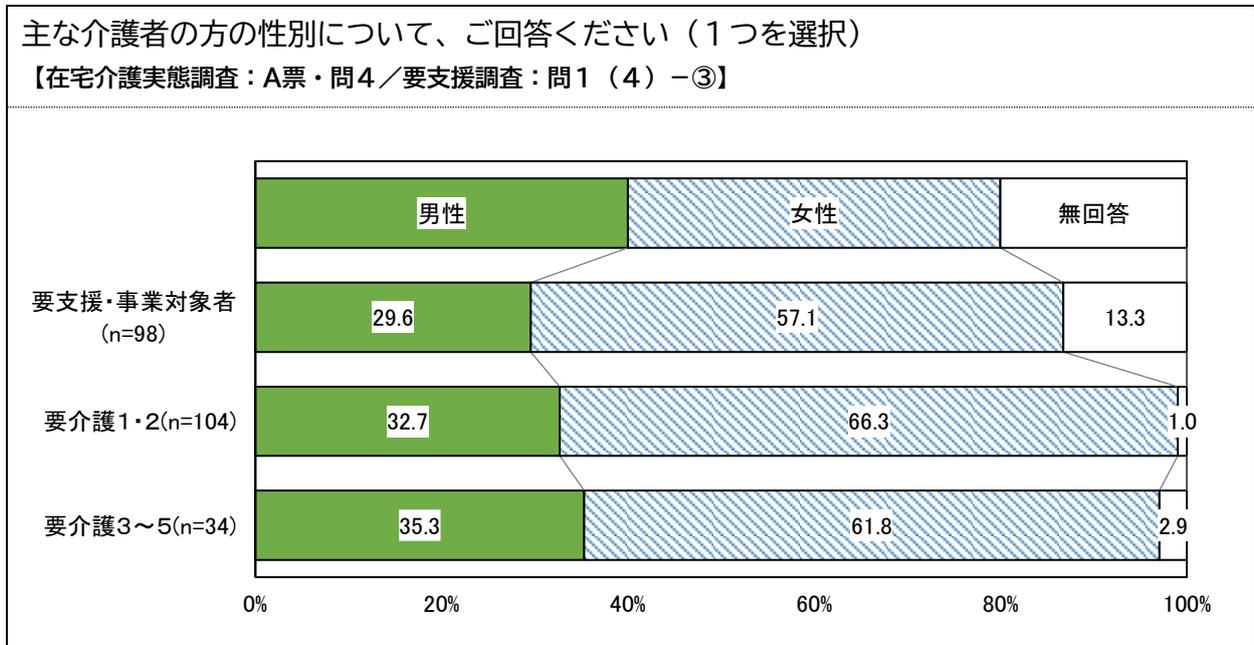
(3) 主な介護者



主な介護者について、いずれも「子」が最も多く、要支援・事業対象者では45.9%、要介護1・2では39.4%、要介護3～5では64.7%となっています。

また、いずれも「配偶者」が次いで多く、要支援・事業対象者では21.4%、要介護1・2では37.5%、要介護3～5では26.5%となっています。

(4) 主な介護者の性別

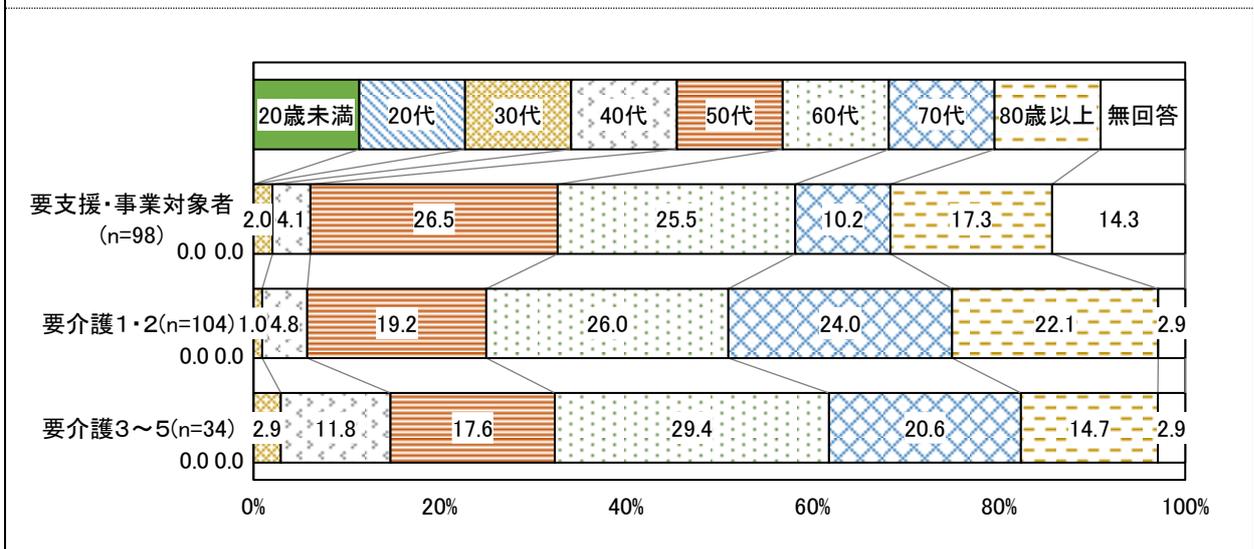


主な介護者の性別について、いずれも「女性」の方が多く、要支援・事業対象者では57.1%、要介護1・2では66.3%、要介護3～5では61.8%を占めています。

(5) 主な介護者の年齢

主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）

【在宅介護実態調査：A票・問5／要支援調査：問1（4）-④】



主な介護者の年齢について、要支援・事業対象者では「50代」が26.5%で最も多く、次いで「60代」が25.5%となっています。

要介護1・2と要介護3～5では、ともに「60代」が最も多く、要介護1・2では26.0%、要介護3～5では29.4%となっています。

また、ともに「70代」が次いで多く、要介護1・2では24.0%、要介護3～5では20.6%で、60代以上の占める割合が要支援・事業対象者より高くなっています。

(6) 主な介護者が行っている介護

現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（複数選択可）

【在宅介護実態調査：A票・問6／要支援調査：問1（4）-⑤】

単位:%

	外出の付き添い、送迎等	その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等)	食事の準備 (調理等)	金銭管理や生活面に必要な 諸手続き	服薬	入浴・洗身	認知症状への対応	衣服の着脱	身だしなみ (洗顔・歯磨き等)
要支援・事業対象者(n=98)	59.2	58.2	34.7	34.7	8.2	6.1	5.1	2.0	1.0
要介護1・2(n=104)	74.0	74.0	66.3	66.3	43.3	23.1	22.1	21.2	18.3
要介護3～5(n=34)	76.5	82.4	73.5	85.3	50.0	14.7	35.3	50.0	38.2

	医療面での対応 (経管栄養、ストーマ等)	屋内の移乗・移動	日中の排泄	食事の介助 (食べる時)	夜間の排泄	その他	わからない	無回答
要支援・事業対象者(n=98)	2.0	5.1	1.0	4.1	2.0	3.1	0.0	9.2
要介護1・2(n=104)	12.5	11.5	7.7	7.7	6.7	1.0	1.0	1.9
要介護3～5(n=34)	8.8	35.3	35.3	26.5	26.5	11.8	0.0	0.0

主な介護者が行っている介護について、要支援・事業対象者では「外出の付き添い、送迎等」が59.2%で最も多く、以下「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が58.2%、「食事の準備（調理等）」と「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が34.7%などとなっています。

また、要介護1～2では「外出の付き添い、送迎等」と「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が74.0%で最も多く、以下「食事の準備（調理等）」と「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が66.3%、「服薬」が43.3%などとなっており、要支援・事業対象者より割合は高いものの、似通った傾向がみられます。

要介護3～5では「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が85.3%で最も多く、以下「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が82.4%、「外出の付き添い、送迎等」が76.5%、「食事の準備（調理等）」が73.5%で、上位は他の要介護度と同じ項目となっています。

さらに、要介護3～5では「服薬」や「衣服の着脱」、「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」など、生活全般における介護等の割合が高くなっています。

(7) 介護を理由に退職・転職をした家族や親族

ご家族やご親族の中で、ご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（複数選択可）

※現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません。
 ※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

【在宅介護実態調査：A票・問7／要支援調査：問1（6）】

『介護を理由に退職・転職をした』

単位:%

	主な介護者が仕事を辞めた (転職除く)	主な介護者以外の 家族・親族が仕事を辞めた (転職除く)	主な介護者が転職した	主な介護者以外の 家族・親族が転職した	介護のために仕事を辞めた 家族・親族はいない	わからない	無回答
要支援・事業対象者(n=301)	2.3	0.7	0.3	0.0	43.5	5.3	47.8
要介護1・2(n=104)	6.7	1.0	1.0	1.0	60.6	3.8	26.0
要介護3～5(n=34)	8.8	0.0	2.9	0.0	73.5	2.9	11.8

※本文中の『介護を理由に退職・転職をした』割合は、複数選択可のため、次の式により算出した。
 =100 - (「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」 + 「わからない」 + 「無回答」)

介護を理由に退職・転職をした家族や親族について、いずれも「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が最も多く、要支援・事業対象者では43.5%、要介護1・2では60.6%、要介護3～5では73.5%を占めています。

なお、『介護を理由に退職・転職をした』との回答は、要支援・事業対象者では3.4%、要介護1・2では9.6%、要介護3～5では11.8%となっています。

(8) 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況

現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（複数選択可）

【在宅介護実態調査：A票・問8／要支援調査：問9（3）】

単位：%

	移送サービス (介護・福祉タクシー等)	配食	掃除・洗濯	緊急時通報システム	サロンなどの定期的な 通いの場	「出しこめ」	外出同行 (通院・買い物など)
要支援・事業対象者(n=301)	8.3	7.6	5.3	5.3	4.7	3.0	3.0
要介護1・2(n=146)	7.5	13.0	6.8	4.1	4.8	6.2	11.0
要介護3～5(n=69)	11.6	10.1	8.7	5.8	2.9	5.8	1.4

	買物 (宅配は含まない)	見守り、声かけ	調理	介護用品支給 (紙おむつ等)	その他	利用していない	無回答
要支援・事業対象者(n=301)	2.3	2.0	1.3	1.0	6.6	54.8	15.3
要介護1・2(n=146)	4.1	6.2	2.7	2.7	6.2	46.6	14.4
要介護3～5(n=69)	4.3	2.9	4.3	26.1	13.0	33.3	11.6

介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況について、いずれも「利用していない」が最も多く、要支援・事業対象者では54.8%、要介護1・2では46.6%、要介護3～5では33.3となっています。

以下、要支援・事業対象者では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が8.3%、「配食」が7.6%、「掃除・洗濯」と「緊急通報システム」が5.3%、要介護1・2では「配食」が13.0%、「外出同行（通院、買い物など）」が11.0%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が7.5%などで、利用は限定的となっています。

また、要介護3～5では「介護用品支給（紙おむつ等）」が26.1%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が11.6%、「配食」が10.1%などとなっており、「介護用品支給（紙おむつ等）」以外は、他の要介護度と大きな差はみられません。

(9) 今後必要と感じる支援・サービス

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（複数選択可）

【在宅介護実態調査：A票・問9／要支援調査：問9（4）／ニーズ調査：問9（3）】

	移送サービス （介護・福祉タクシー等）	緊急時通報システム	外出同行 （通院・買い物など）	配食	買物 （宅配は含まない）	見守り、声かけ	介護用品支給 （紙おむつ等）
要支援・事業対象者(n=301)	23.3	20.9	18.9	17.3	12.6	12.3	12.3
要介護1・2(n=146)	21.2	10.3	21.2	17.1	9.6	15.1	21.9
要介護3～5(n=69)	20.3	13.0	11.6	11.6	8.7	11.6	27.5

	掃除・洗濯	ゴミ出し	調理	サロンなどの定期的な 通いの場	その他	特になし	無回答
要支援・事業対象者(n=301)	11.6	11.3	6.0	5.3	3.7	30.6	16.9
要介護1・2(n=146)	11.0	10.3	8.2	8.9	5.5	27.4	12.3
要介護3～5(n=69)	14.5	10.1	7.2	5.8	8.7	13.0	23.2

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについて、要支援・事業対象者と要介護1・2では「特になし」が最も多く、要支援・事業対象者では30.6%、要介護度1・2では27.4%となっています。

一方、要介護3～5では「介護用品支給（紙おむつ等）」が27.5%で最も多く、以下「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が20.3%、「掃除・洗濯」が14.5%、「緊急時通報システム」が13.0%などとなっています。

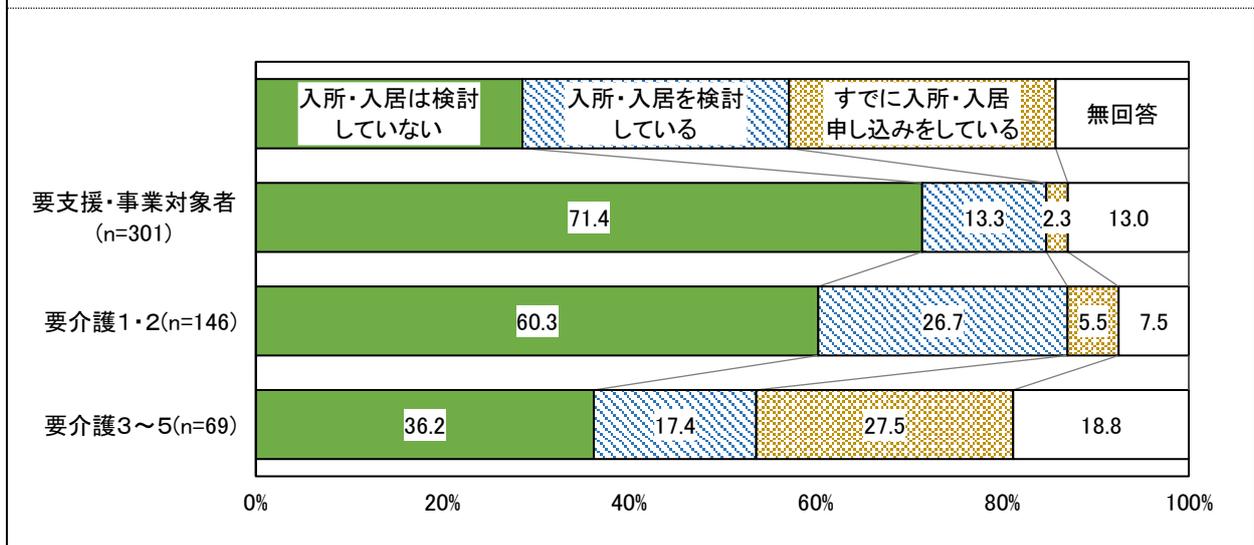
要支援・事業対象者では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が23.3%で次いで多く、以下「緊急時通報システム」が20.9%、「外出同行（通院、買い物など）」が18.9%、要介護1・2では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」と「外出同行（通院、買い物など）」が21.2%で次いで多くなっています。

全体的に「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」や「外出同行（通院・買い物など）」といった外出支援を必要とする割合が高くなっています。

また、要支援・事業対象者から要介護3～5にかけて、「介護用品支給（紙おむつ等）」が多くなっています。

(10) 施設等への入所・入居の検討状況

現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つを選択）
 【在宅介護実態調査：A票・問10／要支援調査：問9（5）】



施設等への入所・入居の検討状況について、いずれも「入所・入居は検討していない」が最も多く、要支援・事業対象者では71.4%、要介護1・2では60.3%、要介護3～5では36.2%となっています。

「すでに入所・入居申し込みをしている」との回答は、要支援・事業対象者では2.3%、要介護1・2では5.5%、要介護3～5では27.5%で、要支援・事業対象者から要介護3～5にかけて多くなっています。

(11) 現在抱えている傷病

ご本人が、現在抱えている傷病について、ご回答ください（複数選択可）

【在宅介護実態調査：A票・問11／要支援調査：問7（7）】

単位:%

	眼科・耳鼻科疾患 (視覚・聴覚障害を伴うもの)	筋骨格系疾患 (骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)	心疾患 (心臓病)	腎疾患 (透析)	糖尿病	脳血管疾患 (脳卒中)	呼吸器疾患	悪性新生物 (がん)	パーキンソン病
要支援・事業対象者(n=301)	33.2	27.2	20.3	15.3	13.6	11.3	7.0	5.3	4.3
要介護1・2(n=146)	26.7	19.9	17.8	2.7	17.8	11.6	7.5	7.5	2.7
要介護3～5(n=69)	10.1	21.7	15.9	1.4	14.5	20.3	10.1	2.9	1.4

	認知症	膠原病 (関節リウマチ含む)	変形性関節疾患	難病 (パーキンソン病を除く)	その他	なし	わからない	無回答
要支援・事業対象者(n=301)	2.7	0.0	0.0	0.0	66.4	3.0	0.0	4.0
要介護1・2(n=146)	33.6	2.7	13.0	3.4	22.6	2.1	1.4	2.1
要介護3～5(n=69)	39.1	1.4	8.7	0.0	14.5	1.4	2.9	11.6

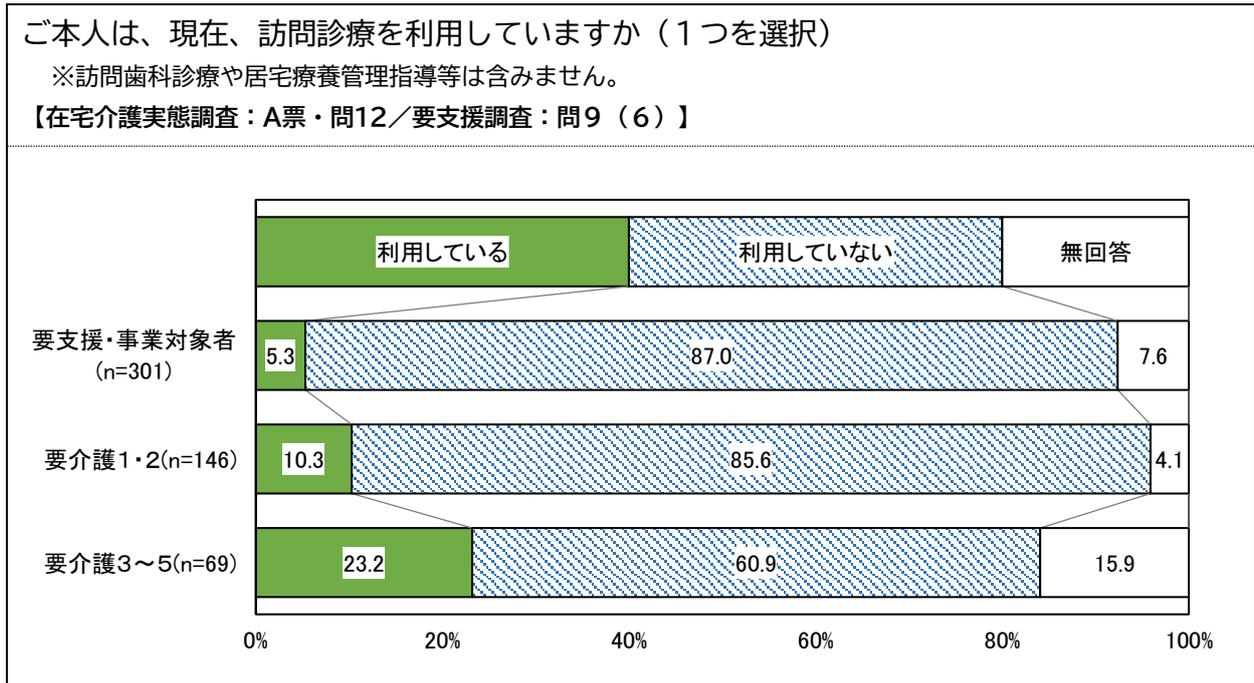
※要支援調査：現在治療中、または後遺症のある病気はありますか

現在抱えている傷病について、要支援・事業対象者では「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が33.2%で最も多く、以下「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が27.2%、「心疾患（心臓病）」が20.3%「腎疾患（透析）」が15.3%などとなっています。なお、「その他」の回答では、高血圧が大半を占めています。

一方、要介護1・2と要介護3～5では「認知症」が最も多く、要介護1・2では33.6%、要介護3～5では39.1%となっています。

以下、要介護1・2では「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が26.7%、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が19.9%、「心疾患（心臓病）」と「糖尿病」が17.8%、要介護3～5では「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が21.7%、「脳血管疾患（脳卒中）」が20.3%、「心疾患（心臓病）」が15.9%などとなっています。

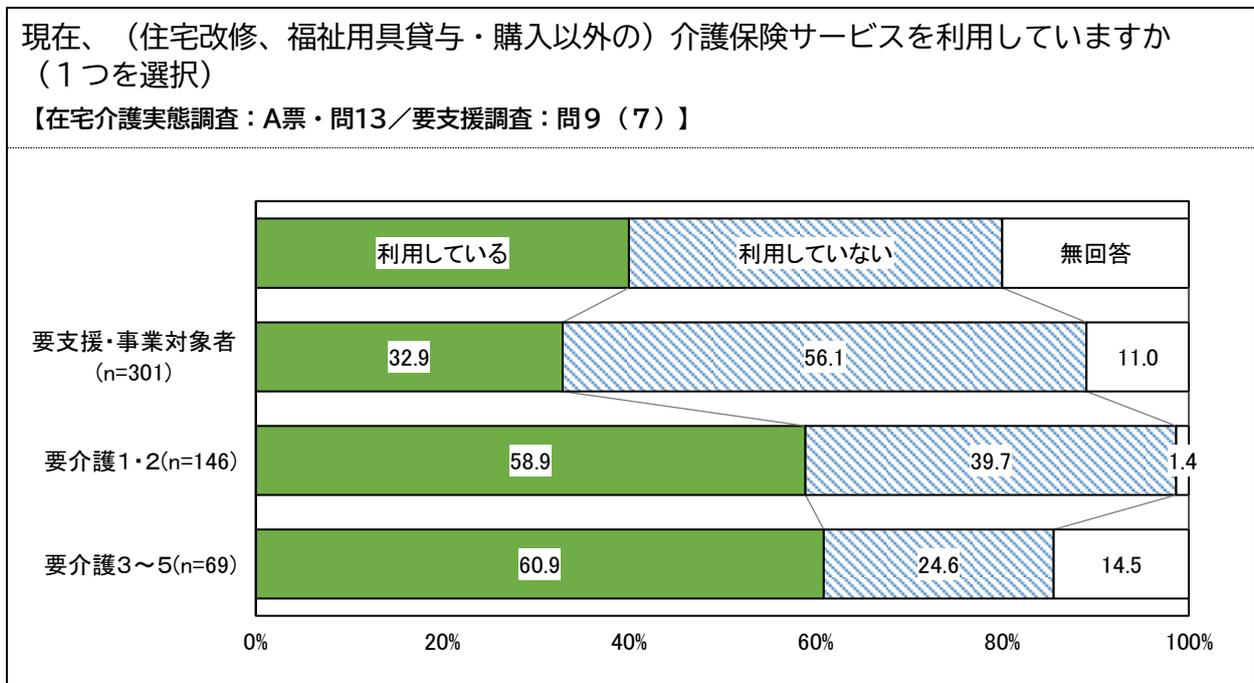
(12) 訪問診療の利用状況



訪問診療の利用状況について、いずれも「利用していない」が最も多く、要支援・事業対象者では87.0%、要介護1・2では85.6%、要介護3～5では60.9%となっています。

「利用している」との回答は、要支援・事業対象者から要介護3～5にかけて多くなっており、要介護3～5では23.2%となっています。

(13) 介護保険サービスの利用状況



介護保険サービスの利用状況について、要支援・事業対象者では「利用していない」が56.1%を占めています。

一方、要介護1・2と要介護3～5では「利用している」が過半数を占めており、要介護1・2では58.9%、要介護3～5では60.9%となっています。

(14) 介護保険サービスを利用していない理由

【(13)で「利用していない」を選んだ介護サービスを利用していない方】

介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（複数選択可）

【在宅介護実態調査：A票・問14／要支援調査：問9（7）-①】

	単位:%				
	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	家族が介護をするため 必要ない	サービスを受けたいが 手続きや利用方法が分からない	本人にサービス利用の 希望がない	利用したいサービスが 利用できない、身近にない
要支援・事業対象者(n=169)	67.5	12.4	11.2	8.9	3.6
要介護1・2(n=58)	43.1	12.1	5.2	15.5	0.0
要介護3～5(n=17)	5.9	5.9	5.9	0.0	0.0
	住宅改修、福祉用具貸与・ 購入のみを利用するため	利用料を支払うのが難しい	以前、利用していたサービスに 不満があった	その他	無回答
全体(n=244)	10.0	10.0	10.0	10.0	5.0
要支援・事業対象者(n=169)	3.0	2.4	1.2	4.7	10.1
要介護1・2(n=58)	6.9	6.9	0.0	12.1	13.8
要介護3～5(n=17)	0.0	0.0	0.0	41.2	41.2

介護保険サービスを利用していない理由について、要支援・事業対象者と要介護1・2では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が最も多く、要支援・事業対象者では67.5%、要介護1・2では43.1%となっています。

要介護3～5の「その他」の理由として、入院中であるという記載が多くなっています。

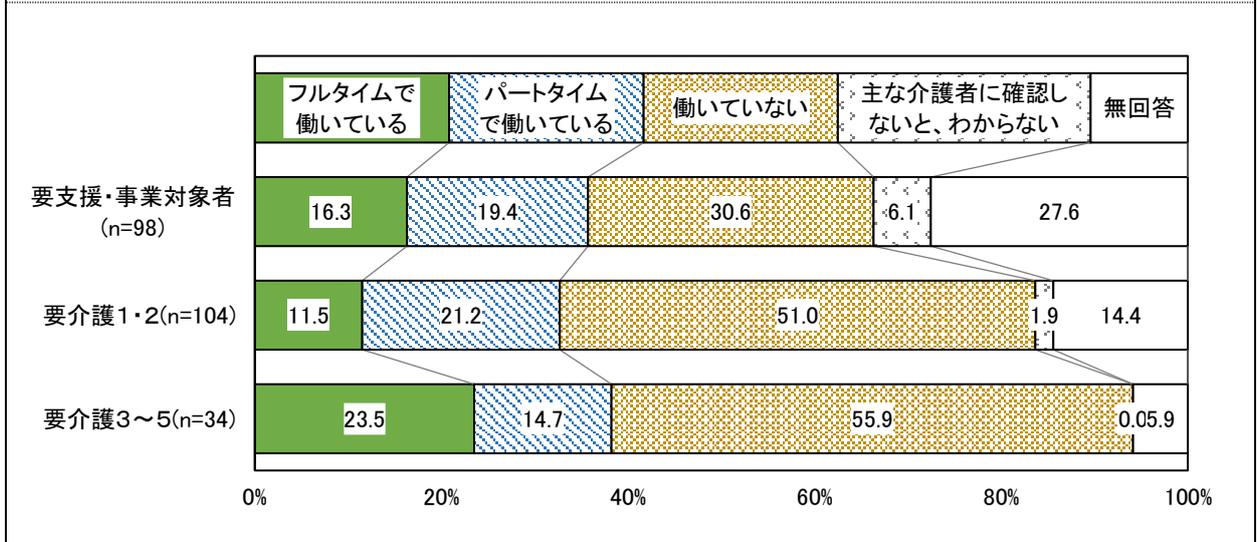
3 主な介護者について

(1) 主な介護者の勤務形態

主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」「嘱託」「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」「パートタイム」のいずれかを選択してください。

【在宅介護実態調査：B票・問1／要支援調査：問10（1）】



主な介護者の現在の勤務形態について、いずれも「働いていない」が最も多く、要支援・事業対象者では30.6%、要介護1・2では51.0%、要介護3～5では55.9%となっています。

要支援・事業対象者と要介護1・2では「パートタイムで働いている」が次いで多く、要支援・事業対象者では19.4%、要介護1・2では21.2%となっています。

一方、要介護3～5では「フルタイムで働いている」が次いで多く、23.5%となっています。

(2) 介護者の働き方の調整

【(1)で「フルタイムで働いている」または「パートタイムで働いている」と回答した現在働いている方】

主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか(複数選択可)

【在宅介護実態調査：B票・問2／要支援調査：問10(1)－①】

単位:%

	特に行っていない	介護のために、「休暇」を取りながら、働いている	介護のために、「労働時間を調整」しながら、働いている	介護のために、「その他の調整をしながら、働いている	介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
要支援・事業対象者(n=35)	48.6	20.0	17.1	11.4	0.0	5.7	2.9
要介護1・2(n=34)	35.3	26.5	20.6	23.5	5.9	2.9	0.0
要介護3～5(n=13)	15.4	30.8	23.1	23.1	15.4	0.0	0.0

介護者の働き方の調整について、要支援・事業対象者と要介護1・2では「特に行っていない」が最も多く、要支援・事業対象者では48.6%、要介護1・2では35.3%となっています。

要介護3～5では「介護のために、「休暇」を取りながら、働いている」が30.8%で最も多くなっています。

(3) 仕事と介護の両立のための支援

【(1)で「フルタイムで働いている」または「パートタイムで働いている」と回答した現在働いている方】

主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで選択可）

【在宅介護実態調査：B票・問3／要支援調査：問10（1）-②】

単位:%

	介護休業・介護休暇等の制度の充実	労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）	制度を利用しやすい職場づくり	介護をしている従業員への経済的な支援	働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）	仕事と介護の両立に関する情報の提供
要支援・事業対象者(n=35)	45.7	25.7	22.9	22.9	14.3	14.3
要介護1・2(n=34)	41.2	35.3	23.5	32.4	8.8	2.9
要介護3～5(n=13)	15.4	30.8	15.4	15.4	15.4	15.4

	介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	その他	特になし	自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
要支援・事業対象者(n=35)	5.7	0.0	14.3	8.6	11.4	8.6
要介護1・2(n=34)	8.8	0.0	20.6	11.8	0.0	2.9
要介護3～5(n=13)	7.7	0.0	38.5	0.0	0.0	7.7

仕事と介護の両立のための支援について、要支援・事業対象者と要介護1・2では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が最も多く、要支援・事業対象者では45.7%、要介護1・2では41.2%となっています。

また、ともに「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が次いで多く、要支援・事業対象者では25.7%、要介護1・2では35.3%となっています。

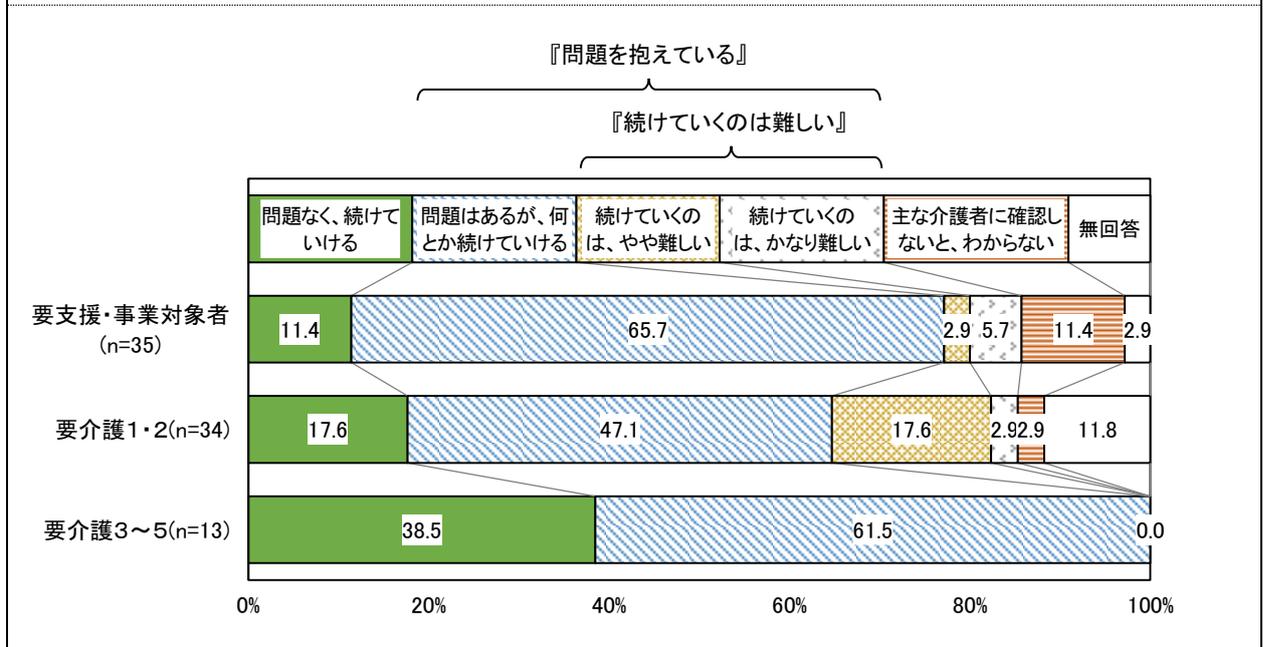
要介護3～5では「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が30.8%で最も多くなっています。

(4) 主な介護者の仕事と介護の両立

【(1)で「フルタイムで働いている」または「パートタイムで働いている」と回答した現在働いている方】

主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）

【在宅介護実態調査：B票・問4／要支援調査：問10（1）-③】



主な介護者の仕事と介護の両立について、いずれも「問題はあるが、何とか続けていける」が最も多く、要支援・事業対象者では65.7%、要介護1・2では47.1%、要介護3～5では61.5%となっています。

一方、『続けていくのは難しい』との回答は、要支援・事業対象者では8.6%、要介護1・2では20.5%となっています。

また、問題の有無でみると、『問題を抱えている』との回答は、要支援・事業対象者では74.3%、要介護1・2では67.6%を占めています。

(5) 主な介護者が不安に感じる介護

現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）

【在宅介護実態調査：B票・問5／要支援調査：問10（2）】

	単位:%									
	その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等)	外出の付き添い、送迎等	認知症状への対応	食事の準備 (調理等)	入浴・洗身	諸手続き 金銭管理や生活面に必要な	夜間の排泄	日中の排泄	服薬	
要支援・事業対象者(n=301)	18.3	17.6	14.6	13.6	12.6	9.6	9.0	6.0	5.6	
要介護1・2(n=104)	16.3	26.9	26.9	17.3	30.8	16.3	22.1	17.3	12.5	
要介護3～5(n=34)	14.7	26.5	32.4	8.8	26.5	11.8	29.4	23.5	11.8	
	屋内の移乗・移動	医療面での対応 (経管栄養、ストーマ等)	食事の介助 (食べる時)	身だしなみ (洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	その他	不安に感じていることは、 特になし	主な介護者に確認しないと、 わからない	無回答	
要支援・事業対象者(n=301)	5.0	5.0	3.0	3.0	2.3	2.0	10.0	10.6	34.2	
要介護1・2(n=104)	10.6	7.7	4.8	6.7	8.7	4.8	5.8	1.9	18.3	
要介護3～5(n=34)	14.7	8.8	5.9	5.9	2.9	5.9	8.8	2.9	5.9	

主な介護者が不安に感じる介護について、要支援・事業対象者では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が18.3%で最も多く、以下「外出の付き添い、送迎等」が17.6%、「認知症状への対応」が14.6%、「食事の準備（調理等）」が13.6%などとなっています。

要介護1・2では「入浴・洗身」が30.8%で最も多く、以下「外出の付き添い、送迎等」と「認知症状への対応」が26.9%、「夜間の排泄」が22.1%などとなっています。

要介護3～5では「認知症状への対応」が32.4%で最も多く、以下「夜間の排泄」が29.4%、「外出の付き添い、送迎等」と「入浴・洗身」が26.5%などとなっています。

IV 資料編

【介護予防・福祉活動課ニース課】

みやしろ健康福祉プラン高齢者編策定に伴うアンケート調査

ご協力のお願い

市民の皆様には日ごろから町政発展のため、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。
この調査は、65歳以上の市民の皆様の中から1,000名を無作為に抽出し、日頃の生活状況や社会参加・支え合いに対する意識等を把握し、今後の介護サービスの整備や高齢者福祉施策のあり方などをまとめた「宮代町高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画」を策定するうえでの基礎資料として活用するために実施するものです。
ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理し、調査目的以外に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の進捗をご理解いただき、ご協力賜りますようお願いいたします。

令和5年1月 宮代町

記入に関するお願い

○ご本人おのりでの回答が難しい場合は、ご家族やまわりの方にお手伝いいただくか、ご本人の意見を聞いた上でご家族やまわりの方が代わりにご記入ください。
○調査票を記入する際は、各項目で該当する数字に○をつけてください。
○数字を記入する際は右詰め（例「0」[2]）で記入ください。
○「その他（ ）」を選んだ場合は、かつに具体的な内容をご記入ください。
○調査票、返信用封筒には住所、氏名を記入する必要はありません。
○記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、**令和5年2月15日（水）**までに投函してください。

個人情報取扱について

この調査は、効果的な介護予防施策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、計画策定の目的以外には利用いたしません。
また、当該情報については、宮代町で適切に管理いたします。

▼ご不明な点などがございましたら、お手数ですが、下記までお問い合わせ下さい▼

宮代町 健康介護課 高齢者支援担当 〒345-8504 埼玉県南埼玉郡宮代町五反田1-4-1
 電話 0460-34-1111（内線331） 川土・日・祝日を除く8時30分～17時15分

記入日	令和 5 年 月 日
-----	------------

調査票を記入されたのはどなたですか（1つに○）

1. おてのご本人が記入
2. ご家族が記入（おてのご本人からみた性別） 1 3. その他

問1 あなたの家族や生活状況について

(1) あなたの年齢をお教えてください（1つに○）

1. 65～69歳 2. 70～74歳 3. 75～79歳 4. 80～84歳
5. 85～89歳 6. 90～94歳 7. 95～99歳 8. 100歳以上

(2) あなたの性別をお教えてください（1つに○）

1. 男性 2. 女性

(3) あなたがお住まいの中学校区をお教えてください（1つに○）

1. 宮前中学校区 2. 宮崎中学校区 3. 自前中学校区
4. わからない（お住まいの地区 地区）

(4) 家族構成をお教えてください（1つに○）

1. 1人暮らし 2. 夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）
3. 夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下） 4. 妻子・娘との2世帯
5. その他

(5) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか（1つに○）

1. 介護・介助は必要ない
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
3. 現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）

【(5)において「2」または「3」を選んだ介護・介助が必要とする方のみ】

(5) 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか（いくつでも）

1. 脳卒中（脳出血・脳梗塞等） 2. 心臓病
3. がん（悪性新生物） 4. 呼吸器の病気（肺炎・肺がん等）
5. 関節の病気（リウマチ等） 6. 認知症（アルツハイマー病等）
7. パーキンソン病 8. 糖尿病 9. 腎疾患（透析）
10. 視覚・聴覚障害 11. 骨折・転倒 12. 痔核脱肛
13. 高齢による衰弱 14. その他（ ） 15. 不明

1

【(5)において「3」を選んだ介護を受けている方への質問】

(5) 一主にならぬから介護・介助を受けていますか（いくつでも）

1. 配偶者（夫・妻） 2. 息子 3. 娘
4. 子の配偶者 5. 孫 6. 兄弟・姉妹
7. 介護サービスのヘルパー 8. その他（ ）

(6) あなたは、どなたかの介護・介助をしていますか（いくつでも）

1. 配偶者 2. 娘 3. 兄弟姉妹
4. 子 5. その他（ ） 6. していない

(7) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか（1つに○）

1. 大変厳しい 2. やや厳しい 3. 平々
4. ややゆとりがある 5. 大変ゆとりがある

(8) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか（1つに○）

1. 持家（一戸建て） 2. 持家（集合住宅） 3. 公営賃貸住宅
4. 民間賃貸住宅（一戸建て） 5. 民間賃貸住宅（集合住宅） 6. 借家
7. その他

(9) 新型コロナウイルス感染症の拡大により、あなたの生活にはどのような影響がありましたか（いくつでも）

1. 仕事をやめた（なくなった） 2. 仕事をする日数や時間数が減った
3. 地域の活動をやめた（中止になった） 4. 地域の活動をする日数や時間数が減った
5. 旅行や買い物などで外出することが減った 6. 友人・知人や近所付き合いが減った
7. 訪ねている家族と会う機会が減った 8. 家族と過ごす時間が減った
9. 医療を受ける回数（通院回数など）が増えた 10. 医療費の支出が増えた
11. 介護サービスを受ける回数が増えた 12. 電話やオンラインでの連絡が増えた
13. その他（ ） 14. 特に影響はなかった

問2 からだを動かすことについて

(1) 階段をすずりや壁をつたわらずに昇っていますか（1つに○）

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか（1つに○）

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(3) 15分続けて歩いていますか（1つに○）

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか（1つに○）

1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない

(5) 転倒に対する不安は大きいですか（1つに○）

1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない

(6) 週に1回以上は外出していますか（1つに○）

1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2～4回 4. 週5回以上

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか（1つに○）

1. とても減っている 2. 減っている 3. あまり減っていない 4. 減っていない

(8) 外出を控えていますか（1つに○）

1. はい 2. いいえ

【(8)において「1」を選んだ外出を控えている方のみ】

(8) 一外出を控えている理由は、次のどれですか（いくつでも）

1. 病気 2. 障がい（脳卒中の後遺症など） 3. 足腰などの痛み
4. トイレの心配（失禁など） 5. 耳の障がい（聞こえの悪化など） 6. 目の障がい
7. 外での楽しみがない 8. 経済的に出られない 9. 交通手段がない
10. 感染症対策 11. その他（ ）

(9) 外出する際の移動手段は何ですか（いくつでも）

1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク
4. 自動車（自分で運転） 5. 自動車（人に乗せてもらう） 6. 電車
7. 路線バス 8. 病院や施設のバス 9. 車いす
10. 電動車いす（カート） 11. 歩行者・シルバーカー 12. タクシー
13. その他（ ）

問3 食べることについて

(1) 身長・体重をお教えてください（それぞれ数値を記入）

身長 cm 体重 kg

3

(2) 半年前に比べて悪いものが直ぐに良くなりましたか (1つに○)
1. はい 2. いいえ
(3) お酒や汁物等でむせることがありますか (1つに○)
1. はい 2. いいえ
(4) 口の渇きが臭くなりますか (1つに○)
1. はい 2. いいえ
(5) 歯磨き(人にやってもらう場合も含む) を毎日していますか (1つに○)
1. はい 2. いいえ
(6) 歯の歯と入れ歯の利用状況をお教えてください (1つに○) 【個人の歯の本数は、親知らずを含めて32本です】
1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし 3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし
(6) -③痛み合わせはありますか (1つに○)
1. はい 2. いいえ
【(6)で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」または「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」を選んだ入れ歯を利用している方のみ、 (6) -②毎日入れ歯の手入れをしていますか (1つに○)
1. はい 2. いいえ
(7) 6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか (1つに○)
1. はい 2. いいえ
(8) どうかと食事をとる機会がありますか (1つに○)
1. 毎日ある 2. 週に何回かある 3. 月に何回かある 4. 年に何回かある 5. ほとんどない

問4 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じますか (1つに○)
1. はい 2. いいえ
(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか (1つに○)
1. はい 2. いいえ

4

(3) 今日は何月何日かわからない場合がありますか (1つに○)
1. はい 2. いいえ
(4) バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可) (1つに○)
1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか (1つに○)
1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(6) 自分で食事の用意をしていますか (1つに○)
1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(7) 自分で請求書の支払いをしていますか (1つに○)
1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか (1つに○)
1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(9) 年会などの書類 (役所や病院などに出す書類) が書けますか (1つに○)
1. はい 2. いいえ
(10) 新聞を読んでいますか (1つに○)
1. はい 2. いいえ
(11) 本や雑誌を読んでいますか (1つに○)
1. はい 2. いいえ
(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか (1つに○)
1. はい 2. いいえ
(13) 友人の家を訪ねていますか (1つに○)
1. はい 2. いいえ
(14) 家族や友人の相談に乗っていますか (1つに○)
1. はい 2. いいえ
(15) 病人を見舞うことができますか (1つに○)
1. はい 2. いいえ
(16) 若い人に自分から話しかけることがありますか (1つに○)
1. はい 2. いいえ

5

(17) 趣味はありますか (1つに○)
1. 趣味あり → (具体的に:) 2. 趣味がない
(18) 生きがいがありますか (1つに○)
1. 生きがいあり → (具体的に:) 2. 生きがいがない

問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか (①-⑩それぞれ1つに○)	週 4日以上	週 2~3回	週 1回	月 1~3回	年に 数回	参加して いない
①ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
②スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤介護予防や健康づくりのための 週いのち (いきいき百歳体操など)	1	2	3	4	5	6
⑥地域交流サロン	1	2	3	4	5	6
⑦老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑧町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑨収入のある仕事 (シルバー人材センターを含む)	1	2	3	4	5	6
(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域 づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか (1つ に○)						
1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している						
(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域 づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思 いますか (1つに○)						
1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している						

6

問6 あなたとまわりの人の「たすけあい」について

(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人 (いくつでも)
1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他() B. そのような人はいない
(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人 (いくつでも)
1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他() B. そのような人はいない
(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人 (いくつでも)
1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他() B. そのような人はいない
(4) 反対に、看病や世話をしてくれる人 (いくつでも)
1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他() B. そのような人はいない
(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに頼める相手を教えてください (いくつでも)
1. 自治会・町内会・老人クラブ 2. 社会福祉協議会 3. 民生委員 4. ケアマネジャー 5. 医師・歯科医師・看護師 6. 地域包括支援センター・役場 7. その他() B. そのような人はいない
(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか (1つに○)
1. 毎日ある 2. 週に何回かある 3. 月に何回かある 4. 年に何回かある 5. ほとんどない
(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたが (1つに○) 【同じ人には何回会っても1人と数えることとします】
1. 0人 (いない) 2. 1~2人 3. 3~5人 4. 6~9人 5. 10人以上
(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか (いくつでも)
1. 近所・同じ地域の人 2. 幼なじみ 3. 学生時代の友人 4. 仕事での同僚・元同僚 5. 趣味や関心があり友人 6. ボランティア等の活動での友人 7. その他 8. いない
(9) 友人・知人とどのようにコミュニケーションをとっていますか (いくつでも)
1. 直接対談 2. 電話 3. メール 4. LINEなどのSNS 5. その他() 6. とってない

7

問7 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか (1つに○)

1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない

(2) あなたは、現在の生活ペースで満足していますか (あてはまる点数1つに○)

とても不幸 ← 0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点 → とても幸せ

(3) この1か月間、気分がどんより、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか (1つに○)

1. はい 2. いいえ

(4) この1か月間、どうしても物事にに対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか (1つに○)

1. はい 2. いいえ

(5) お酒は飲みますか (1つに○)

1. ほぼ毎日飲む 2. 時々飲む 3. ほとんど飲まない 4. もともと飲まない

(6) タバコは吸っていますか (1つに○)

1. ほぼ毎日吸っている 2. 時々吸っている 3. 吸っていたがやめた 4. もともと吸っていない

(7) 現在治療中、または経過観察のある病気はありますか (いくつでも)

1. ない 2. 高血圧 3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)
 4. 心臓病 5. 糖尿病 6. 高脂血症 (脂質異常)
 7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等) 8. 腎臓・肝臓・胆のうの病気
 9. 腎臓・前立腺の病気 10. 骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)
 11. 外傷 (転倒・骨折等) 12. がん (悪性新生物) 13. 血液・免疫の病気
 14. うつ病 15. 認知症(アルツハイマー病等) 16. パーキンソン病
 17. 目の病気 18. 耳の病気 19. その他 ()

(8) 新型コロナウイルス感染症の拡大により、心身に不調を感じることはありますか。(1つに○)

1. はい 2. いいえ 3. わからない

【(8)で「1. はい」と回答した方のみ】

(8) 一つどのような不調を感じますか。(いくつでも)

1. 気分の落ち込み 2. 胸の痛み 3. 目の疲れ 4. 頭痛
 5. 不眠・睡眠不足 6. めまい・しびれ 7. 動機・意欲低下 8. 血圧の上昇
 9. 食欲不振 10. 倦怠感・だるさ 11. 精神的な不安 12. その他 ()

8

問8 認知症や成年後見制度について

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか (1つに○)

1. はい 2. いいえ

(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか (1つに○)

1. はい 2. いいえ

(3) 成年後見制度をご存知ですか (1つに○)

1. 知っている 2. 聞いたことがある 3. 知らない

(4) あなた自身が認知症などで判断が十分にできなくなったとき、「成年後見制度」を利用したいと思えますか (1つに○)

【成年後見制度とは、判断力の不十分になった方に対し、家庭裁判所で選任した成年後見人が、本人の代理人として財産の管理や契約の手続きなどを行う制度です】

1. はい 2. いいえ 3. わからない

【(4)で「2. いいえ」と回答した方のみ】

(4) 一つ「成年後見制度」を利用したくない理由は何ですか (いくつでも)

1. 後見人でなくても家族がいる
 2. 費用がどのくらいかかるから心配
 3. 家庭裁判所に申し立てることに抵抗がある
 4. 手続きが大変そう
 5. 後見人になって欲しい人が見当たらない
 6. 他人 (家族を含む) に財産などを任せると不安がある
 7. 家族・親族との信頼関係が崩れるおそれがある
 8. どのようなときに利用して良いかわからない
 9. その他 ()

問9 福祉サービスや福祉施設について

(1) 町の介護保険サービスは充実していると認めますか (1つに○)

1. とても充実している 2. まあ充実している
 3. あまり充実していない 4. まったく充実していない 5. わからない

(2) 介護保険サービスや介護保険制度についてどの程度ご存じですか (1つに○)

1. よく知っている 2. ある程度知っている
 3. あまり知らない 4. まったく知らない

9

(3) 今後の在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス (現在利用して、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む) について、ご回答ください (いくつでも)

【介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます】

1. 配食 2. 調理
 3. 掃除・洗濯 4. 買物 (宅配は含まない)
 5. プレ出 6. 外出同行 (通院・買い物など)
 7. 相談サービス (介護・福祉タクシー等) 8. 見守り、声かけ
 9. サロンなどの定期的な集いの場 10. 緊急呼出システム
 11. 介護用品支給 (紙おむつ等) 12. その他 ()
 13. 特になし

(4) 将来、あなたが医療や介護が必要となった場合、生活暮らし続けていく場所として、ご希望の場所はありますか (1つに○)

1. 自宅 2. 病院などの医療施設
 3. 老人ホームなどの福祉施設 4. よくわからない

(5) 高齢者福祉に関する情報入手するにあたって、利用しやすいものはどれですか (いくつでも)

1. テレビ 2. 新聞
 3. ラジオ 4. 雑誌・書籍
 5. パソコン 6. スマートフォン・タブレット
 7. その他 () 8. 特になし

(6) あなたが知っている近所での集いや飲み会などを教えてください。(いくつでも)

1. 隔だまりサロン 2. 地域交流サロン
 3. 地域町人会 4. ボランティアセンター
 5. みやしろ大学 6. 純じょう交流会
 7. すてっぴ宮代 8. シルバー人材センター
 9. おたっしや元氣塾 10. みやしろ健康マイレージ
 11. 和e輪e 12. 老人クラブ
 13. 移動スーパー 14. その他 ()
 15. 特になし

10

(7) 次の1～5の項目は、町の現行計画で基本施策として挙げられており、それぞれの基本施策について、この3年間の評価と今後の重要度をお答えください (それぞれ1つに○)

	【A 現在の評価】					【B 今後の重要度】				
	満足 やや満足	やや不満足	不満足	わからない	わからない	高い	やや高い	低い	わからない	わからない
①地域福祉の推進 意識啓発、情報提供、福祉教育、 近隣関係の整備、担い手の育成 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
②日常生活への支援 在宅サービスの整備、移動支援、 相談体制の整備、住まひの確保 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③生きがいづくりへの支援 活動機会の充実、防災機会の拡大 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
④安心と安全の確保 公共施設の整備、公共交通の整備、 交通安全、防災・防災対策 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑤健康づくりの推進 生活習慣病等の予防、フレイル予防、 生涯スポーツ、レクリエーション など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

●介護保険制度・高齢者福祉施策へのご意見などがありましたら、ご自由にお書きください

■ 以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。 ■

ご記入いただいた調査票は、封筒の返信用封筒 (切手不要) に入れて、令和5年2月15日(水)までに返函してください。

11

【調査実施者・調査対象者】

みやしろ健康福祉プラン高齢者編策定に伴うアンケート調査

ご協力をお願い

市民の皆様には日ごろから町政発展のため、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。
この調査は、要支援認定を受けられている方及び事業対象者の方に、日頃の生活状況や社会参加・支
え合いに対する意識等をお聞きし、今後の介護サービスの整備や高齢者福祉施策のあり方などをまとめ
た「近代高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画」を策定するうえでの基礎資料として活用
するために実施するものです。
ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理し、調査目的以外に使用することはありません。お
忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の進捗をご理解いただき、ご協力賜りますようお願いいたします。

令和5年1月 宮代町

記入に際してのお願い

○ご本人おひとりの回答が難しい場合は、ご家族やまわりの方にお手伝いいただき、ご本人の
意見を聞いた上でご家族やまわりの方が代わりにご記入ください。
○調査票を記入する際は、各項目で該当する数字に○をつけてください。
○数字を記入する欄は右詰め（例 0 6 2 kg）でご記入ください。
○「その他（ ）」を選んだ場合は、かつこ内に具体的な内容をご記入ください。
○調査票、返信用封筒には住所、氏名を記入する必要はありません。
○記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、
令和5年2月15日（水）までに投函してください。

個人情報取扱について

この調査は、効果的な介護予防施策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた
情報につきましては、計画策定の目的以外には利用いたしません。
調査結果の分析に当たり、町が保有するあなたの要介護認定データを活用させていただきますの
で、あらかじめご承知置きください。右下にある番号は、データを連結させるためのものです。
また、当該情報については、宮代町で適切に管理いたします。

▼ご不便な点がございましたら、お手数ですが、下記までお問い合わせ下さい▼

宮代町 健康介護課 高齢者支援担当 〒345-8504 埼玉県南埼玉郡宮代町豊原1-4-1
 電 話 0480-24-1111（内線 381） ※土・日・祝日を除く8時30分～17時15分

記 入 日	令 和 5 年 1 月 日
調査票を記入されたのはどなたですか（1つに○）	
1. 調査対象者本人	2. 主な介護者となっている家族・親族
3. 主な介護者以外の家族・親族	4. 調査対象者のケアマネジャー
5. その他（ ）	

問1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成をお答えください（1つに○）

1. 1人暮らし	2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)
3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4. 息子・娘との2世帯
5. その他	

(2) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか（1つに○）

1. 持家（一戸建て）	2. 持家（集合住宅）	3. 公営賃貸住宅	4. 民間賃貸住宅（一戸建て）
5. 民間賃貸住宅（集合住宅）	6. 借家	7. その他	

(3) あなたは、どなたかの介護・介助をしていますか（いくつでも）

1. 配偶者	2. 親	3. 兄弟姉妹	4. 子	5. その他（ ）	6. していない
--------	------	---------	------	-----------	----------

(4) あなたは、暮後の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか（1つに○）

1. 介護・介助は必要ない (15) 入	
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	} 〔4〕～16～を先にご回答ください
3. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない	
4. 週に1～2日ある	
5. 週に3～4日ある	
6. ほぼ毎日ある	

〔4〕において「2」～「6」を選んだ介護・介助を必要とする方のみ

(4) -1介護・介助が必要になった主な原因はなんですか（いくつでも）

1. 脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	2. 心臓病	
3. がん（悪性新生物）	4. 呼吸器の病気（肺炎腫・肺炎等）	
5. 関節の病気（リウマチ等）	6. 認知症（アルツハイマー病等）	
7. パーキンソン病	8. 糖尿病	9. 腎疾患（透析）
10. 視覚・聴覚障害	11. 骨折・転倒	12. 骨髄損傷
13. 高齢による衰弱	14. その他（ ）	15. 不明

1

〔4〕において「2」～「6」を選んだ介護・介助を必要とする方のみ		
(4) -2主にどなたから介護・介助を受けていますか（いくつでも）		
1. 配偶者(夫・妻)	2. 息子	3. 娘
4. 子の配偶者	5. 孫	6. 兄弟・姉妹
7. 介護サービスのヘルパー	8. その他（ ）	
(4) -3主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つに○）		
1. 男性	2. 女性	
(4) -4主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つに○）		
1. 20歳未満	2. 20代	3. 30代
4. 40代	5. 50代	6. 60代
7. 70代	8. 80歳以上	9. わからない
(4) -5現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（いくつでも）		
1. 日中の徘徊	2. 夜間の徘徊	
3. 食事の介助（食べづめ等）	4. 入浴・洗身	
5. 身だしなみ（洗髪・歯磨き等）	6. 衣類の着脱	
7. 室内の移動・移動	8. 外出の付き添い、送迎等	
9. 薬薬	10. 認知症への対応	
11. 医療費での対応（経費集め、ストーマ等）	12. 食事の準備（調理等）	
13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	14. 金銭管理や生活面で必要な手続き	
15. その他（ ）	16. わからない	
(5) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか（1つに○）		
1. 大変楽しい	2. やや楽しい	3. ふつう
4. やや不向き	5. 大変不向き	
(6) ご家族やご親族の中で、ご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（いくつでも）※現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません。自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。		
1. 主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）		
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）		
3. 主な介護者が転職した		
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した		
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない		
6. わからない		

2

問2 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますが(1つに○)

1. できるし、している 2. できるだけしていない 3. できない

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますが(1つに○)

1. できるし、している 2. できるだけしていない 3. できない

(3) 15分位続けて歩いていますか(1つに○)

1. できるし、している 2. できるだけしていない 3. できない

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか(1つに○)

1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない

(5) 転倒に対する不安は大いですか(1つに○)

1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない

(6) 週に1回以上は外出していますか(1つに○)

1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2~4回 4. 週5回以上

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか(1つに○)

1. とても減っている 2. 減っている 3. あまり減っていない 4. 減っていない

(8) 外出を控えていますか(1つに○)

1. はい 2. いいえ

【(8) において「1. はい」を満点で外出を控えている方のみ】

(8) -1外出を控えている理由は、次のどれですか(いくつでも)

1. 病気 2. 障がい(脳卒中の後遺症など) 3. 足腰などの痛み
4. トイレの心配(失禁など) 5. 耳の障がい(聞こえの困難など) 6. 目の障がい
7. 外での楽しみがない 8. 経済的に出られない 9. 交通手段がない
10. 感染症対策 11. その他()

(9) 外出する際の移動手段は何ですか(いくつでも)

1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク
4. 自動車(自分で運転) 5. 自動車(人に乗せてもらう) 6. 電車
7. 路線バス 8. 病院や施設のバス 9. 車いす
10. 電動車いす(カート) 11. 歩行者・シルバーカー 12. タクシー
13. その他()

3

問3 食べることについて

(1) 身長・体重をお教えください(それぞれ数値を記入)

身長 cm 体重 kg

(2) 半年前に比べて若いものが食べにくくなりましたか(1つに○)

1. はい 2. いいえ

(3) お酒や汁物等でむせることがありますか(1つに○)

1. はい 2. いいえ

(4) 口の渾さが気になりますか(1つに○)

1. はい 2. いいえ

(5) 歯磨き(人によってもらう場合も含む)を毎日していますか(1つに○)

1. はい 2. いいえ

(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください(1つに○)
【成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です】

1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

(6) -1注視み合わせは良いですか(1つに○)

1. はい 2. いいえ

【(6) で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」または「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」を満点で入れ歯を利用している方のみ】

(6) -2注視み合わせは良いですか(1つに○)

1. はい 2. いいえ

(7) 6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか(1つに○)

1. はい 2. いいえ

(8) どのような食事とちにする機会はありますか(1つに○)

1. 毎日ある 2. 週に何回かある 3. 月に何回かある
4. 年に何回かある 5. ほとんどない

4

問4 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じますか(1つに○)

1. はい 2. いいえ

(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか(1つに○)

1. はい 2. いいえ

(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか(1つに○)

1. はい 2. いいえ

(4) バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)(1つに○)

1. できるし、している 2. できるだけしていない 3. できない

(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか(1つに○)

1. できるし、している 2. できるだけしていない 3. できない

(6) 自分で食事の用意をしていますか(1つに○)

1. できるし、している 2. できるだけしていない 3. できない

(7) 自分で請求書の支払いをしていますか(1つに○)

1. できるし、している 2. できるだけしていない 3. できない

(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか(1つに○)

1. できるし、している 2. できるだけしていない 3. できない

(9) 年金などの書類(役場や病院などに提出書類)が置けますか(1つに○)

1. はい 2. いいえ

(10) 新聞を読んでいますか(1つに○)

1. はい 2. いいえ

(11) 本や雑誌を読んでいますか(1つに○)

1. はい 2. いいえ

(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか(1つに○)

1. はい 2. いいえ

(13) 友人の家を訪ねていますか(1つに○)

1. はい 2. いいえ

5

(14) 家族や友人の相談にのっていますか(1つに○)

1. はい 2. いいえ

(15) 病人を見舞うことができますか(1つに○)

1. はい 2. いいえ

(16) 若い人に自分から話しかけることができますか(1つに○)

1. はい 2. いいえ

(17) 趣味はありますか(1つに○)

1. 趣味あり ⇒ (具体的に:)
2. 趣味がない

(18) 生きがいはありますか(1つに○)

1. 生きがいあり ⇒ (具体的に:)
2. 生きがいがない

問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

【注一】会それぞれ(1つに○)	週 4回以上	週 2~3回	週 1回	月 1~3回	年に 数回	参加して いない
①ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
②スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④学童・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤介護予防や健康づくりのための 集いの場(いきいき百歳体操など)	1	2	3	4	5	6
⑥地域交流サロン	1	2	3	4	5	6
⑦老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑧町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑨収入のある仕事 (シルバー人材センターを含む)	1	2	3	4	5	6

6

- (2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか(1つに〇)
1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している
- (3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか(1つに〇)
1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

問6 あなたとまわりの人の「たすけあい」について

- (1) あなたの心配事や悩み(ぐち)を聞いてくれる人(いくつでも)
1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣 6. 友人 7. その他() 8. そのような人はいない
- (2) 反対に、あなたが心配事や悩み(ぐち)を聞いてあげる人(いくつでも)
1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣 6. 友人 7. その他() 8. そのような人はいない
- (3) あなたが病気で数日入院したときに、看病や世話をしてくれる人(いくつでも)
1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣 6. 友人 7. その他() 8. そのような人はいない
- (4) 反対に、看病や世話をしてくれる人(いくつでも)
1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣 6. 友人 7. その他() 8. そのような人はいない
- (5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください(いくつでも)
1. 自治会・町内会・老人クラブ 2. 社会福祉協議会 3. 民生委員
4. ケアマネジャー 5. 医師・歯科医師・看護師 6. 地域包括支援センター・役所
7. その他() 8. そのような人はいない
- (6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか(1つに〇)
1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある
4. 年に何度かある 5. ほとんどない

7

- (7) この1か月間、知人の友人・知人と会いましたが(1つに〇)
【同じ人には何回会っても1人と数えることとします】
1. 0人(いない) 2. 1-2人 3. 3-5人
4. 6-9人 5. 10人以上
- (8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか(いくつでも)
1. 近所・同じ地域の人 2. 幼なじみ 3. 学生時代の友人
4. 仕事での同僚・元同僚 5. 趣味や関心が同じ友人 6. ボランティア等の活動での友人
7. その他 8. いない
- (9) 友人・知人とどのようにコミュニケーションをとっていますか(いくつでも)
1. 直接対話 2. 電話 3. メール
4. LINEなどのSNS 5. その他() 6. とっていない

問7 健康について

- (1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか(1つに〇)
1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない
- (2) あなたは、現在の生活満足度ですか(あてはまる点数1つに〇)
- とても
満足
- 0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点
- (3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか(1つに〇)
1. はい 2. いいえ
- (4) この1か月間、どうしても物事に對して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか(1つに〇)
1. はい 2. いいえ
- (5) お酒は飲みますか(1つに〇)
1. ほぼ毎日飲む 2. 時々飲む 3. ほとんど飲まない
4. もともと飲まない
- (6) タバコは吸っていますか(1つに〇)
1. ほぼ毎日吸っている 2. 時々吸っている 3. 吸っていたがやめた
4. もともと吸っていない

8

- (7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか(いくつでも)
1. ない 2. 高血圧 3. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)
4. 心臓病 5. 糖尿病 6. 高脂血症(脂質異常)
7. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等) 8. 関節・神経・筋のうの病気
9. 腎臓・前立腺の病気 10. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節炎等)
11. 外傷(転倒・骨折等) 12. がん(悪性新生物) 13. 血液・免疫の病気
14. うつ病 15. 認知症(アルツハイマー病等) 16. パーキンソン病
17. 目の病気 18. 耳の病気 19. その他()

問8 認知症や成年後見制度について

- (1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか(1つに〇)
1. はい 2. いいえ
- (2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか(1つに〇)
1. はい 2. いいえ
- (3) 成年後見制度をご存知ですか(1つに〇)
1. 知っている 2. 聞いたことがある 3. 知らない
- (4) あなた自身が認知症などで判断力が十分にできなくなったとき、「成年後見制度」を利用したいと思えますか(1つに〇) ※成年後見制度とは、判断力の不十分になった方に対し、家庭裁判所で選任した成年後見人が、本人の代理人として財産の管理や契約の手続きなどを行う制度です。
1. はい 2. いいえ 3. わからない
- 【(4)で「2.、3.、いいえ」と回答した方のみ】
- (4) 一①「成年後見制度」を利用したくない理由は何か(いくつでも)
1. 後見人でなくても家族がいる
2. 費用がどのくらいかかるか心配
3. 家庭裁判所に申し立てることによる負担がある
4. 手続きが大変そう
5. 後見人になって欲しい人が見当たらない
6. 他人(家族を含む)に制度などを委任することに不安がある
7. 家族・親族との信頼関係が崩れるおそれがある
8. どういうときに利用して良いかわからない
9. その他()

9

問9 福祉サービスや福祉施設について

- (1) 何の介護保険サービスは充実していると思いますか(1つに〇)
1. とても充実している 2. まあ充実している 3. あまり充実していない
4. まったく充実していない 5. わからない
- (2) 介護保険サービスや介護保険制度についての程度ご存じですか(1つに〇)
1. よく知っている 2. ある程度知っている 3. あまり知らない 4. まったく知らない
- (3) 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください(いくつでも)
1. 食費 2. 調理
3. 掃除・洗濯 4. 買い物(宅配は含まない)
5. プレ出 6. 外出代行(送迎、買い物など)
7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等) 8. 見守り、声かけ
9. セロソなどの定期的な通いの場 10. 緊急時通報システム
11. 介護用品支給(給おむつ等) 12. その他()
13. 利用していない
- (4) 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用していて、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください(いくつでも) ※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。
1. 食費 2. 調理
3. 掃除・洗濯 4. 買い物(宅配は含まない)
5. プレ出 6. 外出代行(送迎、買い物など)
7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等) 8. 見守り、声かけ
9. セロソなどの定期的な通いの場 10. 緊急時通報システム
11. 介護用品支給(給おむつ等) 12. その他()
13. 特になし
- (5) 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください(1つに〇) ※「施設等」とは、特別養老老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。
1. 入所・入居は検討していない 2. 入所・入居を検討している
3. まだ入所・入居申し込みをしていない
- (6) ご本人は、現在、訪問診療を利用していますか(1つに〇) ※訪問看護師や在宅療養管理指導員は含みません。
1. 利用している 2. 利用していない

10

(7) 現在、(住宅設備、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか(1つに○)

1. 利用している 2. 利用していない

【(7)で「2.利用していない」と回答した方のみ】

(7)ー①介護保険サービスを利用していない理由は何ですか(いくつでも)

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
 2. 本人にサービス利用の希望がない
 3. 家族が介護をするため必要ない
 4. 以前、利用していたサービスに不満があった
 5. 利用料を支払うのが難しい
 6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
 7. 住宅設備、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
 8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない
 9. その他()

(8) 将来、あなたが医療や介護が必要となった場合、生涯暮らし続けたい場所として、ご希望の場所はありますか(1つに○)

1. 自宅 2. 病院などの医療施設 3. 老人ホームなどの福祉施設 4. よくわからない

(9) アドバンス・ケア・プランニング(ACP)をご存じですか(1つに○) ※アドバンス・ケア・プランニングとは、人生の最終段階の医療や療養について、自分の意思に沿った医療・療養を受けるために、自分や家族等と、医療関係者があらかじめ話し合うことです。

1. 話し合っている 2. 知っている 3. 聞いたことはある 4. 知らない

(10) 高齢者福祉に関する情報を入手するにあたって、利用しやすいものはどれですか(いくつでも)

1. テレビ 2. 新聞 3. ラジオ 4. 雑誌・書籍 5. パソコン
 6. スマートフォン・タブレット 7. その他() 8. 特になし

(11) あなたが知っている近所での集いの場や組織などを教えてください(いくつでも)

1. 地区ふりサロンの 2. 地域交流サロン
 3. 地域防犯会 4. ボランティアセンター
 5. みやしろ大学 6. 婦じよい交流会
 7. すてっぴ世代 8. シルバー人材センター
 9. おたっしゃ光気館 10. みやしろ健康マイレージ
 11. 和e輪の 12. 老人クラブ
 13. 移動スーパー 14. その他()
 15. 特になし

(12) 次の①～⑤の項目は、今の現状計画で基本施策として挙げられており、それぞれの基本施策について、この3年間の評価と今後の重要度を教えてください(それぞれ1つに○)

①～⑤のA・Bそれぞれ1つに○	【A 現在の評価】					【B 今後の重要度】				
	満足	やや満足	やや不満足	不満足	わからない	高い	やや高い	やや低い	低い	わからない
①地域福祉の推進 意識啓発、情報提供、福祉教育、居場所の整備、担い手の育成など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
②日常生活への支援 在宅サービスの整備、移動支援、相談体制の整備、住まいの確保など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③生きがいづくりへの支援 活動機会の充実、就労機会の拡大など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
④安心と安全の確保 公共施設の整備、公共交通の整備、交通安全、防災・防犯対策など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑤健康づくりの推進 生活習慣病等の予防、フレイル予防、生涯スポーツ、レクリエーションなど	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問10 主な介護者の方について

(1) 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください(1つに○)
 ※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

1. フルタイムで働いている 2. パートタイムで働いている
 3. 働いていない 4. 主な介護者に確認しないと、わからない

【(1)で「1.フルタイムで働いている」または「2.パートタイムで働いている」と回答した、現在働いている方のみ】

(1)ー①主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか(いくつでも)

1. 特に行っていない
 2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、週出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている
 3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている
 4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
 5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
 6. 主な介護者に確認しないと、わからない

(1)ー②主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか(3つまでに○)

1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない 2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実
 3. 制度を利用しやすい職場づくり 4. 労働時間の柔軟な選択(スワップ制など)
 5. 働く場所の多様化(在宅勤務・フレックなど) 6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
 7. 介護に関する相談窓口、相談担当者の設置 8. 介護をしている従業員への経済的な支援
 9. その他() 10. 特になし

11. 主な介護者に確認しないと、わからない

(1)ー③主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか(1つを選択)

1. 問題なく、続けていける 2. 問題はあがるが、何とか続けていける
 3. 続けていくのは、やや難しい 4. 続けていくのは、かなり難しい
 5. 主な介護者に確認しないと、わからない

(2) 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください(現状で行っているか否かは問いません)(3つまでに○)

1. 日中の排せ 2. 夜間の排せ
 3. 食事の介助(食べる時) 4. 入浴・洗身
 5. 身だしなみ(洗面・歯磨き等) 6. 衣履の着脱
 7. 薬の管理・移動 8. 外出の付き添い、送迎等
 9. 掃除 10. 認知症への対応
 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等) 12. 食事の準備(調理等)
 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等) 14. 金銭管理や生活面に必要な手続き
 15. その他() 16. 不安に感じていることは、特になし
 17. 主な介護者に確認しないと、わからない

●介護保険制度・高齢者福祉施策への意見などがありましたら、ご自由にお書きください

■ 以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました ■

ご記入いただいた調査票は、両封の返信用封筒(切手不要)に入れて、
令和5年2月15日(水)までに投函してください。

【60代介護者編調査】

みやしろ健康福祉プラン高齢者編策定に伴うアンケート調査

ご協力をお願い

市民の皆様には日ごろから有難儀のため、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。
 この調査は、要介護認定を受け、在宅で生活している方に、日頃の生活状況や介護サービス等の利用状況及び介護をされている方の状況等をお聴きし、今後の介護サービスの整備や高齢者福祉施策のあり方などをまとめた「宮代町高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画」を策定するうえでの基礎資料として活用するために実施するものです。
 ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理し、調査目的以外に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますようお願いいたします。

令和5年1月 宮代町

記入に際してのお願い

○ご本人おひとりの回答が難しい場合は、ご家族やまわりの方にお手伝いいただき、ご本人の意見を聞いた上でご家族やまわりの方が代りにご記入ください。
 ○調査票を記入する際は、各項目で該当する数字に○をつけてください。
 ○「その他（ ）」を選んだ場合は、かつこ内に具体的な内容を記入してください。
 ○調査票、返信用封筒には住所、氏名を記入する必要はありません。
 ○記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、
令和5年2月15日（水）までに投函してください。

個人情報の取扱いについて

この調査は、効率的な介護予防施策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、計画策定の目的以外には利用いたしません。
 調査結果の分析にあたり、町が保有するあなたの要介護認定データを活用させていただきますので、あらかじめご承諾ください。右下にある番号は、データを連絡させるためのものです。
 また、当該情報については、宮代町で適切に管理いたします。

▼ご不明な点などがございましたら、お手数ですが、下記までお問い合わせ下さい▼

宮代町 健康介護課 高齢者支援担当 〒345-8504 埼玉県南埼玉郡宮代町笠原1-4-1
 電 話 0480-34-1111（内線381） ※土・日・祝日は除く8時30分～17時15分

A票 調査対象者様ご本人について、お伺いします

※A票は、調査対象者様ご本人の介護の内容や主な介護者の方の介護の状況等について、調査対象者様ご本人、または代理の方によるご記入をお願いします。

◎現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか（複数選択可）

1. 調査対象者本人	2. 主な介護者となっている家族・親族
3. 主な介護者以外の家族・親族	4. 調査対象者のクアマナジャー
5. その他	

問1 世帯構成について、ご回答ください（1つを選択）

1. 単身世帯	2. 夫婦のみ世帯	3. その他
---------	-----------	--------

問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（1つを選択）
 ※同居していない子どもや親族等からの介護を含みます。

1. ない	} 問3+問13へ
2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない	
3. 週に1～2日ある	
4. 週に3～4日ある	
5. ほぼ毎日ある	

問3 主な介護者の方は、どなたですか（1つを選択）

1. 配偶者	2. 子	3. 子の配偶者	4. 孫	5. 兄弟・姉妹	6. その他
--------	------	----------	------	----------	--------

問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つを選択）

1. 男性	2. 女性
-------	-------

問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）

1. 20歳未満	2. 20代	3. 30代	4. 40代
5. 50代	6. 60代	7. 70代	8. 80歳以上
9. わからない			

問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（複数選択可）

1. 日中の様見	2. 夜間の様見
3. 食事の介助（食べる時）	4. 入浴・洗身
5. 身だしなみ（洗髪・歯磨き等）	6. 衣服の着脱
7. 屋内の移動・移動	8. 外出の付き添い、送迎等
9. 服薬	10. 認知症ケアへの対応
11. 医師面での対応（経営栄養、ストーマ等）	12. 食事の準備（調理等）
13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き
15. その他（ ）	16. わからない

問7 ご家族やご親族の中で、ご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（複数選択可）
 ※現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません。
 ※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

1. 主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）
3. 主な介護者が転職した
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5. 介護のために仕事を辞めた妻・親族はいる
6. わからない

問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（複数選択可）

1. 配食	2. 調理
3. 掃除・洗濯	4. 買い物（宅配は含まない）
5. ゴミ出し	6. 外出同行（通院、買い物など）
7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等）	8. 見守り、声かけ
9. サロンなどの定期的な通いの場	10. 緊急時通報システム
11. 介護用品支給（おむつ等）	12. その他（ ）
13. 利用していない	

問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用していて、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（複数選択可）
 ※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

1. 配食	2. 調理
3. 掃除・洗濯	4. 買い物（宅配は含まない）
5. ゴミ出し	6. 外出同行（通院、買い物など）
7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等）	8. 見守り、声かけ
9. サロンなどの定期的な通いの場	10. 緊急時通報システム
11. 介護用品支給（おむつ等）	12. その他（ ）
13. 特になし	

問10 地域での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つを選択）
 ※「施設等」とは、特別養老老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

1. 入所・入居は検討していない	2. 入所・入居を検討している
3. すでに入所・入居申し込みをしている	

2
3

<p>問1-1 ご本人が、現在抱えている傷病について、ご回答ください（複数選択可）</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1. 脳血管疾患（脳卒中）</td> <td style="width: 50%;">2. 心疾患（心臓病）</td> </tr> <tr> <td>3. 悪性新生物（がん）</td> <td>4. 呼吸器疾患</td> </tr> <tr> <td>5. 腎疾患（透析）</td> <td>6. 筋骨格系疾患（骨格しょう症、脊柱管狭窄症等）</td> </tr> <tr> <td>7. 膠原病（関節リウマチ含む）</td> <td>8. 変形性関節疾患</td> </tr> <tr> <td>9. 認知症</td> <td>10. パーキンソン病</td> </tr> <tr> <td>11. 難病（パーキンソン病を除く）</td> <td>12. 糖尿病</td> </tr> <tr> <td>13. 眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>14. その他（ ）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>15. なし</td> <td>16. わからない</td> </tr> </table> <p>問1-2 ご本人は、現在、訪問診療を利用していますか（1つを選択） ※訪問歯科診療や在宅療養指導等は含みません。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1. 利用している</td> <td style="width: 50%;">2. 利用していない</td> </tr> </table> <p>問1-3 現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか（1つを選択）</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1. 利用している</td> <td style="width: 50%;">2. 利用していない ⇒ 問1-4へ</td> </tr> </table> <p>問1-4 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（複数選択可）</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td>1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない</td> </tr> <tr> <td>2. 本人にサービス利用の希望がない</td> </tr> <tr> <td>3. 家族が介護をするため必要ない</td> </tr> <tr> <td>4. 以前、利用していたサービスに不満があった</td> </tr> <tr> <td>5. 利用料を支払うのが難しい</td> </tr> <tr> <td>6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない</td> </tr> <tr> <td>7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため</td> </tr> <tr> <td>8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない</td> </tr> <tr> <td>9. その他（ ）</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">4</p>	1. 脳血管疾患（脳卒中）	2. 心疾患（心臓病）	3. 悪性新生物（がん）	4. 呼吸器疾患	5. 腎疾患（透析）	6. 筋骨格系疾患（骨格しょう症、脊柱管狭窄症等）	7. 膠原病（関節リウマチ含む）	8. 変形性関節疾患	9. 認知症	10. パーキンソン病	11. 難病（パーキンソン病を除く）	12. 糖尿病	13. 眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）		14. その他（ ）		15. なし	16. わからない	1. 利用している	2. 利用していない	1. 利用している	2. 利用していない ⇒ 問1-4へ	1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	2. 本人にサービス利用の希望がない	3. 家族が介護をするため必要ない	4. 以前、利用していたサービスに不満があった	5. 利用料を支払うのが難しい	6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない	7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない	9. その他（ ）	<p>※B票は主な介護者の就労や介護の状況等について、主な介護者様、または代理の方によるご記入をお願いします。</p> <p>●問2で「2.」「5.」と回答した場合（介護を受けている場合は、「主な介護者」の方にB票へのご回答・ご記入をお願いします） ●「主な介護者」の方による、B票へのご回答・ご記入が困難である場合は、ご本人様（調査対象者の方）にご回答・ご記入してください。ご本人様によるご回答・ご記入が困難な場合は、無回答で結構です。</p> <p>B票 主な介護者の方について、お伺いします</p> <p>問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択） ※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に対して短い方が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1. フルタイムで働いている</td> <td rowspan="2" style="width: 50%; vertical-align: middle;">} 問2-①問5へ</td> </tr> <tr> <td>2. パートタイムで働いている</td> </tr> <tr> <td>3. 働いていない</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">} 問5-①問5へ</td> </tr> <tr> <td>4. 主な介護者に確認しないと、わからない</td> </tr> </table> <p>問2 【問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします】 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか（複数選択可）</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td>1. 特に行っていない</td> </tr> <tr> <td>2. 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、出勤・早退・中抜け等）」しながら、働いている</td> </tr> <tr> <td>3. 介護のために、「休職（療休や介護休暇等）」を取りながら、働いている</td> </tr> <tr> <td>4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている</td> </tr> <tr> <td>5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている</td> </tr> <tr> <td>6. 主な介護者に確認しないと、わからない</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">5</p>	1. フルタイムで働いている	} 問2-①問5へ	2. パートタイムで働いている	3. 働いていない	} 問5-①問5へ	4. 主な介護者に確認しないと、わからない	1. 特に行っていない	2. 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、出勤・早退・中抜け等）」しながら、働いている	3. 介護のために、「休職（療休や介護休暇等）」を取りながら、働いている	4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている	5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている	6. 主な介護者に確認しないと、わからない
1. 脳血管疾患（脳卒中）	2. 心疾患（心臓病）																																											
3. 悪性新生物（がん）	4. 呼吸器疾患																																											
5. 腎疾患（透析）	6. 筋骨格系疾患（骨格しょう症、脊柱管狭窄症等）																																											
7. 膠原病（関節リウマチ含む）	8. 変形性関節疾患																																											
9. 認知症	10. パーキンソン病																																											
11. 難病（パーキンソン病を除く）	12. 糖尿病																																											
13. 眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）																																												
14. その他（ ）																																												
15. なし	16. わからない																																											
1. 利用している	2. 利用していない																																											
1. 利用している	2. 利用していない ⇒ 問1-4へ																																											
1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない																																												
2. 本人にサービス利用の希望がない																																												
3. 家族が介護をするため必要ない																																												
4. 以前、利用していたサービスに不満があった																																												
5. 利用料を支払うのが難しい																																												
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない																																												
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため																																												
8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない																																												
9. その他（ ）																																												
1. フルタイムで働いている	} 問2-①問5へ																																											
2. パートタイムで働いている																																												
3. 働いていない	} 問5-①問5へ																																											
4. 主な介護者に確認しないと、わからない																																												
1. 特に行っていない																																												
2. 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、出勤・早退・中抜け等）」しながら、働いている																																												
3. 介護のために、「休職（療休や介護休暇等）」を取りながら、働いている																																												
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている																																												
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている																																												
6. 主な介護者に確認しないと、わからない																																												
<p>問3 【問1で「1.」「フルタイムで働いている」または「2.」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします】 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果的かと思えますか（3つまで選択可）</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない</td> <td style="width: 50%;">2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実</td> </tr> <tr> <td>3. 制度を利用しやすい職場づくり</td> <td>4. 労働時間の柔軟な選択（シフト制など）</td> </tr> <tr> <td>5. 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）</td> <td>6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供</td> </tr> <tr> <td>7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置</td> <td>8. 介護をしている従業員への経済的な支援</td> </tr> <tr> <td>9. その他（ ）</td> <td>10. 特にない</td> </tr> </table> <p>11. 主な介護者に確認しないと、わからない</p> <p>問4 【問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします】 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1. 問題なく、続けていける</td> <td style="width: 50%;">2. 問題はあるが、何とか続けていける</td> </tr> <tr> <td>3. 続けていくのは、やや難しい</td> <td>4. 続けていくのは、かなり難しい</td> </tr> <tr> <td>5. 主な介護者に確認しないと、わからない</td> <td></td> </tr> </table> <p>問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1. 日中の休養</td> <td style="width: 50%;">2. 夜間の休養</td> </tr> <tr> <td>3. 食事の介助（食べる時）</td> <td>4. 入浴・洗身</td> </tr> <tr> <td>5. 身だしなみ（洗髪・歯磨き等）</td> <td>6. 衣服の着脱</td> </tr> <tr> <td>7. 屋内の移乗・移動</td> <td>8. 外出の付き添い、送迎等</td> </tr> <tr> <td>9. 服薬</td> <td>10. 認知症への対応</td> </tr> <tr> <td>11. 近所近での対応（経路案内、ストーマ等）</td> <td>12. 食事の準備（調理等）</td> </tr> <tr> <td>13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）</td> <td>14. 金銭管理や生活費に必要な手続き</td> </tr> <tr> <td>15. その他（ ）</td> <td>16. 不安に感じていることは、特にない</td> </tr> </table> <p>17. 主な介護者に確認しないと、わからない</p> <p style="text-align: center;">6</p>	1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実	3. 制度を利用しやすい職場づくり	4. 労働時間の柔軟な選択（シフト制など）	5. 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）	6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供	7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	8. 介護をしている従業員への経済的な支援	9. その他（ ）	10. 特にない	1. 問題なく、続けていける	2. 問題はあるが、何とか続けていける	3. 続けていくのは、やや難しい	4. 続けていくのは、かなり難しい	5. 主な介護者に確認しないと、わからない		1. 日中の休養	2. 夜間の休養	3. 食事の介助（食べる時）	4. 入浴・洗身	5. 身だしなみ（洗髪・歯磨き等）	6. 衣服の着脱	7. 屋内の移乗・移動	8. 外出の付き添い、送迎等	9. 服薬	10. 認知症への対応	11. 近所近での対応（経路案内、ストーマ等）	12. 食事の準備（調理等）	13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	14. 金銭管理や生活費に必要な手続き	15. その他（ ）	16. 不安に感じていることは、特にない	<p>●介護保険制度・高齢者福祉施策への意見などがありましたら、ご自由にお書きください</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr><td style="border: 1px solid black; height: 20px;"></td></tr> </table> <p style="text-align: center;">■ 以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。 ■</p> <p style="text-align: center;">ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、 令和5年2月15日（水）までにご返函してください。</p> <p style="text-align: center;">7</p>											
1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実																																											
3. 制度を利用しやすい職場づくり	4. 労働時間の柔軟な選択（シフト制など）																																											
5. 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）	6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供																																											
7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	8. 介護をしている従業員への経済的な支援																																											
9. その他（ ）	10. 特にない																																											
1. 問題なく、続けていける	2. 問題はあるが、何とか続けていける																																											
3. 続けていくのは、やや難しい	4. 続けていくのは、かなり難しい																																											
5. 主な介護者に確認しないと、わからない																																												
1. 日中の休養	2. 夜間の休養																																											
3. 食事の介助（食べる時）	4. 入浴・洗身																																											
5. 身だしなみ（洗髪・歯磨き等）	6. 衣服の着脱																																											
7. 屋内の移乗・移動	8. 外出の付き添い、送迎等																																											
9. 服薬	10. 認知症への対応																																											
11. 近所近での対応（経路案内、ストーマ等）	12. 食事の準備（調理等）																																											
13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	14. 金銭管理や生活費に必要な手続き																																											
15. その他（ ）	16. 不安に感じていることは、特にない																																											

みやしろ健康福祉プラン高齢者編策定
に伴うアンケート調査 調査報告書

発行 : 令和5年3月
編集 : 宮代町健康介護課
